参考資料3

旭川・紋別自動車道　（遠軽（えんがる）～上湧別（かみゆうべつ））

第１回　説明資料

令和元年１２月１１日

国土交通省 北海道開発局

目　次

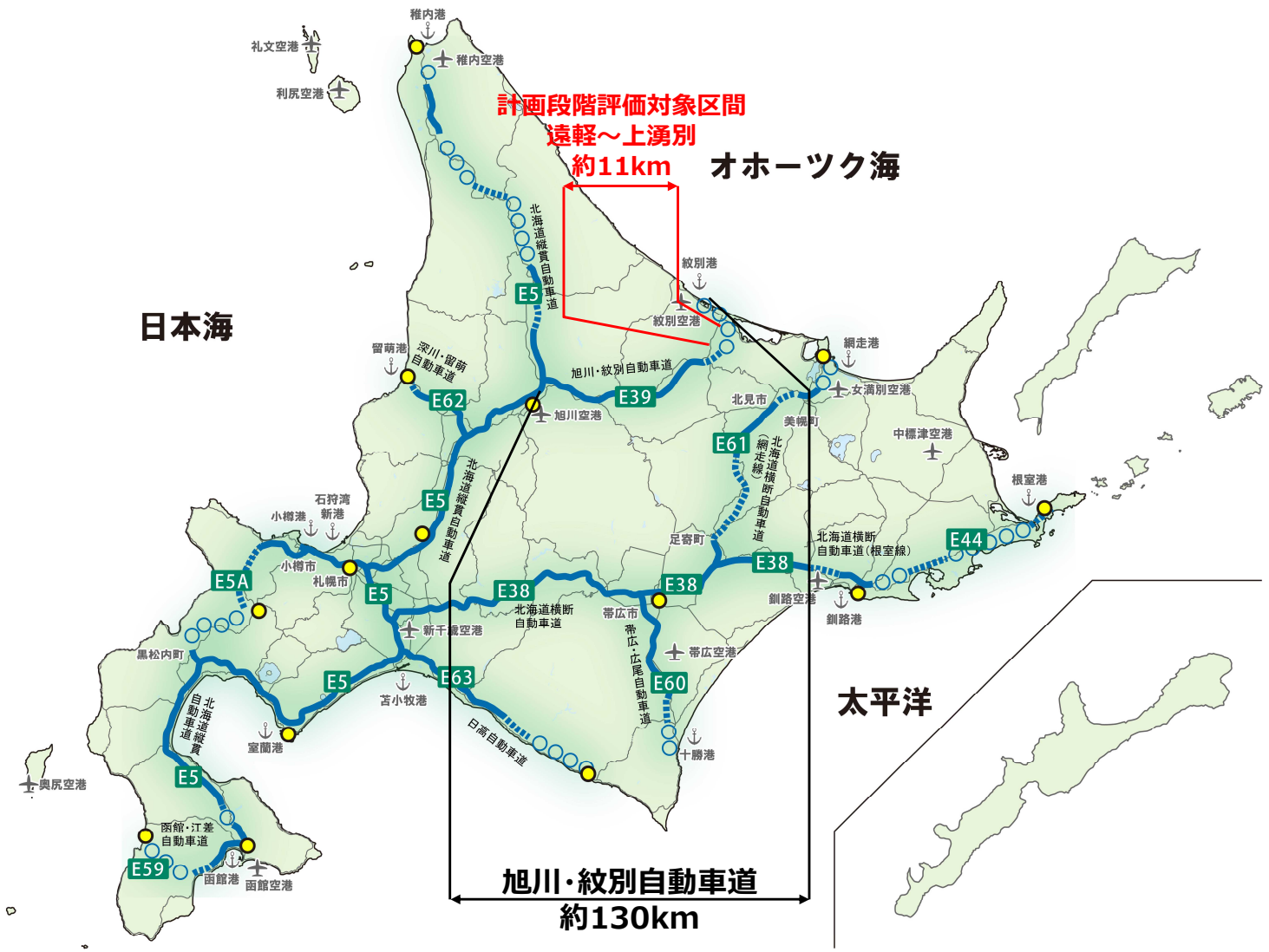
1.計画段階評価の検討の流れ
2.地域の概況
3.地域の状況と課題
4.道路の状況と課題
5.課題の整理
6.意見聴取方法

1.計画段階評価の検討の流れ

1-1）北海道の高規格幹線道路網

○旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町等を経由し、紋別市へ至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路で、遠軽～上湧別間はその一部区間。
○当該区間は、調査中区間である遠軽町～紋別市間のうち、遠軽町・湧別町に位置する延長約11kmの区間。

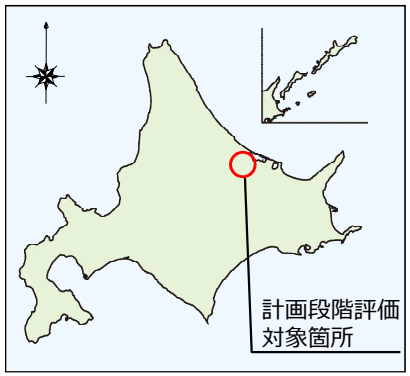
凡 例	
開通区間	▬▬
事業中区間	■■■■
調査中区間	○○○
総合振興局 振興局	●



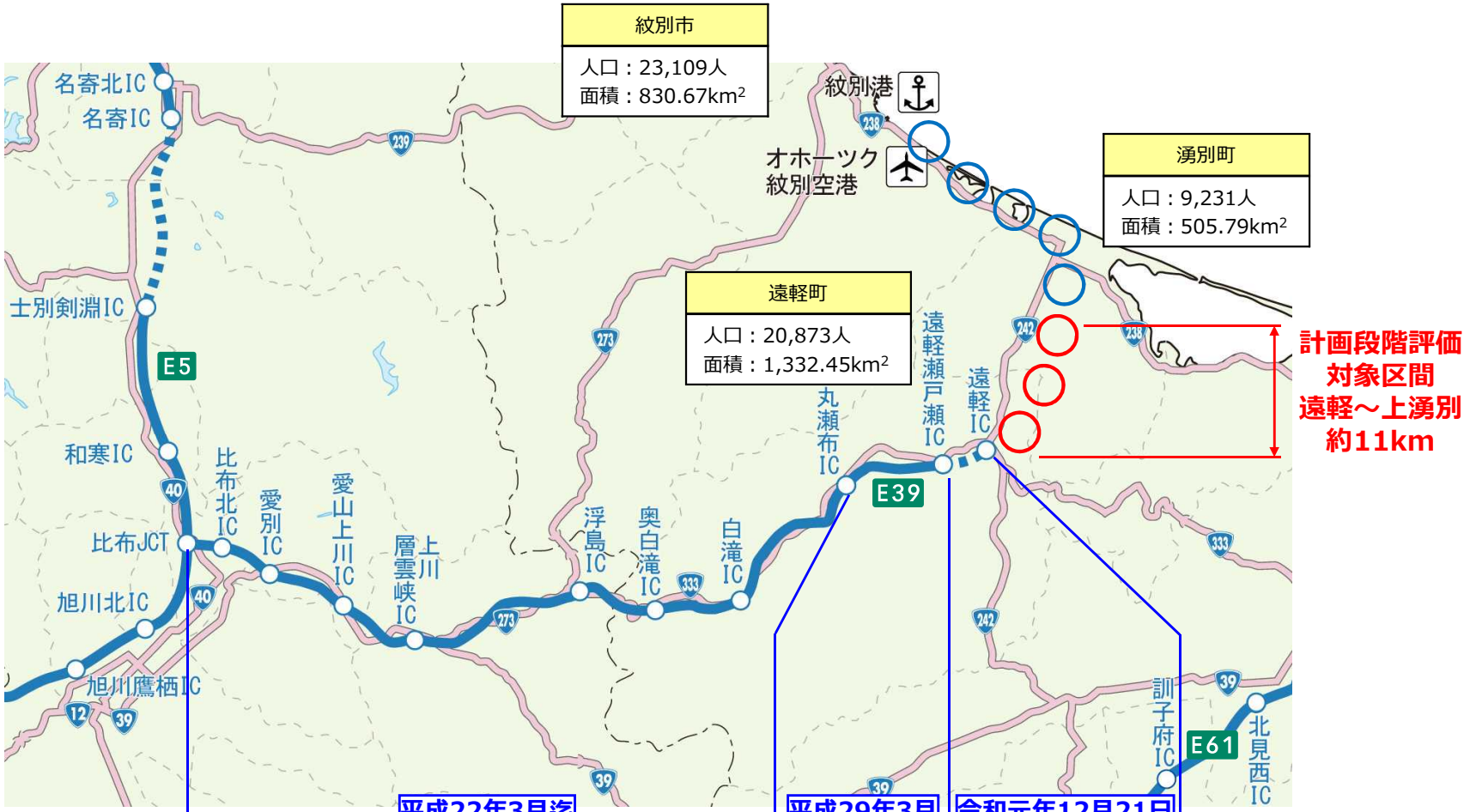
1-2）旭川･紋別自動車道の進捗

○旭川･紋別自動車道は、比布JCT～遠軽瀬戸瀬IC間が開通済み（遠軽瀬戸瀬ICは平成29年3月開通）。
○遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC間は令和元年12月21日の開通に向け事業中。

■位置図



凡 例	
開 通 区 間	■
事業中区間	■■■
調査中区間	○○○



資料：人口は平成27年国勢調査（総務省）、面積は平成30年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）

1-3）計画段階評価手続きの進め方

○地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

今　回

北海道地方小委員会

【審議内容】
■計画段階評価手続きの進め方

■地域・道路の現状と課題

■意見聴取方法

意見聴取（第1回）

○地域・道路の課題

◆意見聴取方法(案)
<ヒアリング>
対象者
・沿線自治体
・関係団体
<アンケート>
対象者
・地域住民
・道路利用者
・観光客

北海道地方小委員会

■政策目標の設定　等

■評価項目の設定　等

■比較ルート案（複数案）　等

■対応方針（案）（概略ルート、構造等）　等

意見聴取

対応方針の決定（概略ルート・構造等）

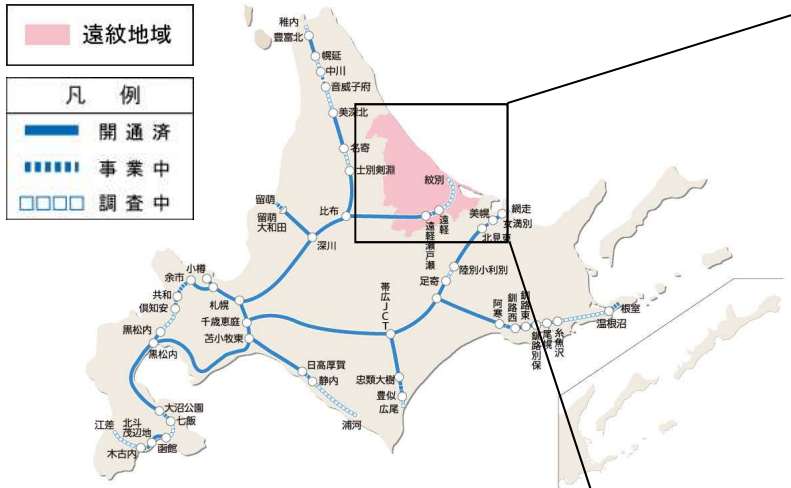
※各段階で随時自治体と調整

北海道地方小委員会

2.地域の概況

2-1）地域の概況（土地利用）

○遠紋地域は、オホーツク圏の中心都市である北見市の北西側に位置し、オホーツク海に面する地域。
○遠紋地域では、国道等の道路沿いは主に市街地・農用地に利用されており、それ以外は主に山地の状況。





注：オホーツク圏は、遠紋地域（紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部町、雄武町）、北網地域（北見市、網走市、置戸町、訓子府町、津別町、美幌町、大空町、小清水町、清里町、斜里町）から構成。

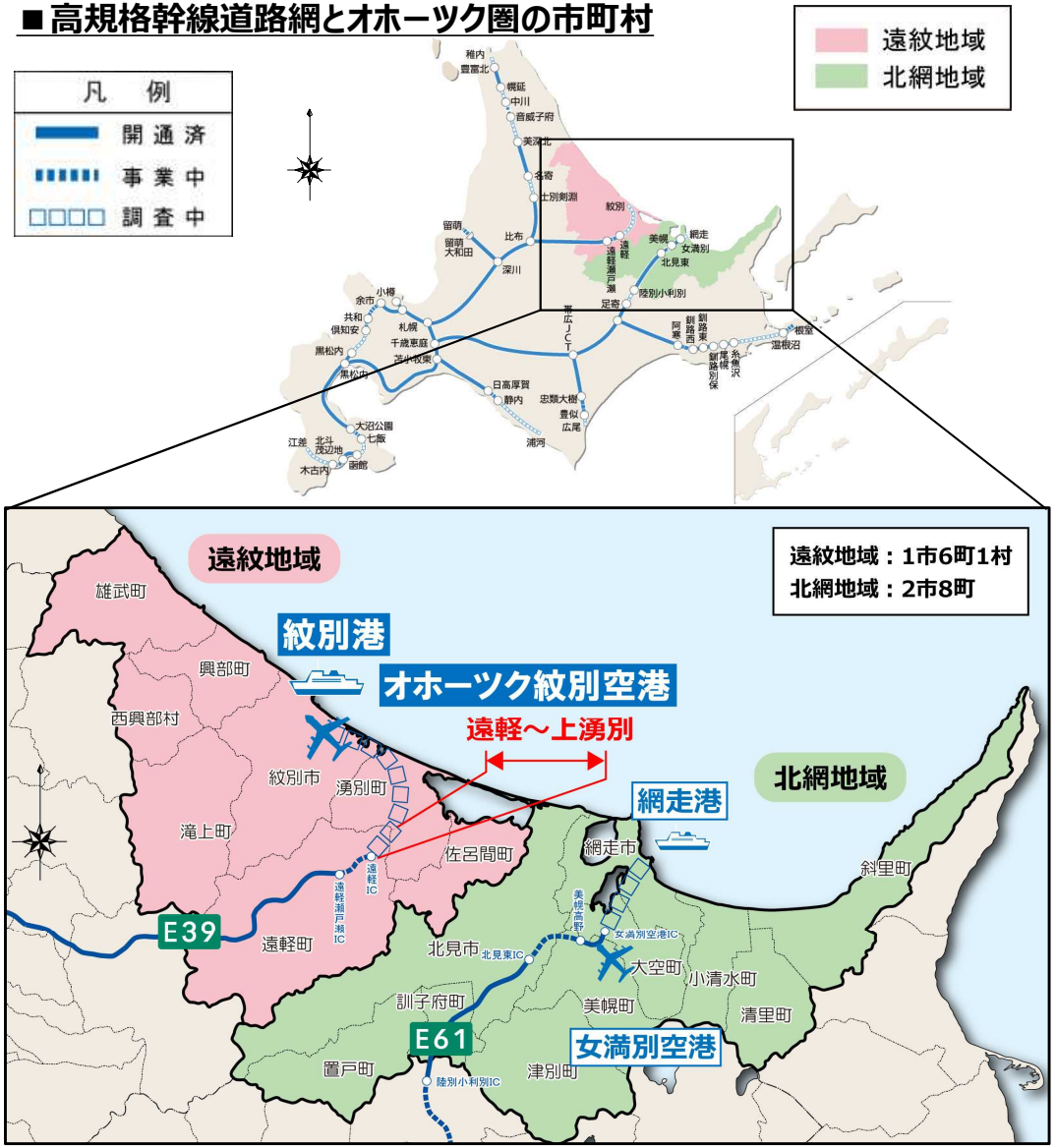
注：「市街地・集落」は用途地域の指定範囲。「農用地」は湿田・乾田・沼田・蓮田及び田、麦・陸稲・野菜・草地・芝地・りんご、梨・桃・ブドウ・茶・桐・はぜ・こうぞ・しゅろ等を栽培する土地。「山地」は地殻の突起部を示し山脈（特に顕著な脈状をなす山地）、高地（起伏はさほど大きくないが谷の発達が顕著であり表面がおしなべて平坦な山地）、高原（比較的小起伏で谷の発達があまり顕著でなく表面まで居住が営まれている山地）、丘陵（小起伏の低山性の山地）等から構成。

資料：「市街地・集落」「農用地」「山地」は「国土交通省国土政策局の国土数値情報（土地利用細分メッシュデータ平成26年度）」をもとに編集・加工
http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L03-b.html

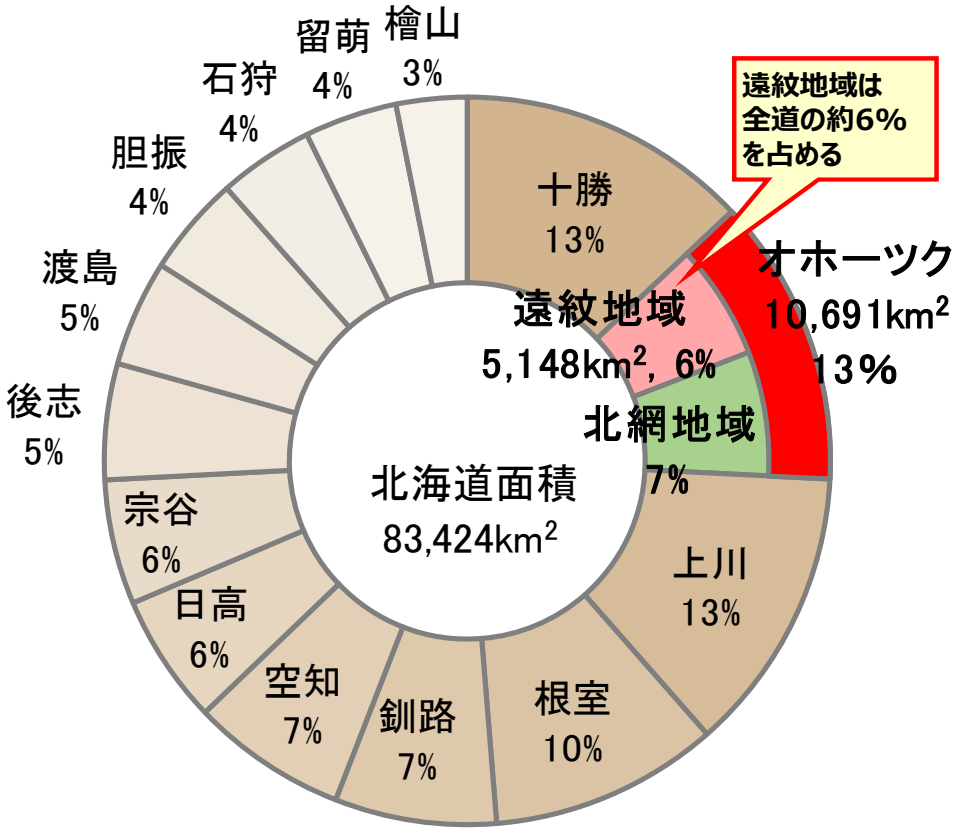
2-2）地域の概況（面積）

○遠紋地域はオホーツク圏の北西部に位置し、1市6町1村で構成され、重要港湾である紋別港、地方管理空港であるオホーツク紋別空港を有する地域。
○遠紋地域の総面積は5,148km²であり、全道の約6%を占める。

■高規格幹線道路網とオホーツク圏の市町村



■振興局別面積割合

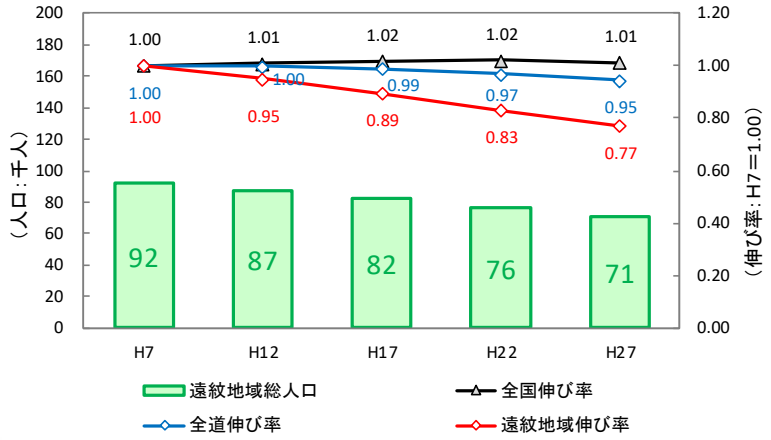


資料：平成30年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）

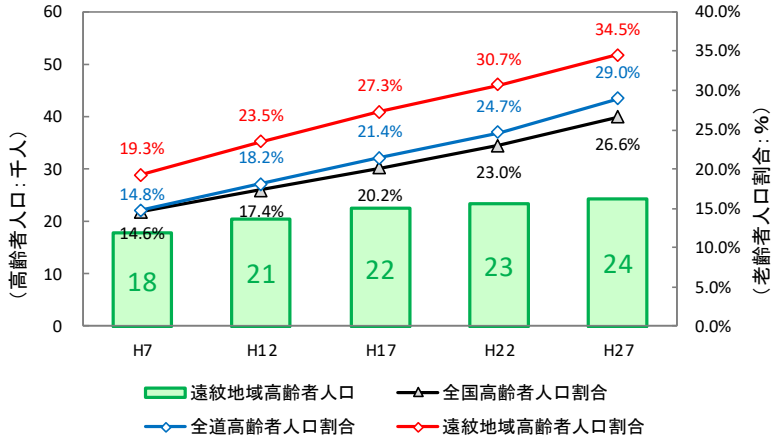
2-3）地域の概況（人口）

○遠紋地域の総人口は約7万人で、そのうち約6割を遠軽町（29%）、紋別市（33%）が占める。
○オホーツク圏では、中心都市である北見市に人口が集中している。
○遠紋地域の人口減少は、全国・全道よりも加速度的に進行しており、高齢者人口が増加している。
○全国と比較すると遠紋地域は、特に20代～40代の若い世代の人口割合が低い状況。

■遠紋地域の総人口の推移



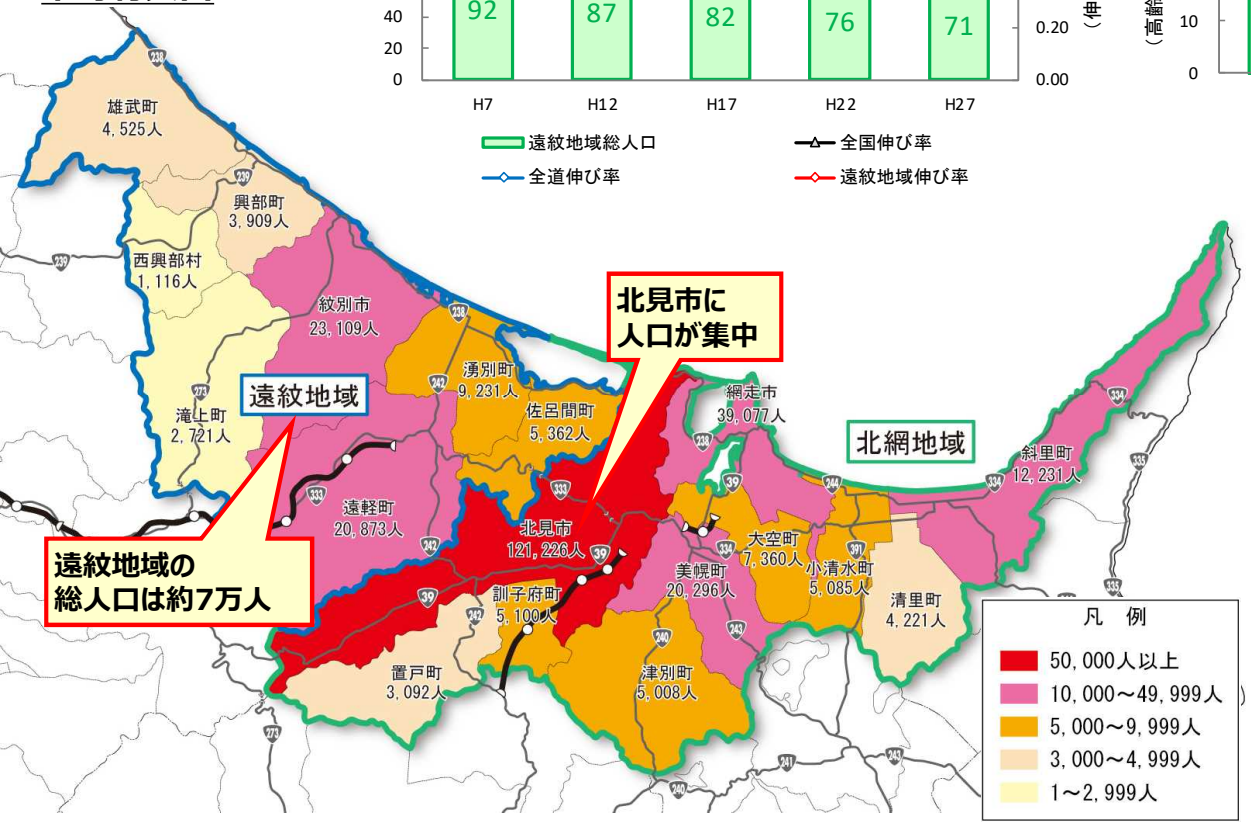
■遠紋地域の高齢者（65歳～）人口の推移



注：高齢化について
WHOや国連によると、
65歳以上人口の割合が7%超で
→「高齢化社会」
65歳以上人口の割合が14%超で
→「高齢社会」
65歳以上人口の割合が21%超で
→「超高齢社会」

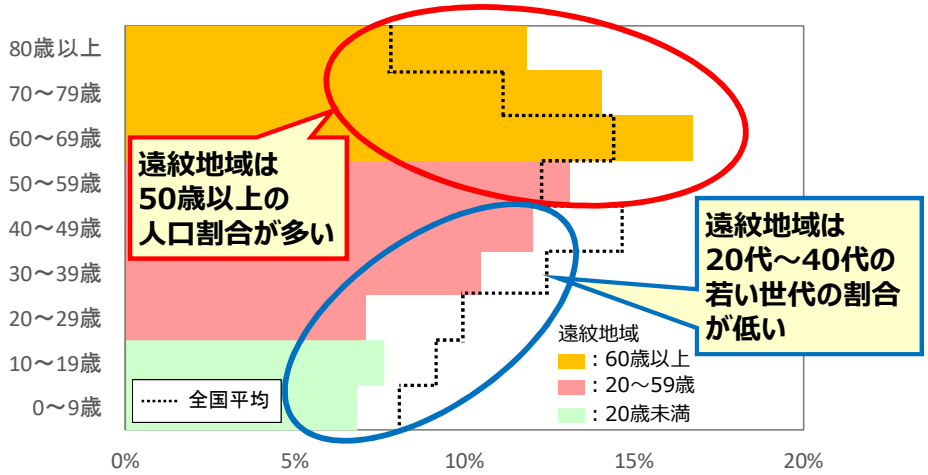
資料：平成7～27年国勢調査（総務省）

■オホーツク圏の市町村人口



資料：平成27年国勢調査（総務省）

■遠紋地域の年齢別人口構成

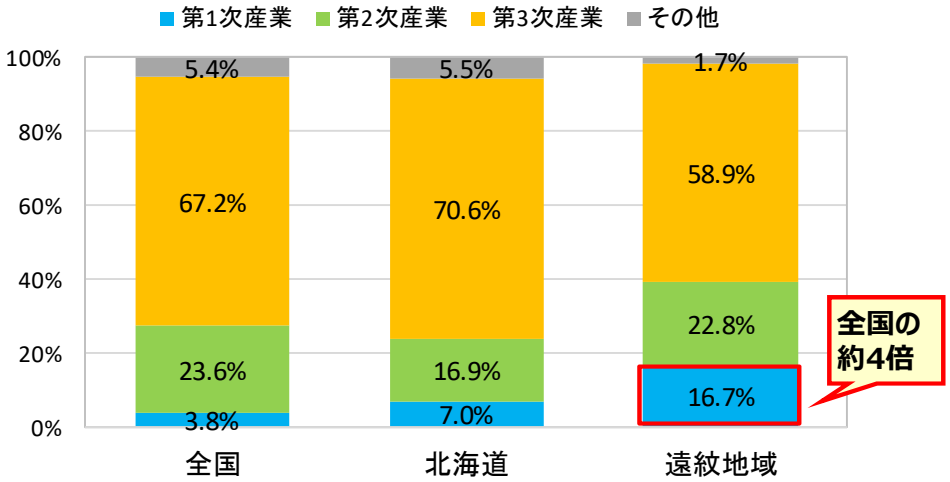


資料：平成27年国勢調査（総務省）（年齢不詳は含めず）

2-4）地域の概況（産業）

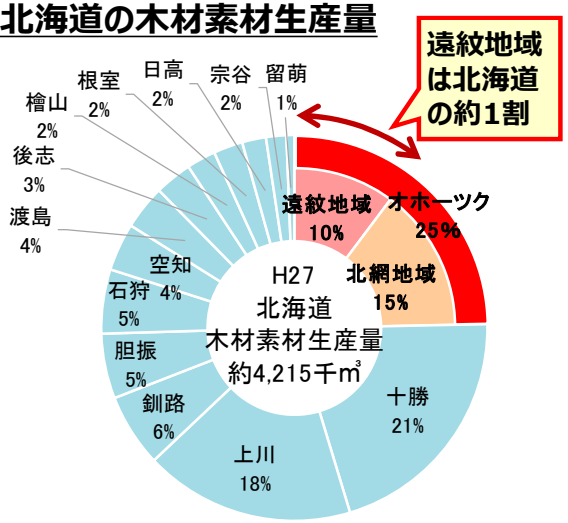
○遠紋地域の産業は、全国・全道と比べ、第1次産業の従事者割合が高く、分野別就業人口も林業・漁業・農業の割合が高い。
○遠紋地域の木材素材生産量・漁業生産額は全道の約1割、農業生産額は全道の約4%を占める。

■遠紋地域の就業人口割合



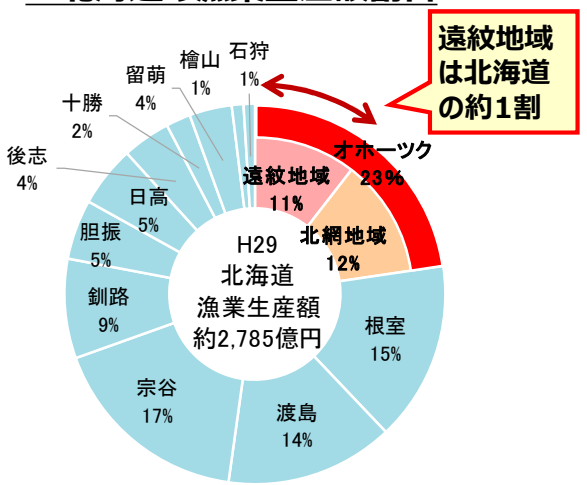
資料：平成27年国勢調査（総務省）

■北海道の木材素材生産量



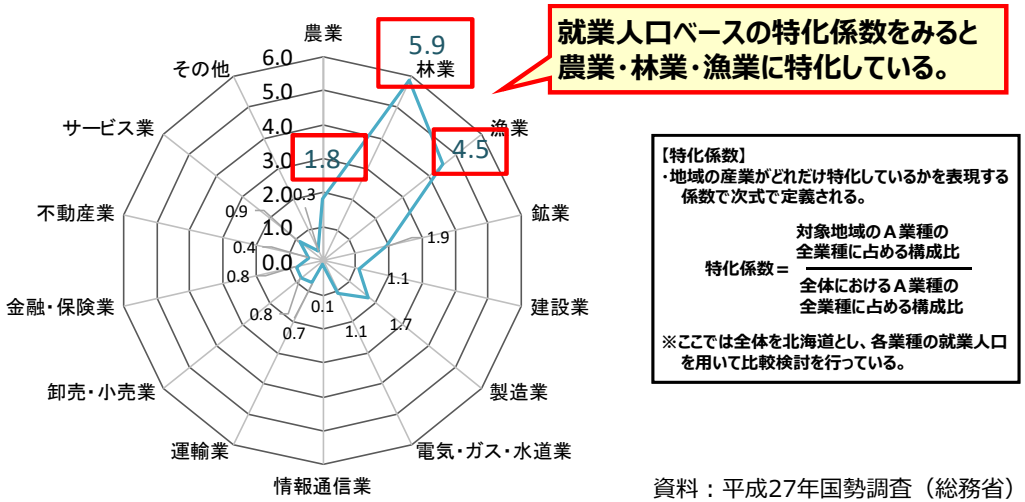
資料：平成27年農林業センサス（農林水産省）

■北海道の漁業生産額割合



資料：平成29年北海道水産現勢（北海道水産林務部）

■遠紋地域の分野別就業人口特化係数



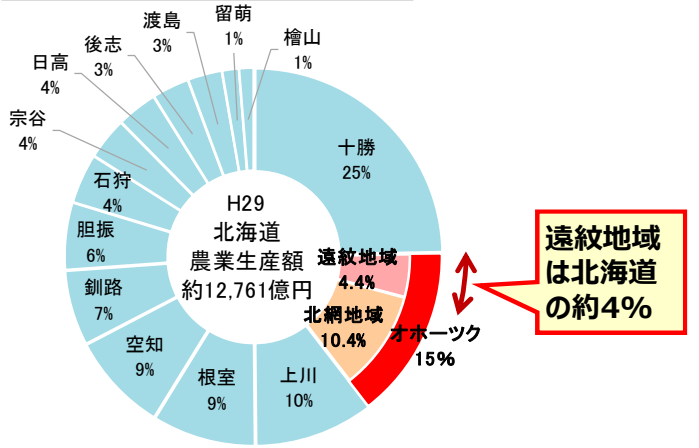
【特化係数】
・地域の産業がどれだけ特化しているかを表現する係数で次式で定義される。

$$特化係数 = \frac{対象地域のA業種の全業種に占める構成比}{全体におけるA業種の全業種に占める構成比}$$

※ここでは全体を北海道とし、各業種の就業人口を用いて比較検討を行っている。

資料：平成27年国勢調査（総務省）

■北海道の農業生産額割合

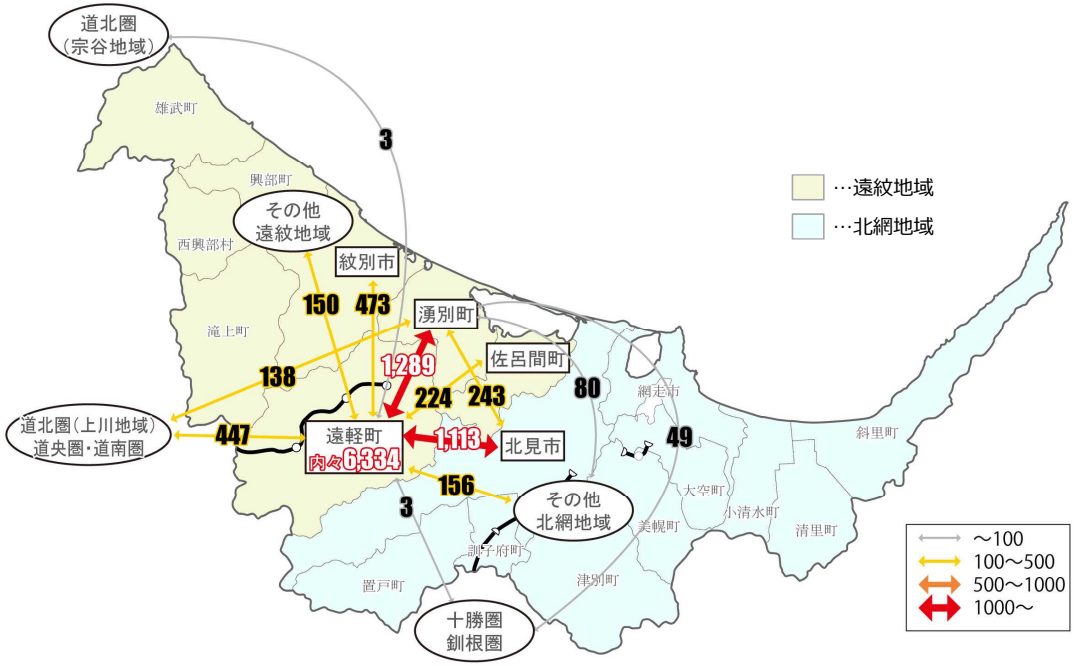


資料：平成29年市町村別農業産出額（推計）（農林水産省）

2-5）地域の概況（交通流動）

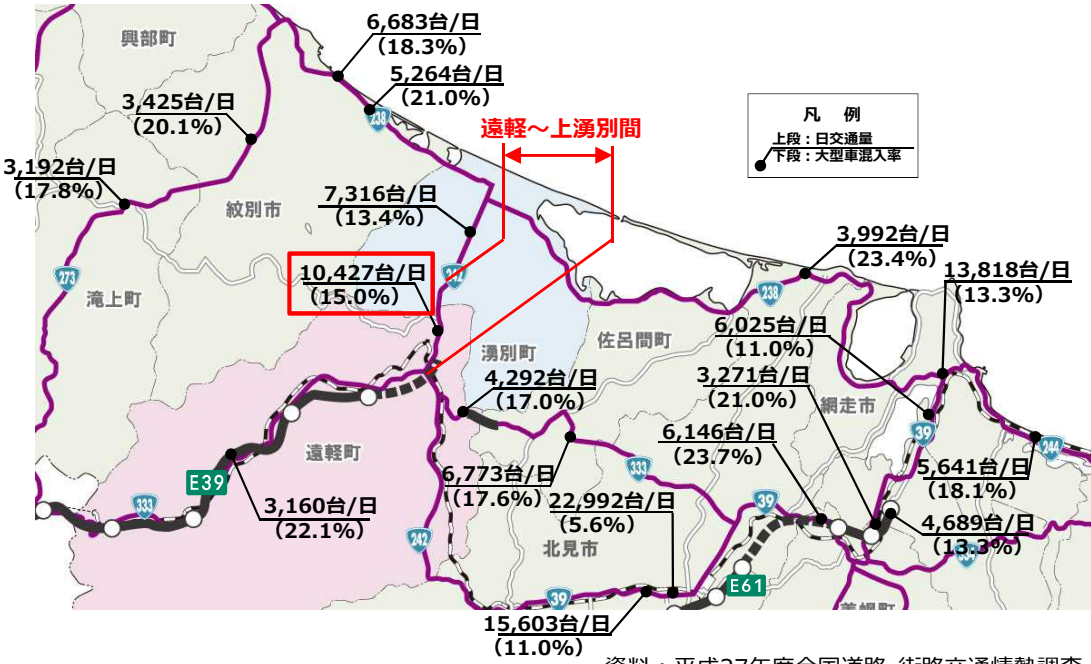
○遠軽～上湧別間は、遠軽町～湧別町、遠軽町～北見市、遠軽町～紋別市間の利用ODが多い。
○遠軽～上湧別間の交通量は10,427台/日で、周辺道路と比べると遠紋地域で特に交通量の多い区間である。

■国道242号　遠軽～上湧別間の利用OD



資料：平成22年度全国道路・街路交通情勢調査OD（単位：トリップ）
注1：北網地域→北見市、網走市、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、大空町、訓子府町、置戸町。遠紋地域→紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部町、雄武町。平成22年度全国道路・街路交通情勢調査ODから国道242号遠軽～上湧別間を通過（遠軽市街地で代表断面を設定し算出）するODを抽出し、日交通量にOD比率を乗じ算出。

■周辺の交通量と大型車混入率

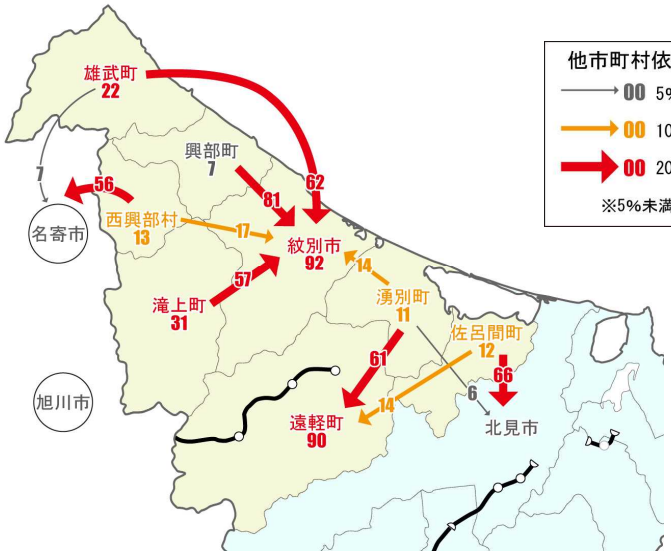


資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

2-6）地域の概況（生活交通流動）

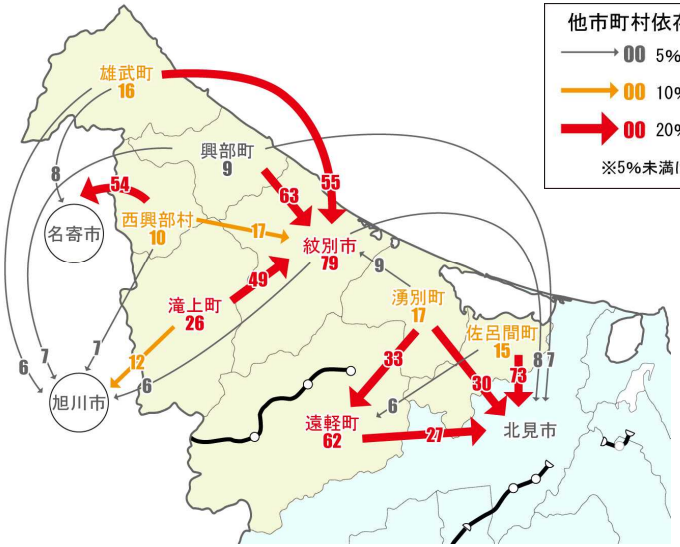
○買物のうち最寄品は、遠軽町・紋別市への流動が多く、買回品は遠紋地域外となる北見市への流動が増加。
○遠紋地域の通院先は、遠軽町・紋別市が多く、入院先は遠紋地域外となる北見市等への流動が増加。

■買物動向（最寄品）



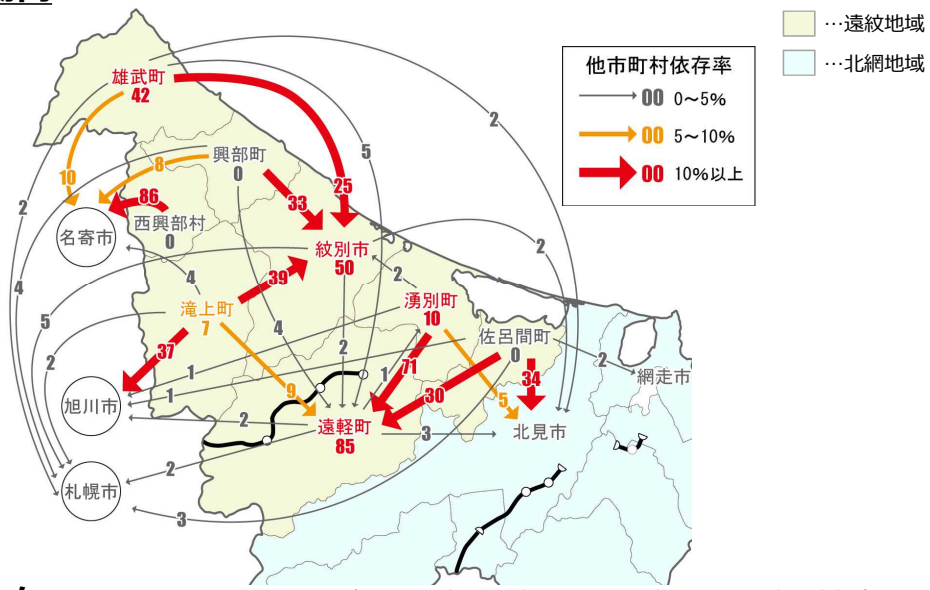
資料：平成21年度北海道広域商圏動向調査報告書（北海道）
最寄品：日常的に高い頻度で購入する商品
市町村名の下の数字は自市町村への依存率

■買物動向（買回品）



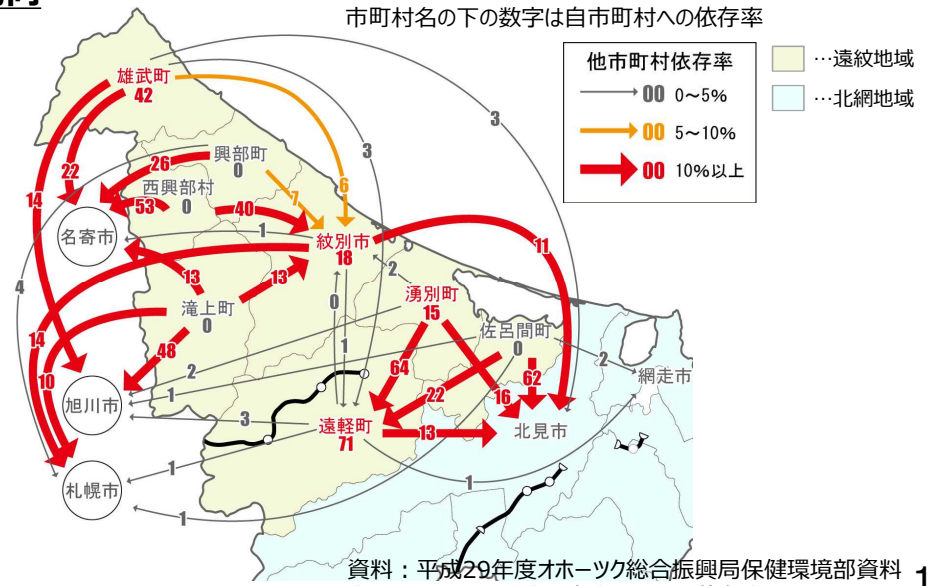
資料：平成21年度北海道広域商圏動向調査報告書（北海道）
買回品：耐久消費財等、価格や品質等の比較検討を行って購入する商品
市町村名の下の数字は自市町村への依存率

■通院動向



資料：平成29年度オホーツク総合振興局保健環境部資料
市町村名の下の数字は自市町村への依存率

■入院動向

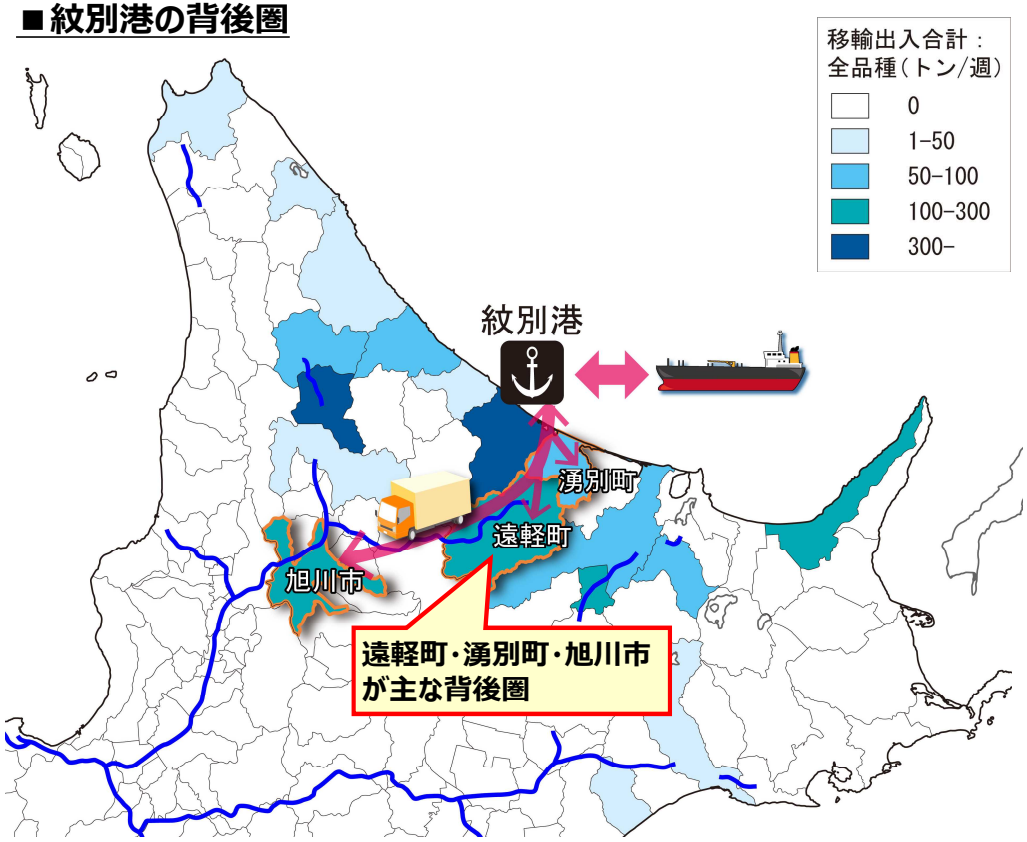


資料：平成29年度オホーツク総合振興局保健環境部資料
市町村名の下の数字は自市町村への依存率

2-7）地域の概況（紋別港）

○重要港湾である紋別港の背後圏は、主に旭川・紋別自動車道沿線の遠軽町・湧別町・旭川市。
○平成26年に「みなとオアシス」に登録後、様々なイベントを開催し、地域活性化に貢献。
○農水産物輸出促進計画に基づき、屋根付き岸壁の整備等を実施し、更なる農水産品輸出額の拡大を目指す。

■紋別港の背後圏



資料：平成24年度 港湾貨物利用実態調査
※調査期間：平成24年11月5日～平成24年11月11日

■紋別港の整備状況

平成14年	第3ふ頭-12m岸壁供用開始
平成26年	みなとオアシス登録 （名称：みなとオアシス「もんべつ」）
平成28年	バイオマス発電営業開始（12月1日）
平成29年	農水産物輸出促進計画の認定

資料：北海道開発局HP

■みなとオアシスもんべつの取組状況





▼みなとオアシスとは

【目的】地域住民の交流や観光の振興を通じ「みなと」を核としたまちづくりを促進。
【担う役割】地域住民、観光客等との交流。地域の観光及び交通に関する情報提供等。

平成26年1月　紋別港が「みなとオアシス」に登録
（令和元年11月15日時点、全国135箇所）

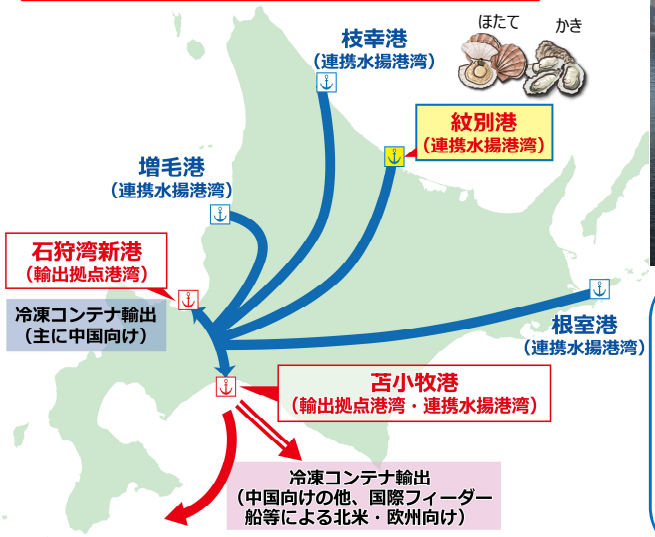
平成29年5月　「みなとオアシスもんべつ運営協議会」が道内初の港湾協力団体に指定。

平成31年1月　紋別港が道内港湾で初めて「ポート・オブ・ザ・イヤー2018」を受賞

資料：網走開発建設部HPより

■農水産物輸出促進計画の概要

北海道からの農水産品輸出額について、2025年までに1,500億円を目指す



資料：網走開発建設部HPより

屋根付き岸壁の整備



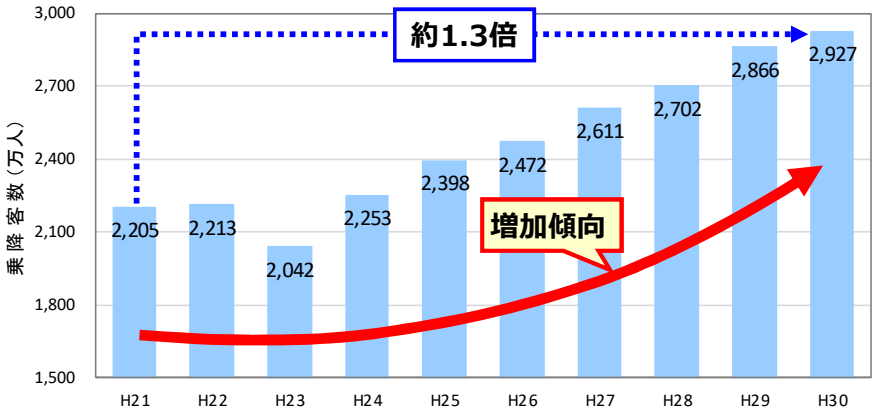
紋別港（連携水揚港湾）

施設整備計画
・屋根付き岸壁の整備（R1.10暫定供用）
施設整備以外の取組
・「紋別港水産物輸出入促進協議会」による輸出促進活動
・紋別漁協による衛生機能向上への取組
・「浜の活力再生プラン」による紋別水産物のブランド化

2-8）地域の概況（オホーツク紋別空港）

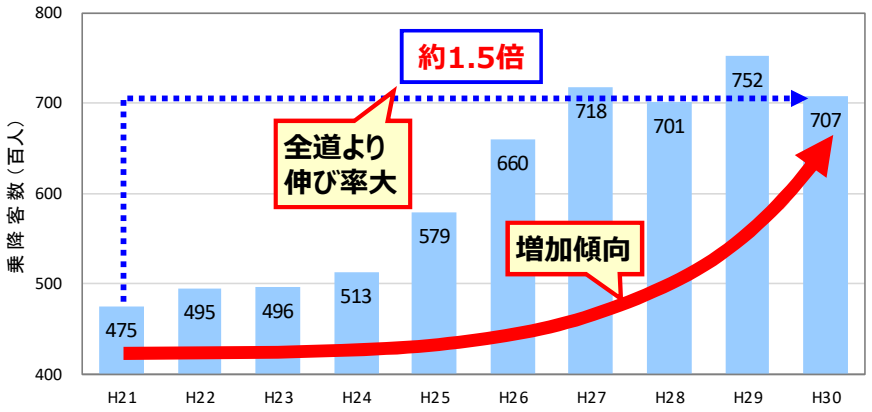
○オホーツク紋別空港の旅客数は、全道の空港に比べ伸び率が高く、平成21年/平成30年比で約1.5倍に増加。
○オホーツク紋別空港利用者の目的地は、主に旭川・紋別自動車道沿線の遠軽町・湧別町が多い。
○ひがし北海道５空港ネット等の取組により空港間連携を図る等、更なる周遊観光活性化が期待。

■北海道内空港の旅客の経年変化



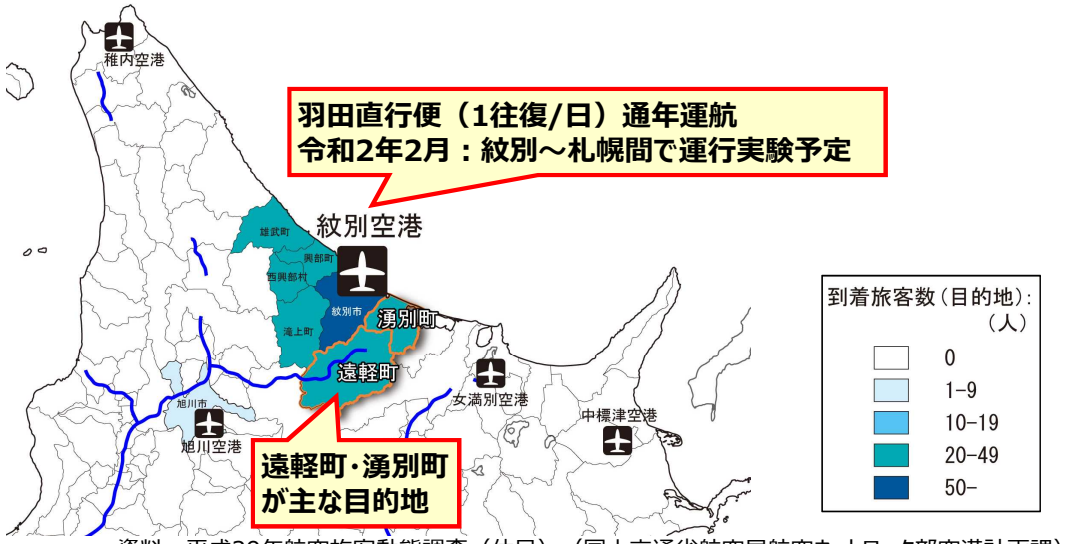
資料：空港管理状況調書（国土交通省航空局空港業務課）
*新千歳・旭川・稚内・釧路・帯広・函館・利尻・礼文（休止中）・奥尻・中標津・紋別・女満別・丘珠空港の合計

■オホーツク紋別空港の旅客の経年変化



資料：空港管理状況調書（国土交通省航空局空港業務課）

■オホーツク紋別空港利用者の目的地（休日）



資料：平成29年航空旅客動態調査（休日）（国土交通省航空局航空ネットワーク部空港計画課）

■道東5空港の連携（ひがし北海道５空港ネット）





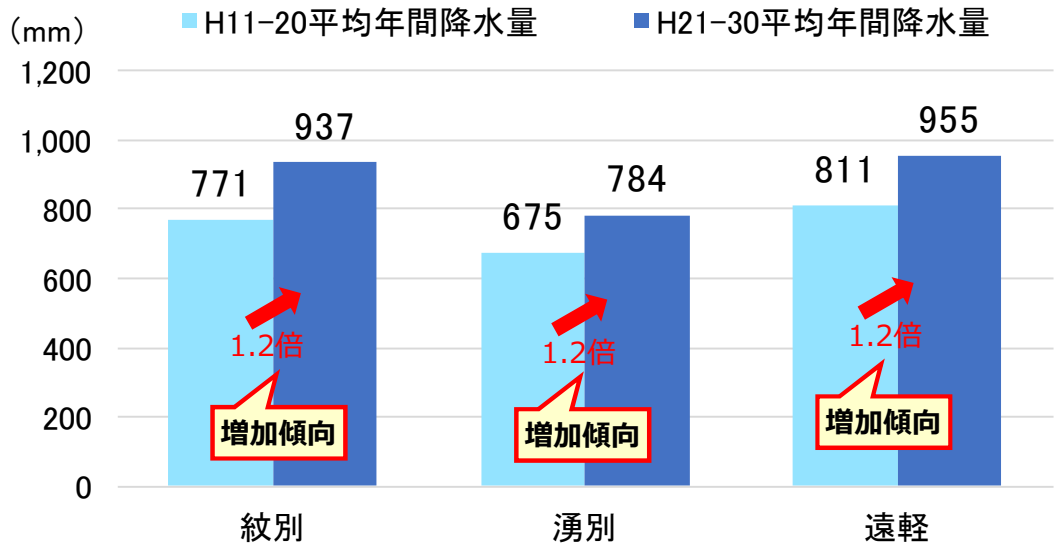
ひがし北海道の5空港（紋別・女満別・中標津・釧路・帯広）で組織する「ひがし北海道5空港運営協議会」による、航空機での「ひがし北海道」訪問を主としたユーザーへ向けた、真に魅力ある情報を得るための「総合エントランスサイト」。

資料：ひがし北海道５空港ネットHP

2-9）地域の概況（気象①）

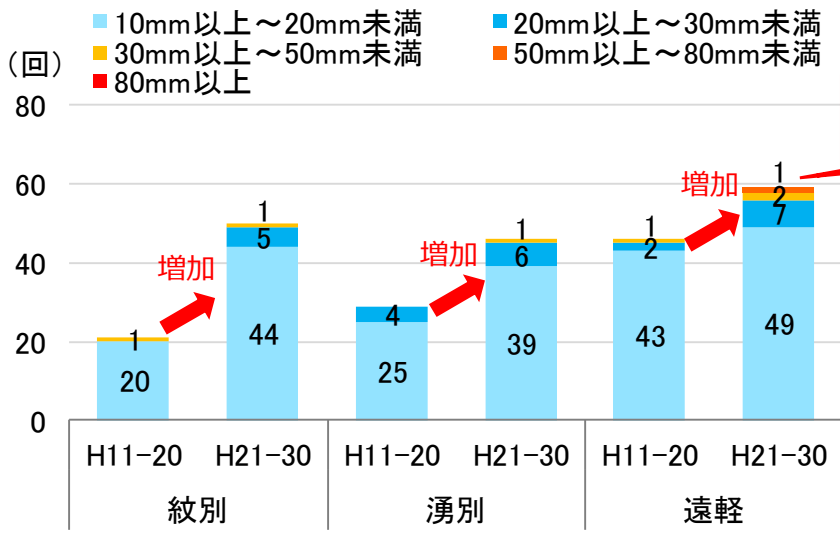
○紋別・湧別・遠軽の年間降水量は増加傾向。平成25年には、遠軽で50mm以上の時間降水量を記録。
○平成28年8月の豪雨では、湧別川が氾濫危険水位を超え、冠水・河岸侵食等が発生。

■年間降水量の比較



資料：気象庁HP（観測地点：紋別・遠軽・湧別）

■時間降水量（10mm以上）の発生回数の推移



＜雨の強さと降り方＞

1時間雨量（mm）	予報用語	屋外の様子
10以上～20未満	やや強い雨	地面一面に水たまりができる
20以上～30未満	強い雨	
30以上～50未満	激しい雨	道路が川のようになる
50以上～80未満	非常に激しい雨	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
80以上～	猛烈な雨	

資料：気象庁HP（観測地点：紋別・遠軽・湧別）

資料：気象庁HP

■平成28年8月豪雨災害の状況

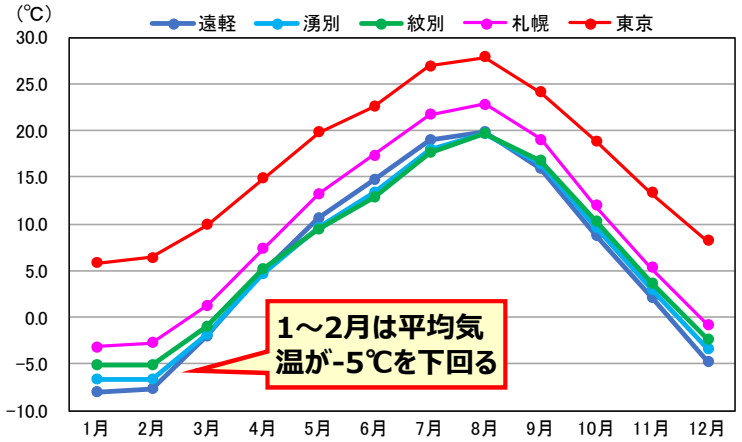


資料：国土交通省HP

2-9）地域の概況（気象②）

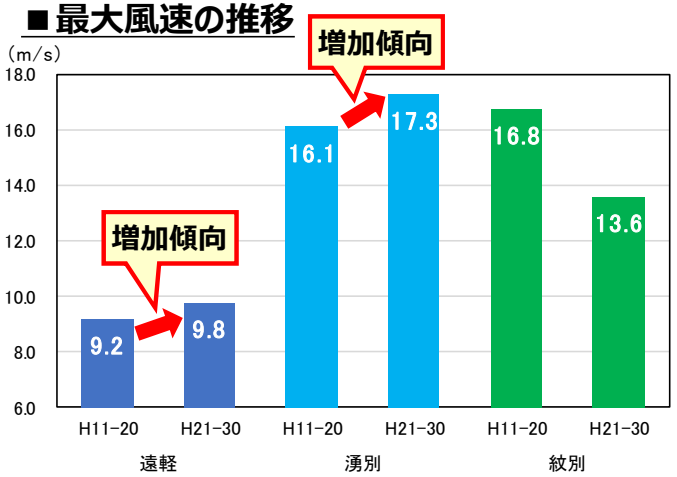
○遠紋地域は冬期平均気温がマイナス5℃を下回る寒冷な地域であり、近年降雪量・最大風速も増加傾向。
○オホーツク地域は道東地域の中でも暴風雪警報・風雪注意報が多く発令されている。近年は、暴風雪の要因となることが多い二つ玉低気圧が増加し、大雪・暴風雪が発生する危険性が高い。

■月別平均気温



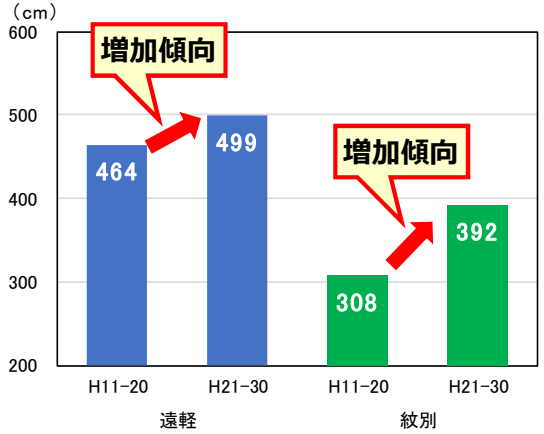
資料：気象庁HP（観測地点：遠軽・湧別・紋別・札幌・東京）

■最大風速の推移



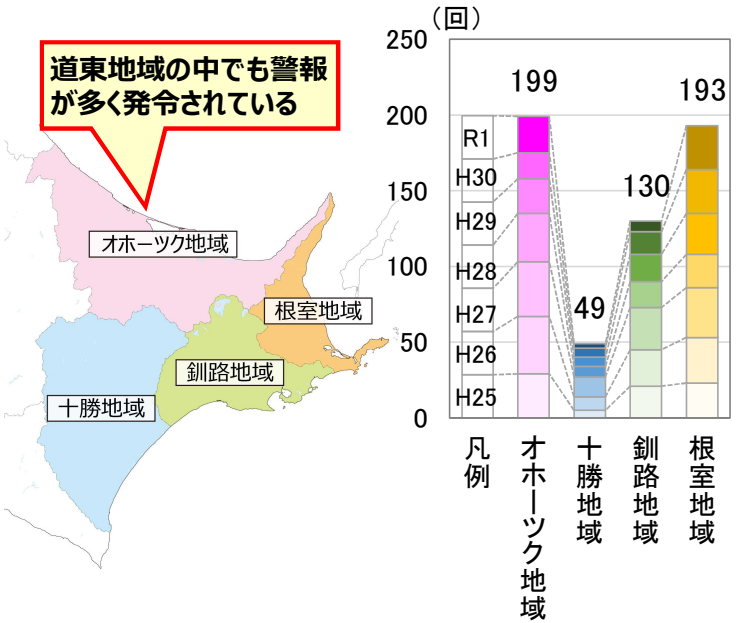
資料：気象庁HP（観測地点：遠軽・湧別・紋別）

■年間降雪量の推移



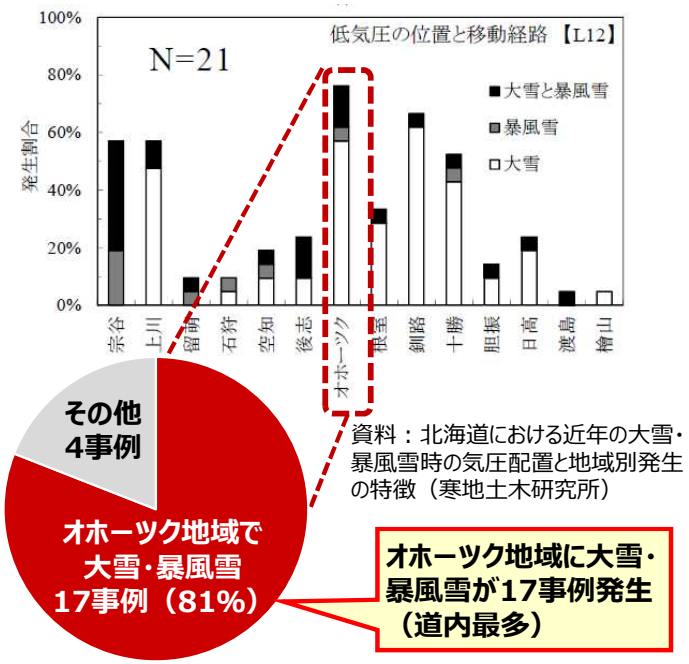
資料：気象庁HP（観測地点：遠軽・紋別）

■暴風雪警報・風雪注意報の発生回数



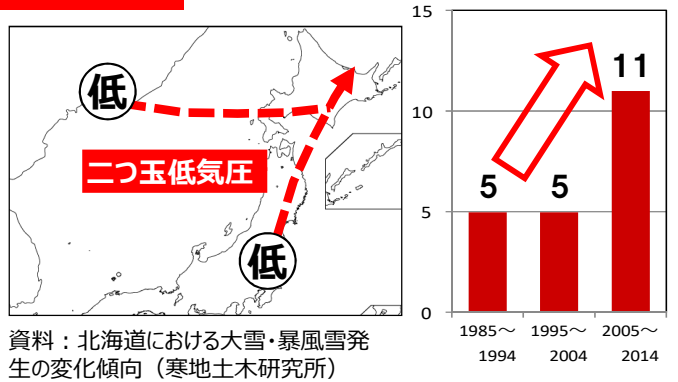
資料：気象庁HPより算出（2013年～2019年）

■二つ玉低気圧の地域別大雪・暴風雪発生割合

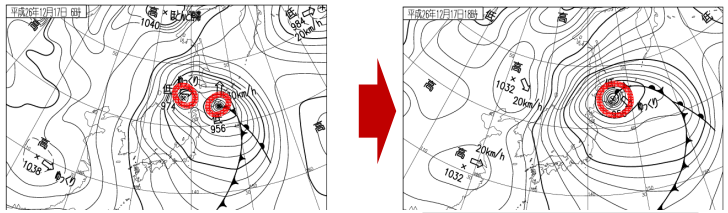


資料：北海道における近年の大雪・暴風雪時の気圧配置と地域別発生の特徴（寒地土木研究所）

二つ玉低気圧



資料：北海道における大雪・暴風雪発生の変化傾向（寒地土木研究所）

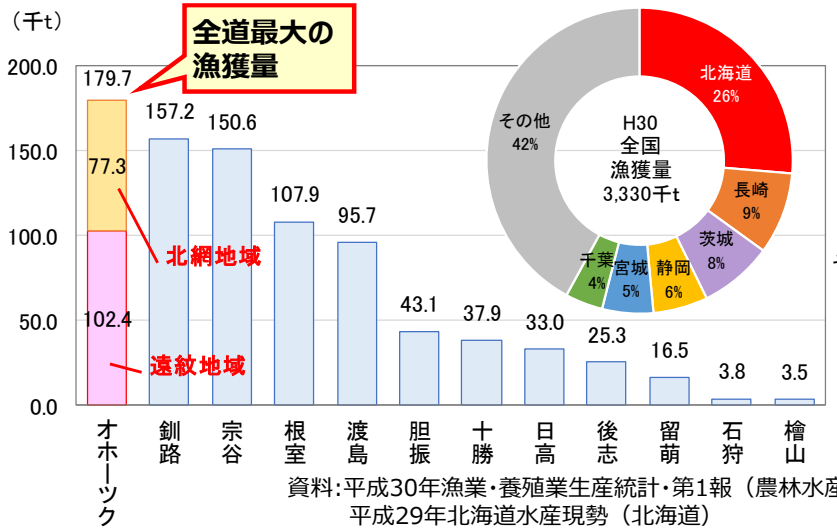


3.地域の状況と課題

3-1）地域の状況と課題（農林水産業①）

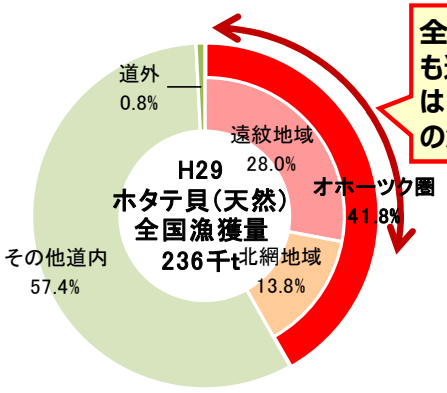
○水産業が盛んな北海道・オホーツク圏において、遠紋地域は、ほたての生産量が全国トップクラスを誇り、オホーツクブランド認証を受けた高鮮度・高品質なブランドほたてを出荷している。
○ほたての出荷は季節変動が大きく、観光繁忙時期と漁獲・出荷時期が重複。
○遠紋地域の水産物は、主に国道242号の遠軽～上湧別間を利用して苫小牧港などから全国・海外へ出荷。

■振興局別漁獲量



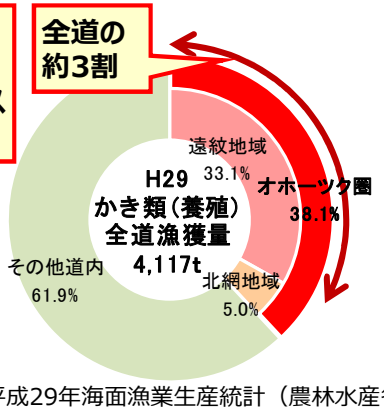
■漁獲量全国シェア

■ほたて漁獲量シェア（全国）



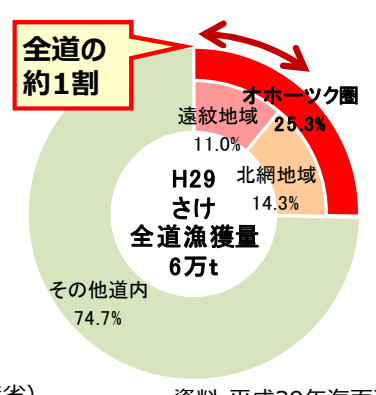
資料：平成29年海面漁業生産統計（農林水産省）

■かき類漁獲量シェア



資料：平成29年海面漁業生産統計（農林水産省）

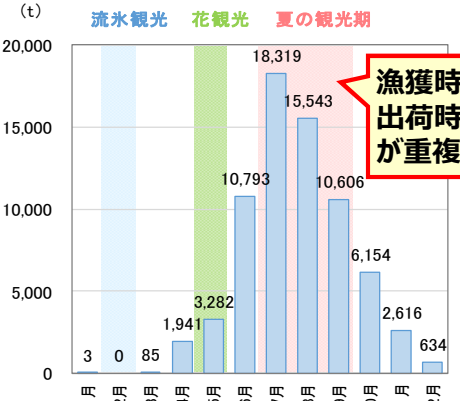
■さけ漁獲量シェア



資料：平成29年海面漁業生産統計（農林水産省）

資料：平成30年漁業・養殖業生産統計・第1報（農林水産省）
平成29年北海道水産現勢（北海道）

■遠紋地域のほたて貝月別漁獲量



資料：平成29年北海道水産現勢(北海道)を元に市町村別年間漁獲量比率を乗じて算出、出荷時期は事業者ヒアリングより

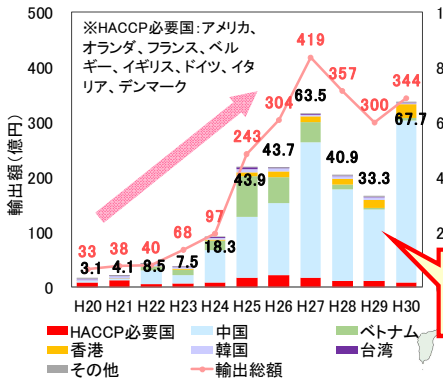
■オホーツク新鮮組「天然ほたて貝柱」

オホーツクブランド認証を受けた「天然ほたて貝柱」等の高鮮度・高品質なブランド水産物を出荷

現在、対米輸出水産食品取扱認定施設の認証を受けており、今後の設備投資として令和2年度に対EU輸出水産食品取扱認定施設の認証を取得する予定です。【紋別漁業協同組合】

資料：平成30年・令和元年管内漁業協同組合ヒアリング調査

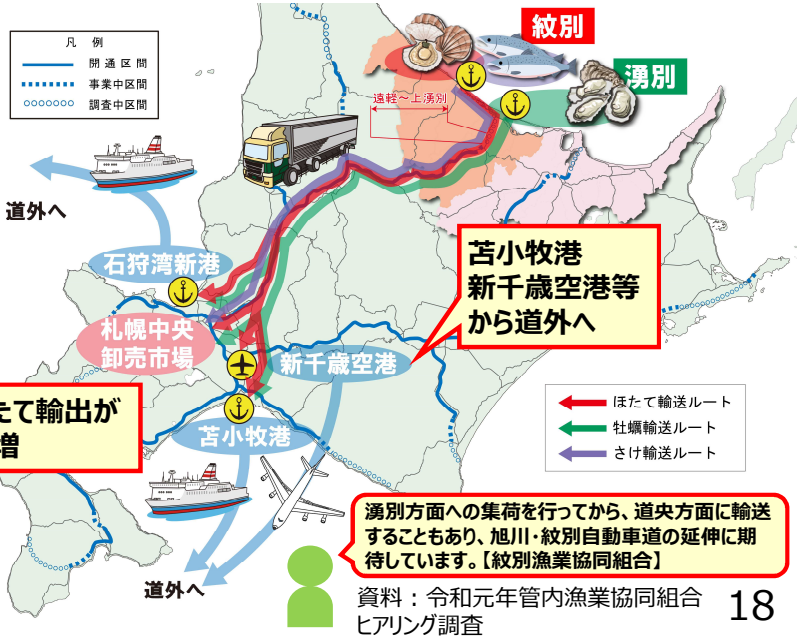
■ほたて輸出量・輸出額の推移



資料：貿易統計（財務省）

【対米・対EU輸出水産食品取扱認定施設】 HACCP（国連食糧農業機関と世界保健機関の合同機関である食品規格委員会から発表され、国際的に認められた衛生管理手法）を導入し、米国・EUへの輸出基準を満たした施設。

■ほたて・かき・さけの輸送ルート



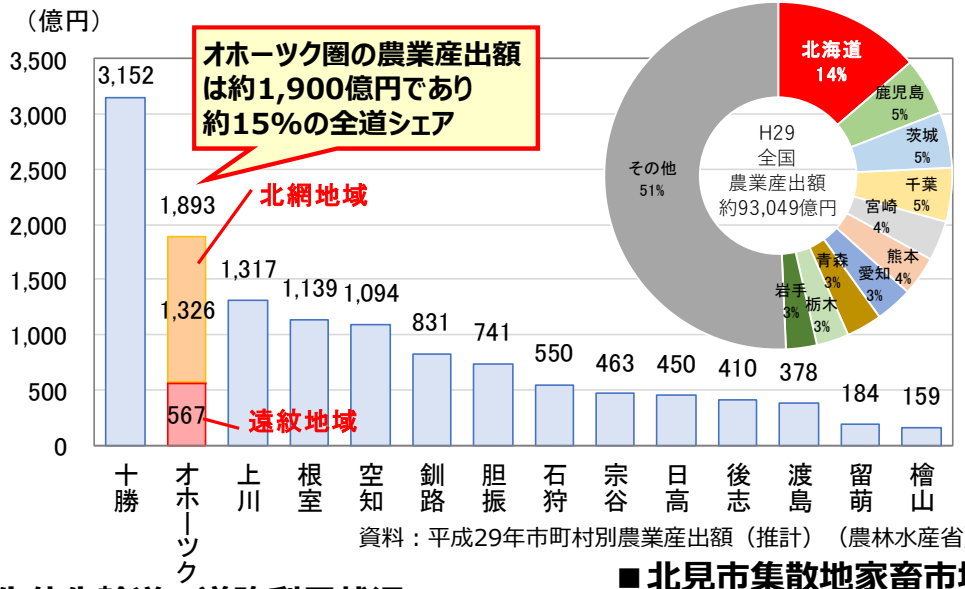
湧別方面への集荷を行ってから、道央方面に輸送することもあり、旭川・紋別自動車道の延伸に期待しています。【紋別漁業協同組合】

資料：令和元年管内漁業協同組合ヒアリング調査

3-1）地域の状況と課題（農林水産業②）

○農業が盛んな北海道・オホーツク圏において、遠紋地域は、特に生乳の生産が盛んで、全道生乳生産額シェアの約1割を占めており、生体牛（乳用種）は北見市から遠軽～上湧別間を経由し、紋別市等に輸送されている。
○生乳は遠紋地域内の乳製品工場に運ばれるが、輸送時の揺れによる乳質分離・品質低下が懸念。

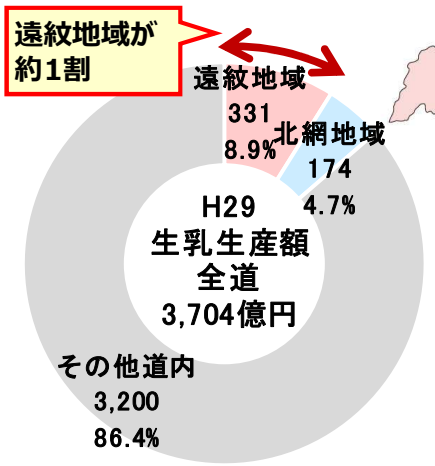
■振興局別農業産出額



資料：平成29年市町村別農業産出額（推計）（農林水産省）

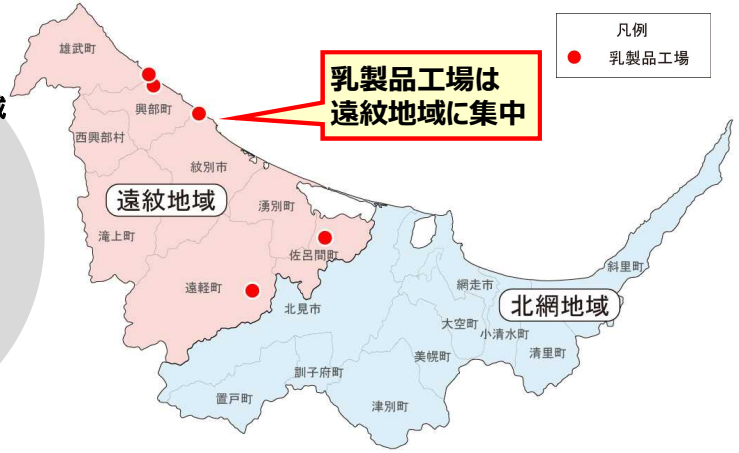
■農業産出額全国シェア

■全道生乳生産額シェア



資料：平成29年市町村別農業産出額（推計）（農林水産省）

■オホーツク圏の乳製品工場



資料：北海道乳業協会（平成30年4月1日現在）

■生体牛輸送の道路利用状況



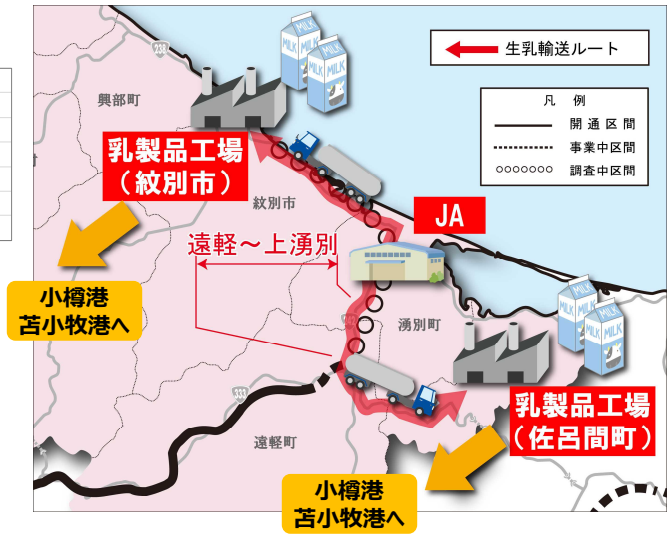
*北見市集散地家畜市場：一般家畜商が主に取引する市場

資料:北見地方畜産商業協同組合資料（平成28年）

■北見市集散地家畜市場の生体牛取扱頭数

資料:北見地方畜産商業協同組合資料（平成28年）

■遠紋地域の生乳輸送ルート



資料:平成23年管内農業協同組合ヒアリング調査

旭川・紋別自動車道の整備により、冬期荒天時の輸送安定性が向上している。【JAえんゆう】

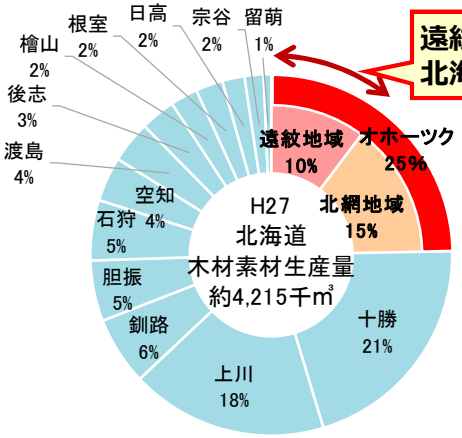
生乳輸送は揺れにより乳質が分離し品質が低下することがあるため急カーブが少なく一定速度の輸送が望まれる。【生乳関連事業者】

資料：平成29年管内農業協同組合等へのヒアリング調査

3-1）地域の状況と課題（農林水産業③）

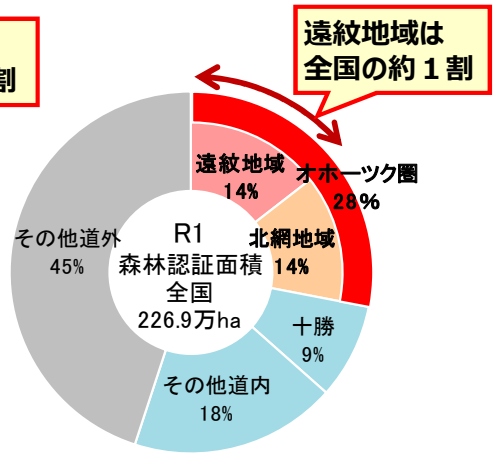
○林業が盛んなオホーツク圏において、遠紋地域は木材素材生産量が全道シェアの約1割を占める。
○森林認証面積の全国シェアは約1割を占め、全国的にも森林認証に力を入れている地域。特に、オホーツク圏の森林認証材は、「オホーツクWOOD」としてブランド化。
○遠軽町・紋別市のトドマツが東京五輪施設に採用されるなど、木材流通の更なる活性化が期待。

■北海道の木材素材生産量



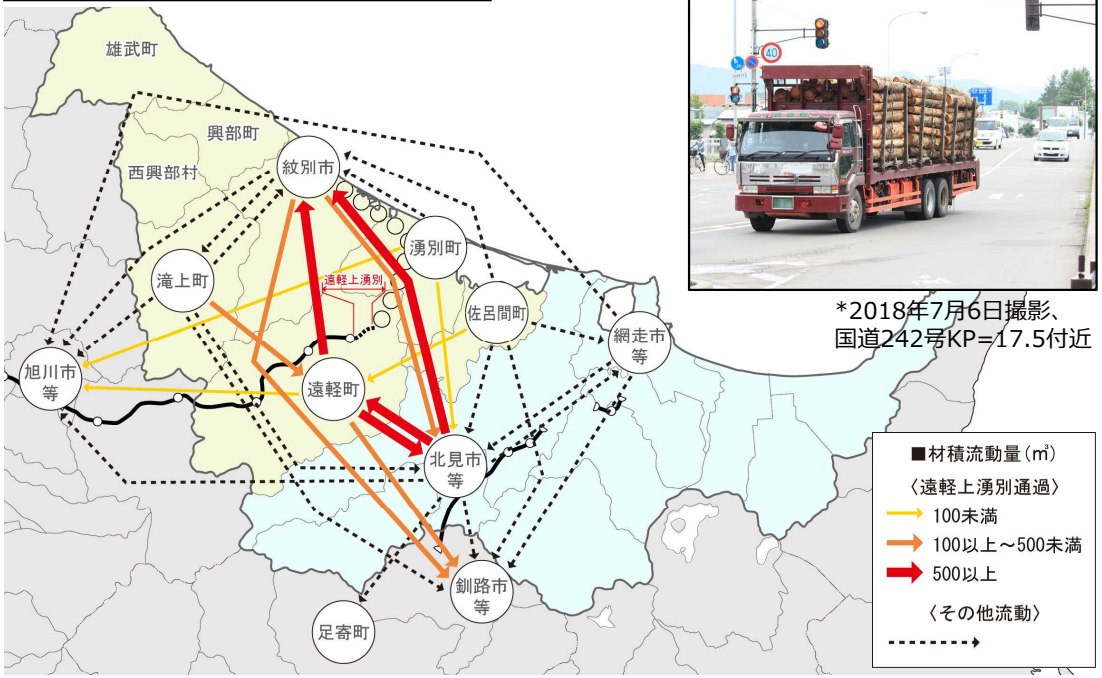
資料：平成27年農林業センサス（農林水産省）

■森林認証面積の全国シェア



資料:北海道森林計画課HPより(令和元年6月18日現在)
※遠紋地域は佐呂間町を除く、
北網地域に佐呂間町を含む

■オホーツク圏木材材積流動状況



資料：平成30年度国有林野産物の公売公告及び結果（素材の部）：北見地区（北海道森林管理局）

【木材の輸送状況】

*2018年7月6日撮影、
国道242号KP=17.5付近

■ブランド化認証



オホーツクWOODのブランド認証を受けた、品質の良い森林認証材を出荷



オホーツクWOOD
ブランド認証マーク

区分	ブランド基準	JAS基準
含水率	10±1%以内	15%以下
寸法基準	材長:±2.0mm	±5.0mm
	短辺:±0.2mm	+1.5mm、-0.5mm
その他	接着の程度 木部破断率70%以上	木部破断率65%以上

※ ブランド基準（抜粋）針葉樹集成材

■東京五輪施設に採用



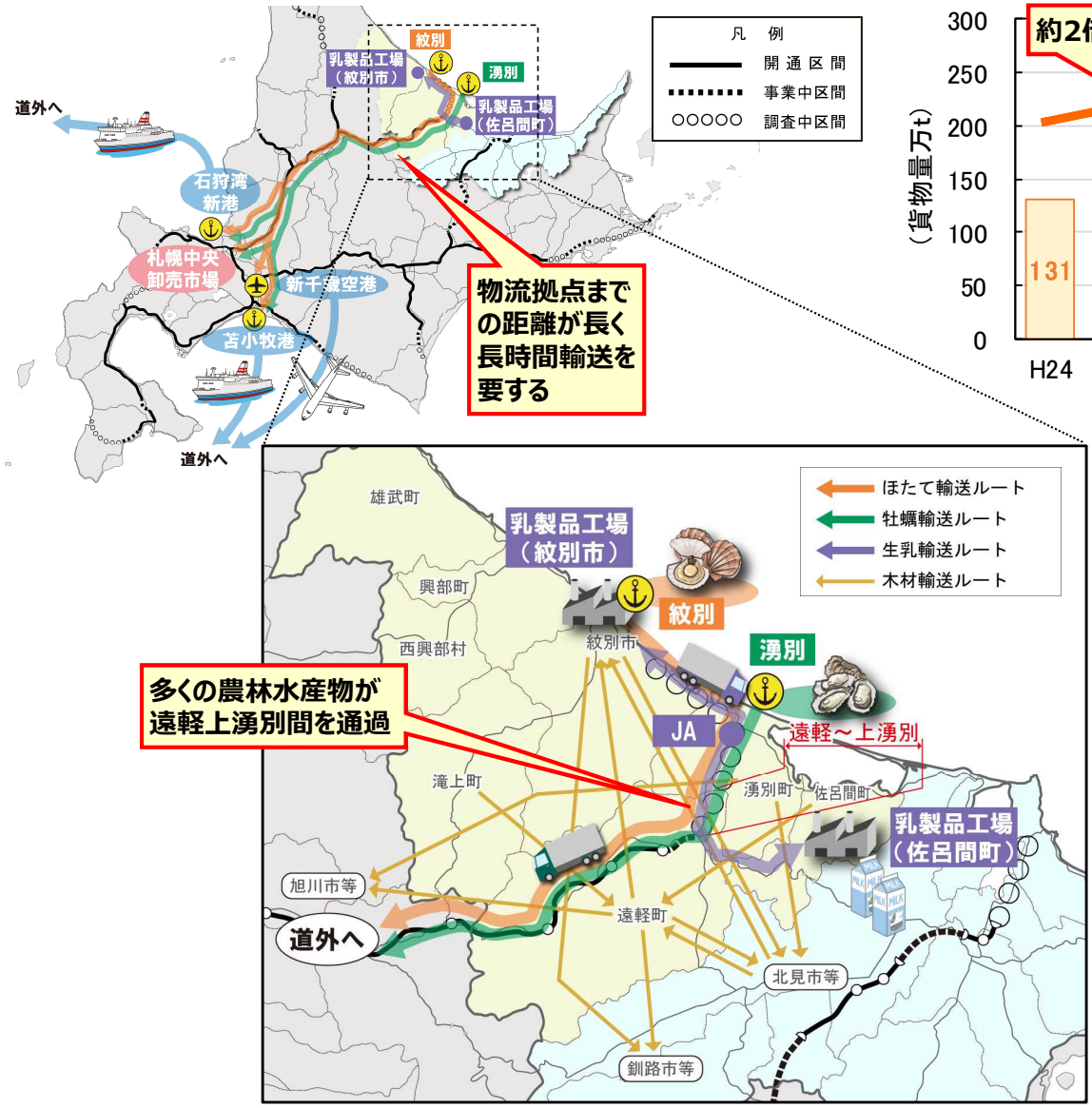
●2020年東京五輪選手村の施設「ビレッジプラザ」の建設の事業協力者として全国63自治体が選出
●遠軽町・紋別市も選出され、産地のトドマツを提供

資料：東京五輪競技大会組織委員会HP

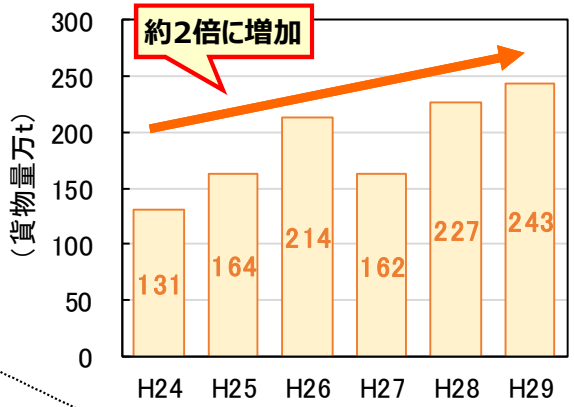
3-1）地域の状況と課題（農林水産業④）

○遠紋地域は、道内の物流拠点までの距離が長く、長距離の陸上輸送を強いられている地域であるが、遠紋地域の貨物輸送量は約2倍に増加。
○遠紋地域の貨物自動車数が減少傾向にある中、農林水産物の安定供給に向け輸送効率化が課題。

■遠紋地域の物流輸送ルート

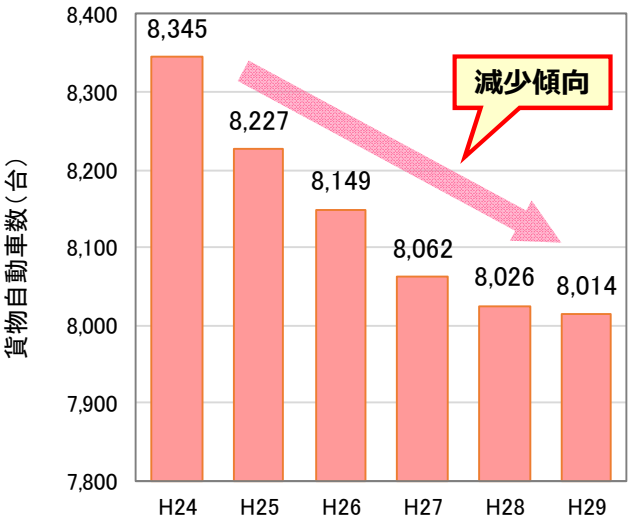


■遠紋地域の貨物輸送量の推移



資料：貨物地域流動調査(国土交通省)
農林水産品を対象、遠紋地域の貨物輸送量はオホーツク圏の貨物輸送量×（遠紋地域の貨物自動車数÷オホーツク圏の貨物自動車数）にて算出

■遠紋地域の貨物自動車数



資料：自動車保有車両数調べ（北海道運輸局）、貨物用車両数を対象

旭川・紋別自動車道の整備によって、歩行者がいなく、信号がなく交差道路から飛び出しがなく、中央分離帯により事故の危険性も少なくなったため、輸送時における安心感が非常に高くなった。
【紋別漁業協同組合】

旭川・紋別自動車道はカーブが少なく、中央分離帯が整備されており対向車との事故もないため、安全性が向上している。大型車は急カーブ等の走行時には燃費・輸送コストに影響するため、高規格幹線道路の利用により低燃費につながっている。
【佐呂間漁業協同組合】

資料：平成28年管内漁業協同組合ヒアリング調査

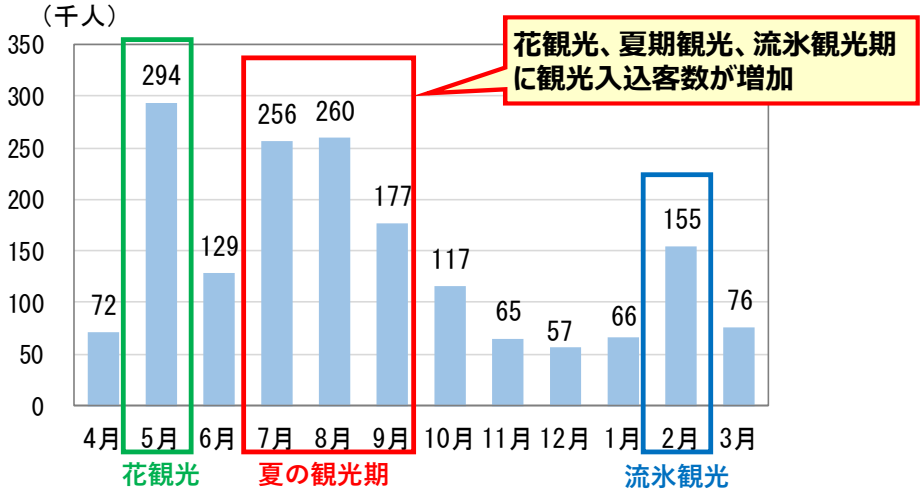
3-2）地域の状況と課題（観光①）

○遠紋地域は、日本最大級のチューリップ公園に代表される花回遊や世界初の流氷砕氷船「ガリンコ号」に代表される流氷観光など、魅力的な自然を生かした観光を推進。
○遠紋地域の観光入込客数は、花観光・夏期観光・流氷観光期に増加する特徴があり、近年は、外国人宿泊者数が過去10年で約3倍に増加。

■遠紋地域の主な観光周遊ルート

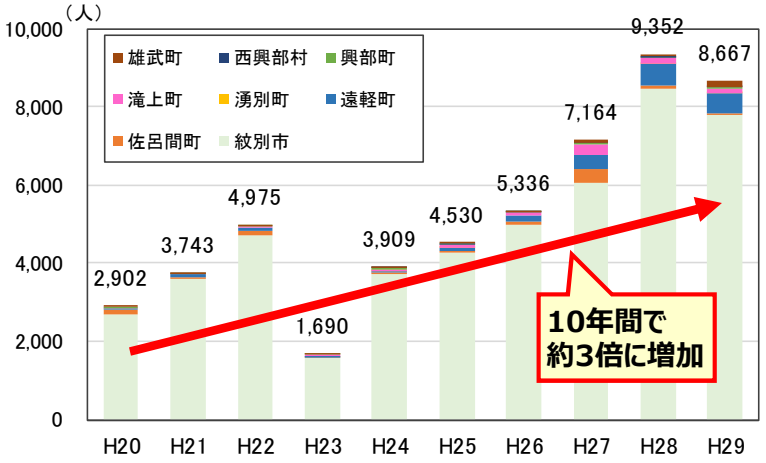


■遠紋地域の月別観光入込客数の推移



資料：平成29年度北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部）

■遠紋地域の外国人宿泊者数の推移

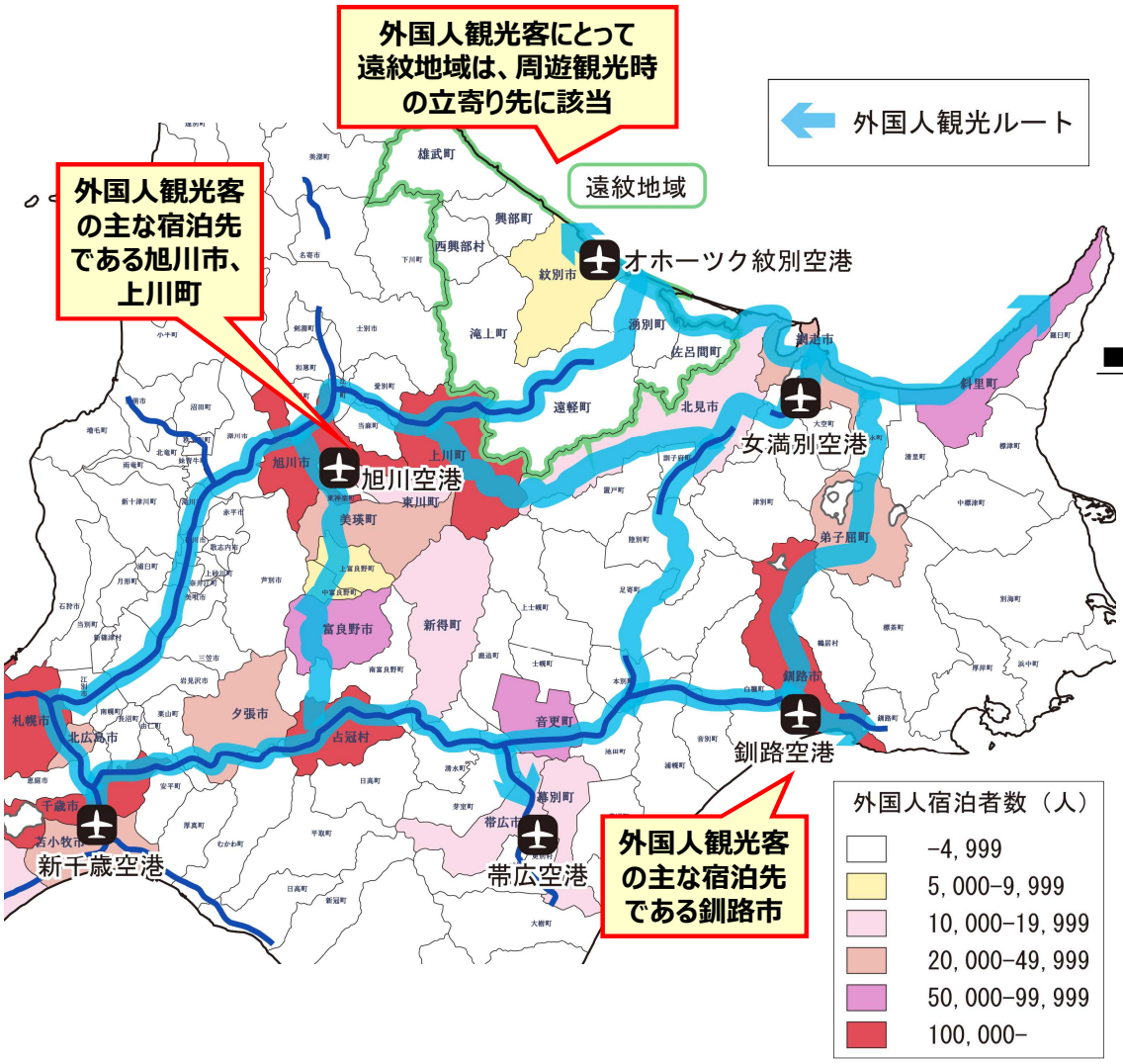


資料：北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部）

3-2）地域の状況と課題（観光②）

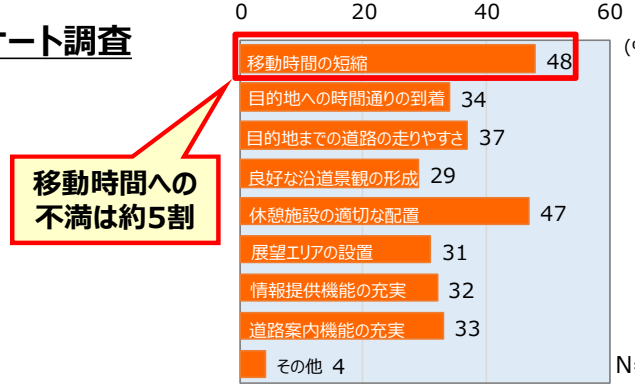
○旭川市・上川町・釧路市は外国人観光客の主な宿泊先であり、遠紋地域は周遊観光時の立寄り先に該当。
○遠紋地域が世界水準の観光地形成に取り組む中、オホーツク圏の観光における移動時間短縮の改善ニーズが高いため、立寄り観光の活性化に向け速達性、周遊性の向上が課題。

■訪日外国人観光客の主な観光ルート



資料：平成29年度北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部）
外国人観光ルートは事業者ヒアリングによるツアールートを示す（平成29年～31年調査）

■観光客アンケート調査



資料：レンタカー利用者へのWEBアンケート調査結果（平成30年2月、網走開発建設部が道外居住者を対象に実施）

■遠紋地域の観光活性化への取組み

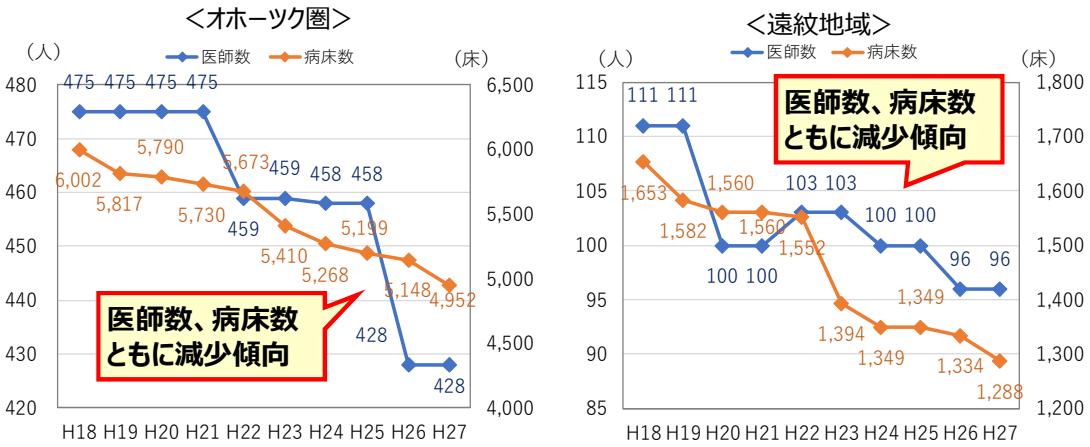


資料：平成30年管内自治体ヒアリング調査等

3-3）地域の状況と課題（医療①）

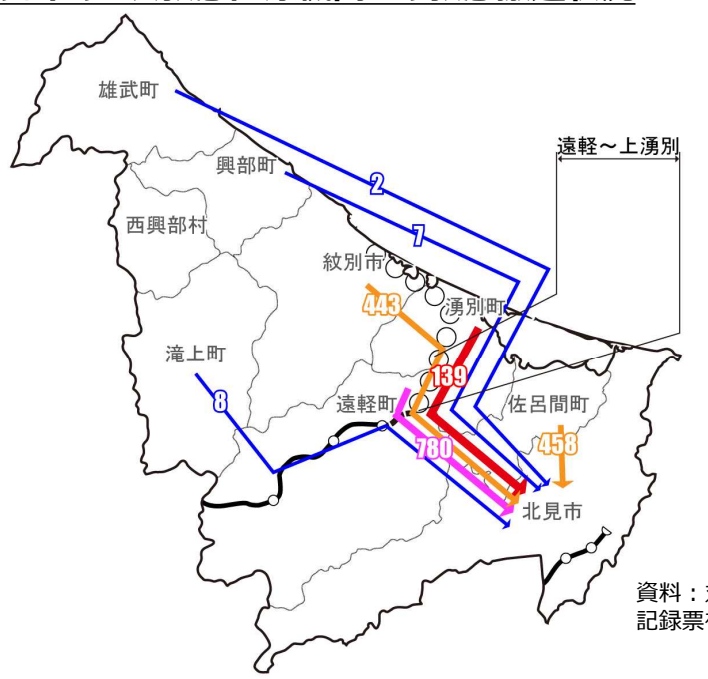
○オホーツク圏及び遠紋地域の病院は、医師数・病床数ともに減少傾向。
○高次医療に対応可能な診療科目は北見市に集中し、特に3次救急医療機関はオホーツク圏で北見市のみに存在。
○遠軽町や紋別市から3次救急医療機関への救急搬送件数は多いが、カバー面積は全国に比べ約8倍と広大。

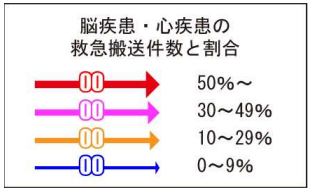
■オホーツク圏、遠紋地域の医師数・病床数の推移



資料：北海道保健統計年報（平成18年～27年）

■北見市の3次救急医療機関への救急搬送状況





※数字は北見市への脳疾患・心疾患の搬送件数を示す、矢印の色は北見市への搬送のうち脳疾患・心疾患の搬送割合を示す

資料：対象地域の消防の救急搬送活動記録票を元に作成（平成24～28年）

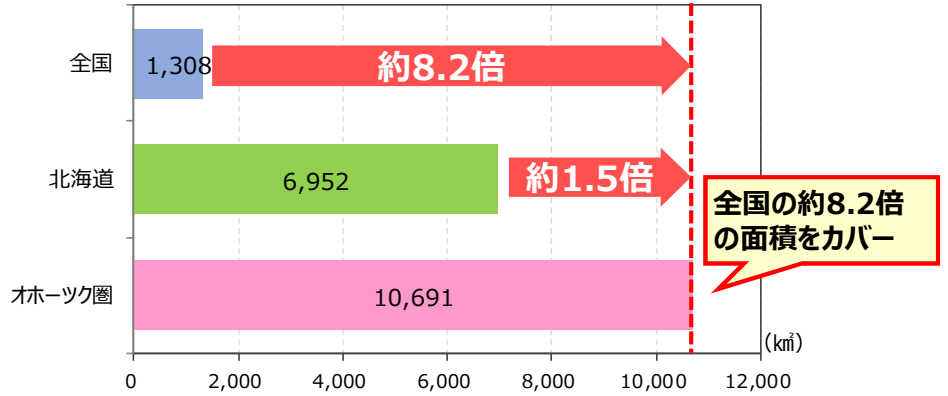
■オホーツク圏の主な診療科目

	遠紋地域								北網地域								
	紋別市	遠軽町	佐呂間町	湧別町	滝上町	興部町	西興部村	雄武町	北見市	網走市	大空町	美幌町	津別町	斜里町	清里町	小清水町	訓子府町	置戸町
脳疾患（急性期医療）	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
心疾患（急性期医療）	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
産科・産婦人科 ※1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
3次救急医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3次救急医療機関、高次医療に対応可能な診療科目は北見市に集中

資料：北海道救急医療（平成30～令和5年度）、脳疾患は脳卒中、心疾患は急性心筋梗塞を示す
※1 斜里町は分娩不可、紋別市は初産婦の分娩不可

■3次救急医療機関のカバー面積

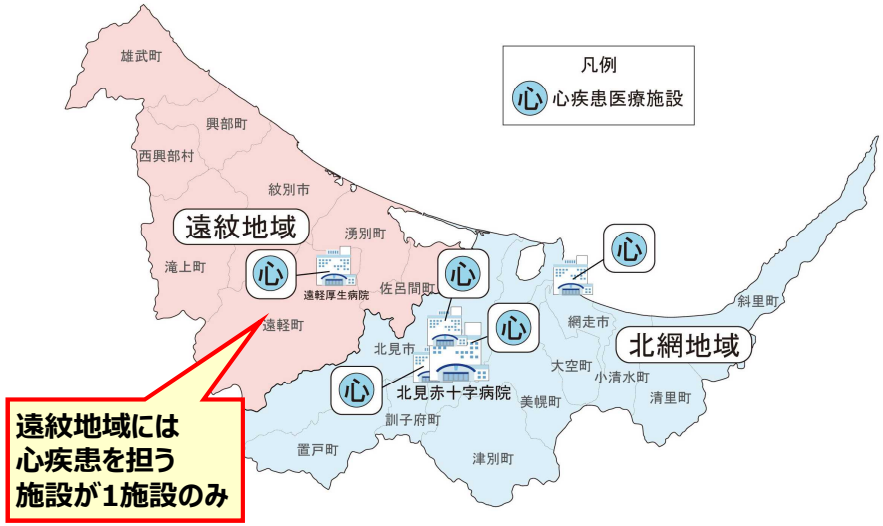


資料：平成30年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）、日本救急医学会HP

3-3）地域の状況と課題（医療②）

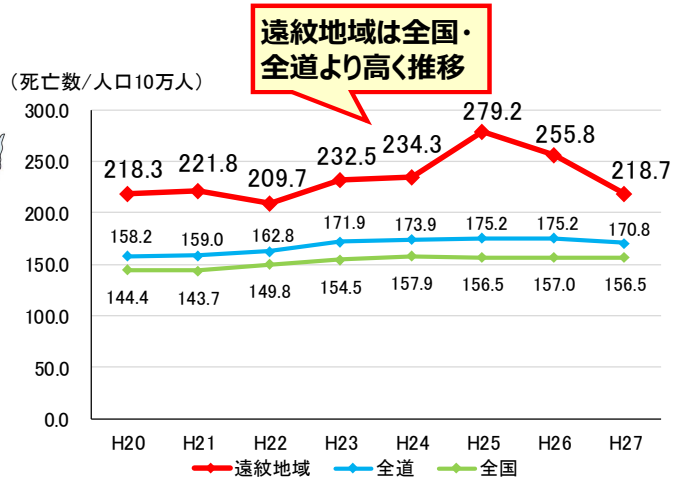
○二次医療圏である遠紋地域には、心疾患を担う医療施設は1施設のみ。
○遠紋地域の心疾患死亡率は全国・全道に比べ高水準であり、長時間搬送による生存率の低下が課題。

■オホーツク圏の心疾患医療施設



資料：北海道医療計画（平成30～令和5年度）、心疾患医療施設は急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関を示す

■遠紋地域の心疾患死亡率の推移

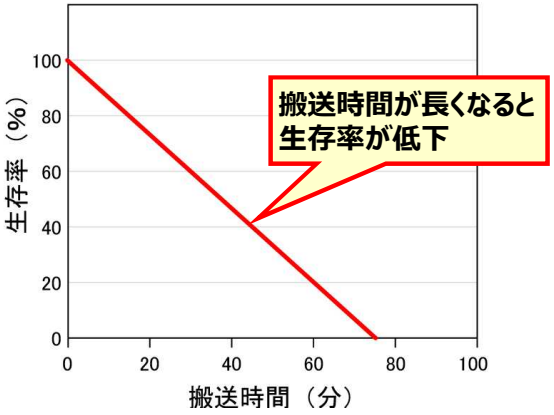


資料：北海道保健統計年報(平成20～27年)

遠軽方面への救急搬送の場合、心疾患や脳疾患等の重篤な患者が多く、1分1秒が患者の生死に関わります。
救急搬送中は、患者は寝た状態であり、頭が進行方向に向いており、急ブレーキ発生の際には頭部に血が傾くため患者の生命に関わるリスクとなります。高規格幹線道路の整備による、救急搬送時の救急車の揺れ・急ブレーキの減少は、患者の大きな負担軽減につながります。
【紋別地区消防組合】

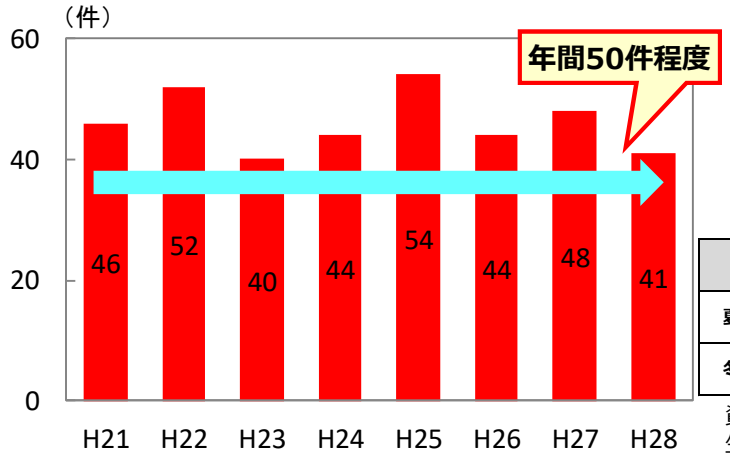
資料：平成30年管内消防組合ヒアリング調査

■搬送時間と生存率の関係（心疾患）



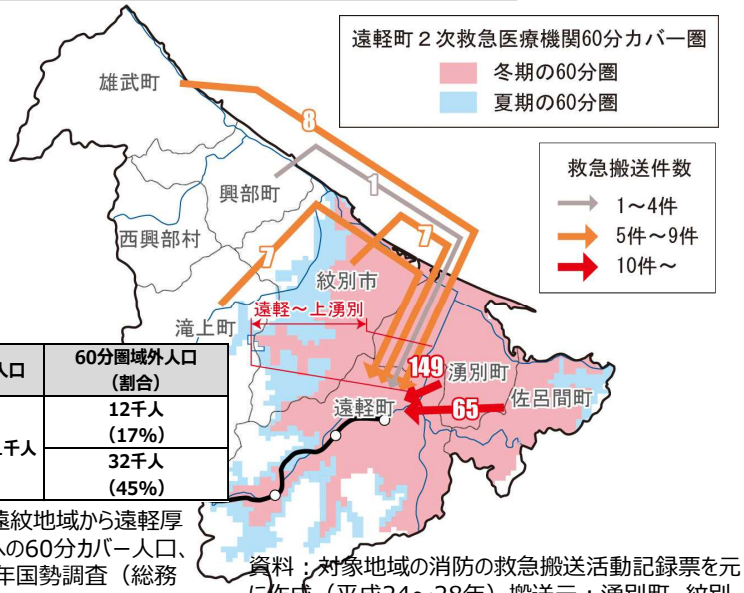
資料：疾患別の搬送時間と生存率の関係式から算出
「道路整備による救急医療便益」(交通工学Vol.45 No5 2010)

■遠紋地域から遠軽厚生病院への心疾患救急搬送の推移



資料：対象地域の消防の救急搬送活動記録票を元に作成（平成21～28年）
搬送元：湧別町、紋別市、興部町、西興部村、雄武町、滝上町、佐呂間町

■2次救急医療機関の60分カバー圏



	人口	60分圏域外人口（割合）
夏期	71千人	12千人（17%）
冬期		32千人（45%）

資料：遠紋地域から遠軽厚生病院への60分カバー人口、平成27年国勢調査（総務省）

資料：対象地域の消防の救急搬送活動記録票を元に作成（平成24～28年）搬送元：湧別町、紋別市、興部町、西興部村、雄武町、滝上町、佐呂間町

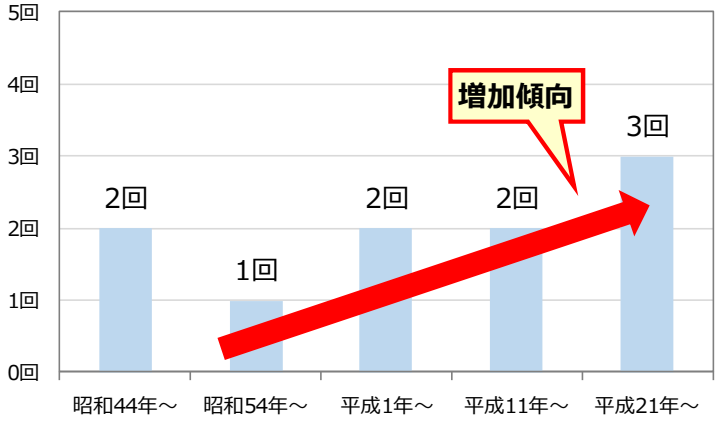
■心疾患のゴールデンタイム

疾病	記載内容
心疾患	心疾患の一つである急性心筋梗塞を発症すると、胸痛の後に心停止を起こす。胸痛から心停止までの時間は、1時間以内が86%であり、「発症から1時間以内に適切な処置を行い専門病院に搬送されること」が重要となる。 【出典】第2回日本循環器学会プレスセミナー

3-4）地域の状況と課題（災害）

○湧別川流域では、過去から洪水による被害が発生し、近年は回数が増加傾向。
○近年の豪雨災害発生時には、遠軽市街地を中心に多くのエリアで道路・河川等への被害が発生。

■湧別川流域の洪水被害の発生回数



資料：網走開発建設部HP、遠軽町災害記録
※洪水被害は、支川、内水被害、流域外被害も含む

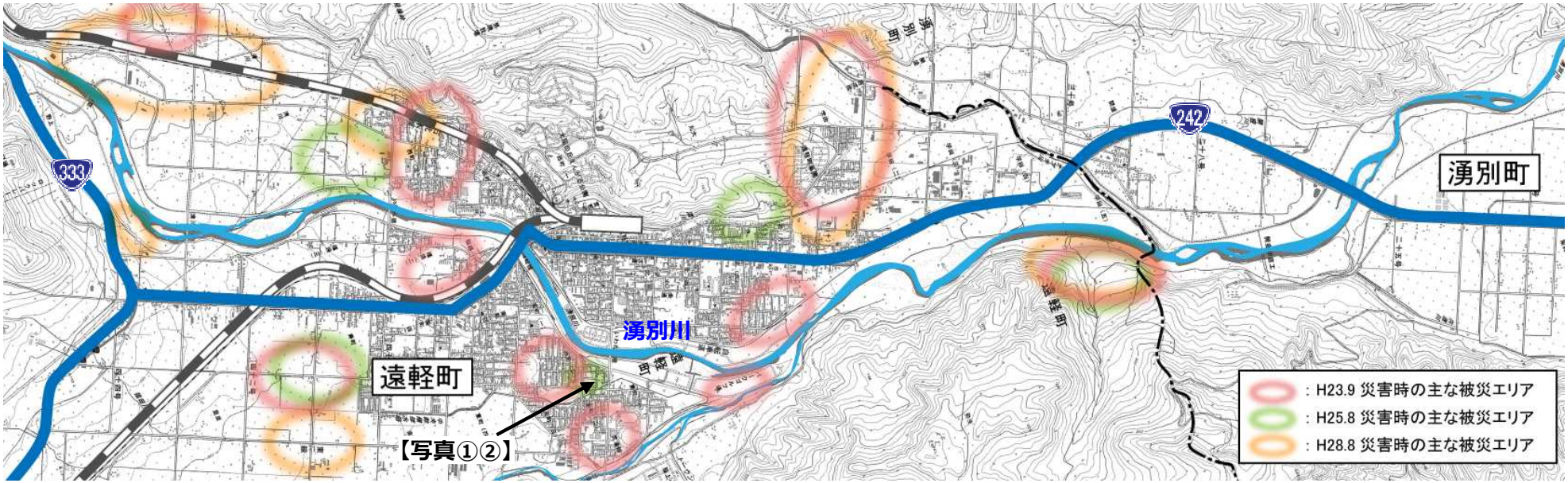
■平成25年8月の豪雨災害の状況


【写真①】冠水被害状況（遠軽町）


【写真②】冠水被害状況（遠軽町）

■近年の洪水災害発生時の主な被災エリア（遠軽町内）

至 旭川



至 紋別

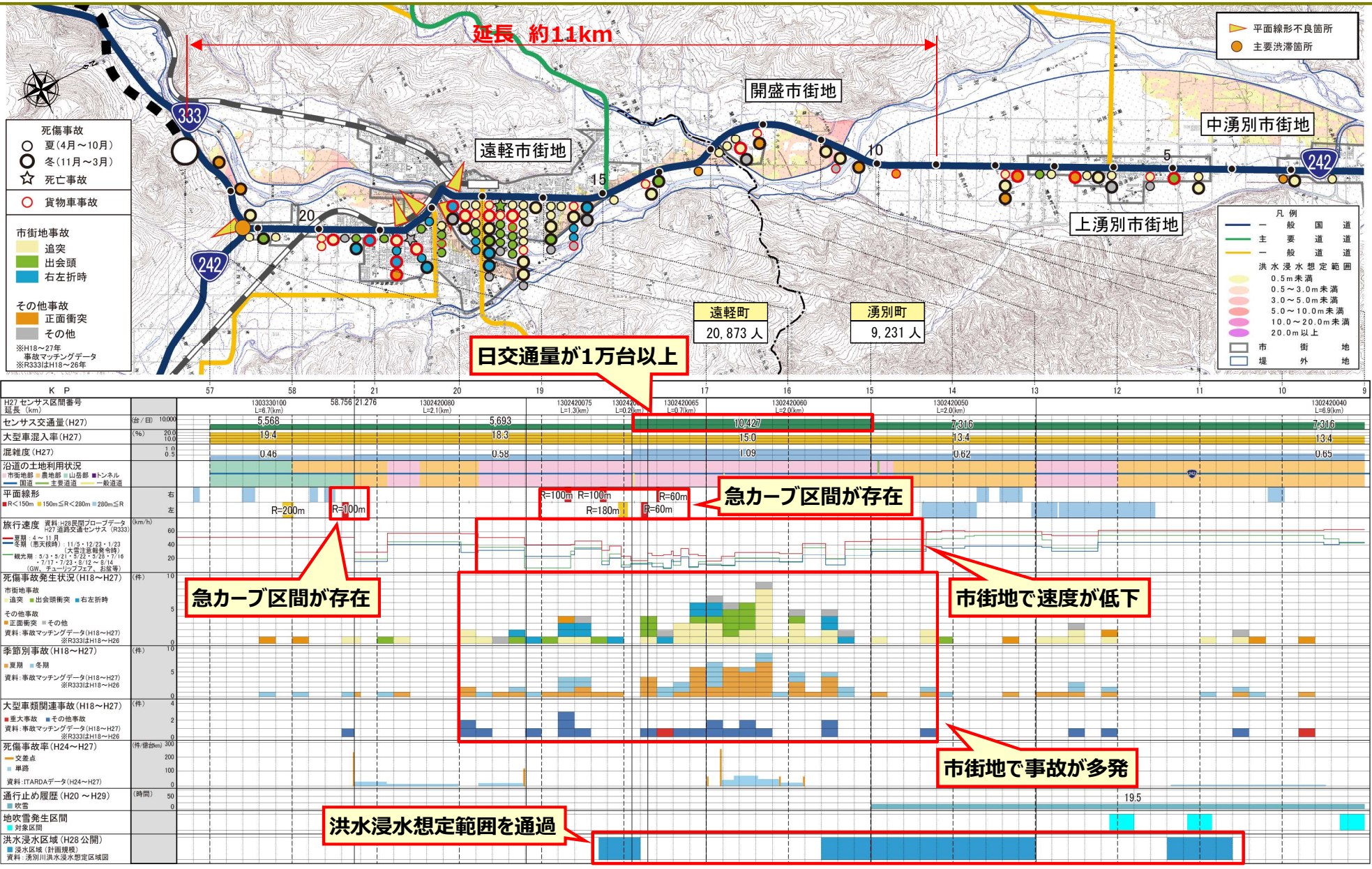
至 北見

資料：過去の災害時に道路・河川被害等が発生した主なエリアを示す、遠軽町災害記録を元に作成

4.道路の状況と課題

4-1）国道242号の道路課題

○遠軽～上湧別間では、遠軽町に最大の市街地が存在し、日交通量は1万台以上。
○遠軽市街地を含む遠軽～上湧別間は、旅行速度の低下や事故多発、洪水浸水想定範囲を通過するなど、道路課題が集中。



4-2）道路の状況と課題（事故）

○国道333号は、旭川・紋別自動車道の開通後に事故が減少しているが、未開通区間は事故が多発。
○国道242号は対象地域唯一の主要幹線道路であり、通過交通の介在により大型車混入率が全道比約1.3倍。
○遠軽市街では大型車による冬期事故、正面衝突・追突事故、急カーブ区間での事故が多発。

■事故の推移

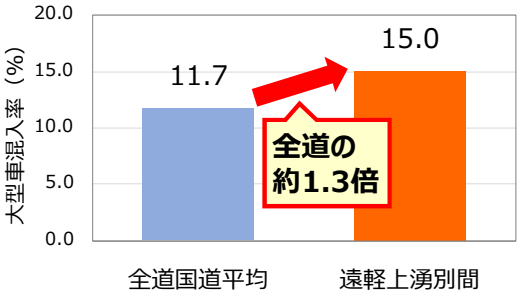


区間名	開通区間					未開通区間	
	浮島IC～奥白滝IC	奥白滝IC～白滝IC	白滝IC～旧白滝IC	旧白滝IC～丸瀬布IC	丸瀬布IC～遠軽瀬戸瀬IC	遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC	遠軽上湧別間
開通年度	H14年3月	H14年3月	H21年12月	H19年3月	H29年3月	令和元年度開通予定	-
事故件数（整備前3年間）（国道333・242号）	H11-H13 0件	H11-H13 5件	H18-H20 1件	H16-H18 5件	H26-H28 6件	H24-H26 2件	H24-H26 20件
事故件数（整備後3年間）（国道333・242号）	H15-H17 0件	H15-H17 1件	H22-H24 0件	H20-H22 1件	H30- 0件	H27-H29 2件	H27-H29 17件

事故が大きく減少

資料：平成11～14年事故マッチングデータ、平成15～29年イタルダ事故データ、丸瀬布IC～遠軽瀬戸瀬IC間の整備後は平成29年3月19日以降の件数、遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC、遠軽上湧別間は直近3年間毎の件数

■大型車混入率の比較



資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

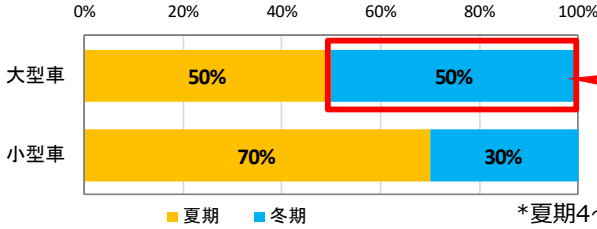
■写真　市街地での大型車通行状況



*平成30年7月6日撮影

■事故分析

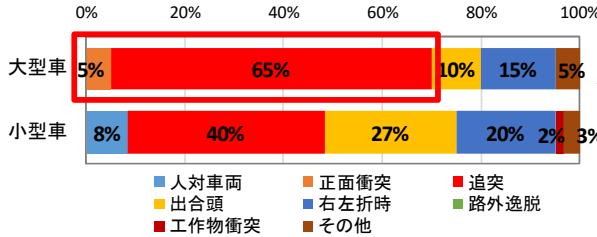
【季節別】



大型車の冬期事故が多発

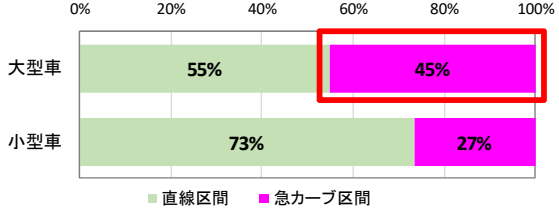
*夏期4～10月、冬期11～3月を対象

【事故類型別】



大型車は正面衝突・追突事故が多い

【道路形状別】



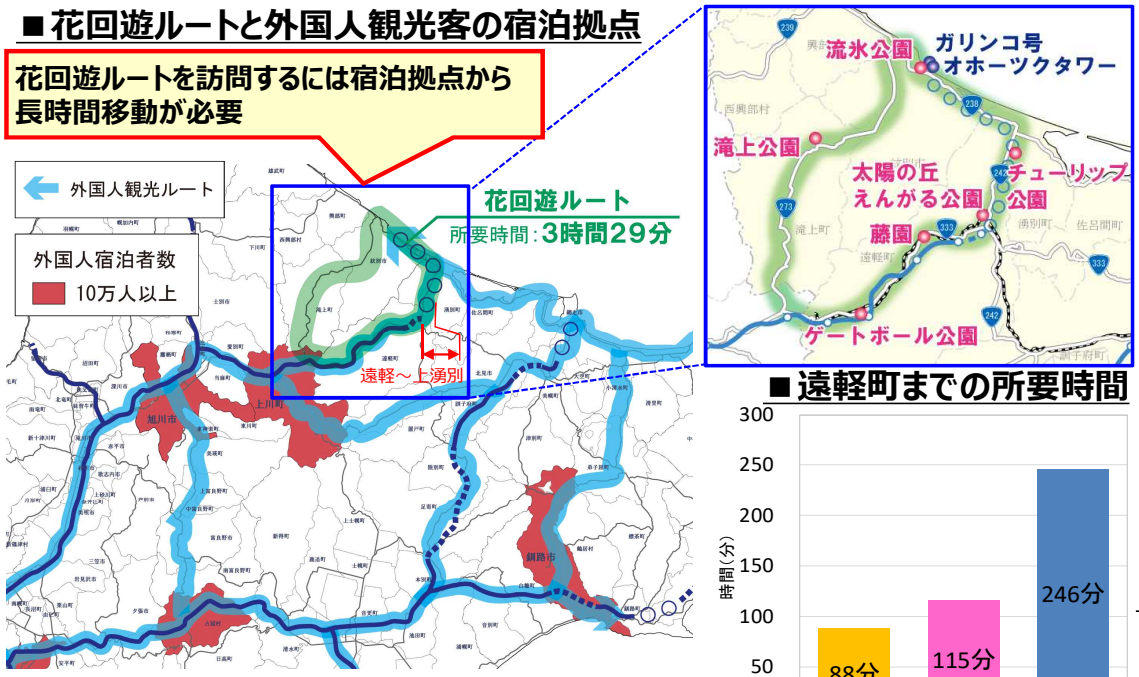
急カーブ区間での大型車事故が多発

資料：事故マッチングデータ（平成17～28年）遠軽市街を対象（R242_KP14.3～21.276）

4-3）道路の状況と課題（ネットワーク）

○花回遊ルートを訪問するには、外国人観光客の宿泊拠点から長時間の移動が必要。
○国道242号は対象地域唯一の主要幹線道路であるため、観光期には交通が集中し、交通混雑・速度低下等の課題が発生。

■花回遊ルートと外国人観光客の宿泊拠点

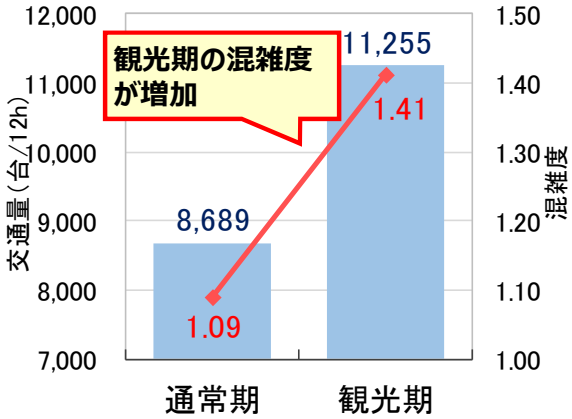


資料：北海道観光入込客数調査報告書（平成29年）、外国人宿泊者数は10万人以上を対象、外国人観光ルートは事業者ヒアリングによるツアールートを示す、所要時間は平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

■遠軽町までの所要時間

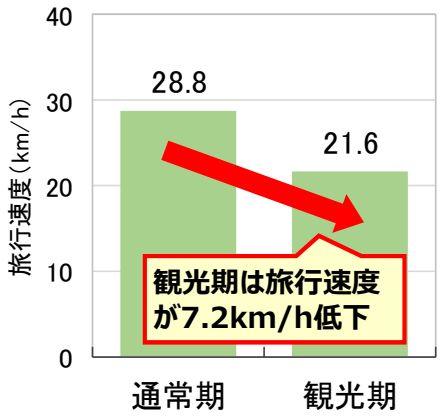
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

■観光期の交通混雑（遠軽市街）



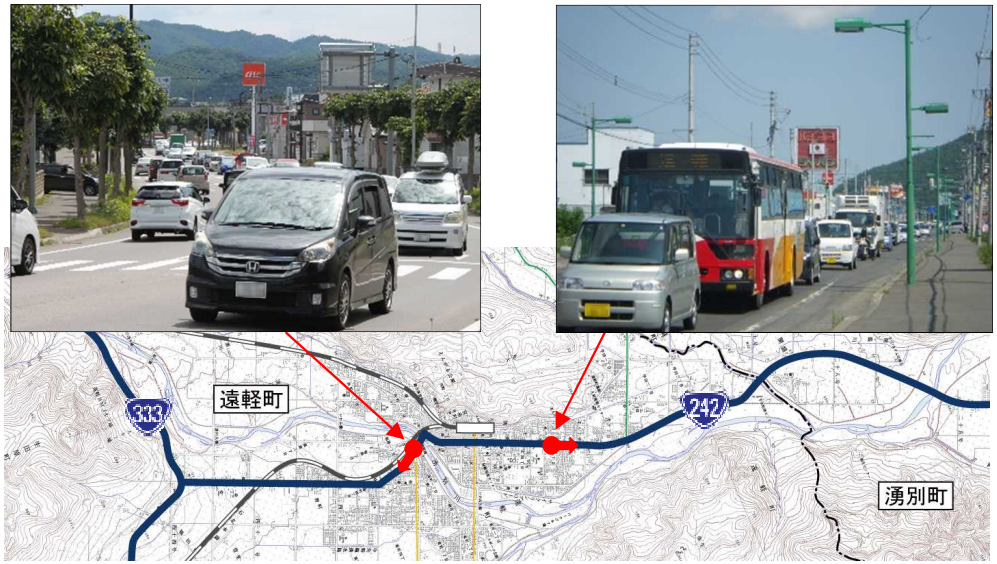
資料：＜通常期＞平成27年度全国道路・街路交通情勢調査、＜観光期＞調査日_令和元年5月18日（チューリップ開花時期）

■観光期の速度低下（遠軽市街）



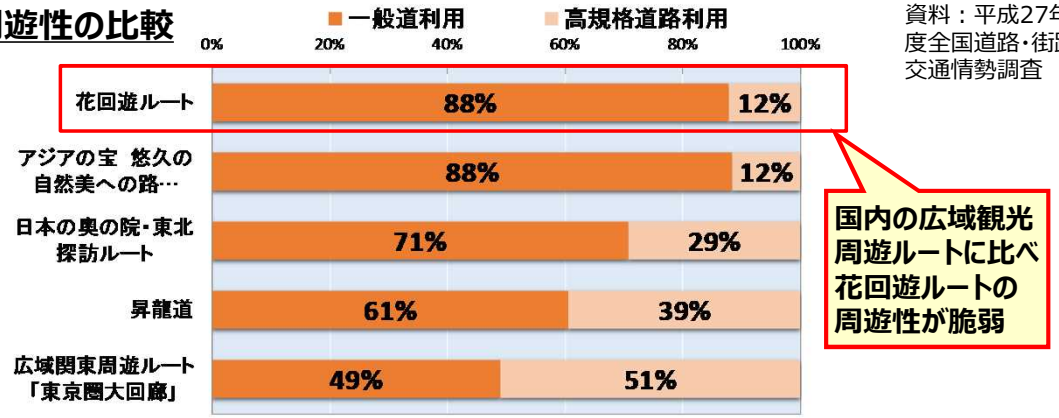
資料：ETC2.0プローブデータ、＜通常期＞平成29年9～11月、＜観光期＞平成29年GW、チューリップ開花時期

■写真：観光期の混雑状況(遠軽市街)



*2017年5月5日撮影

■周遊性の比較

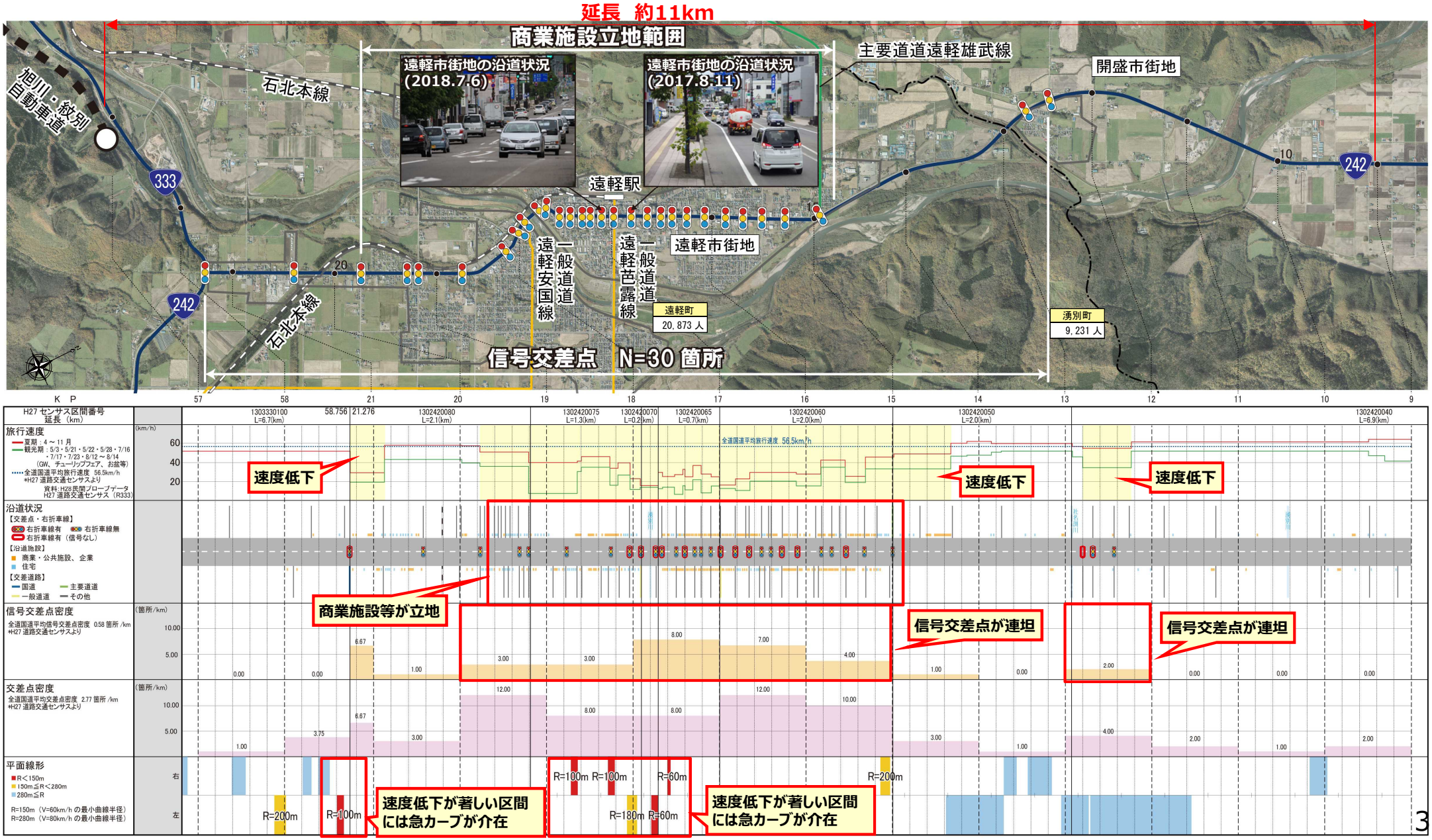


国内の広域観光周遊ルートに比べ花回遊ルートの周遊性が脆弱

資料：観光庁の広域周遊観光ルートHP、花回遊HPより、高規格幹線道路・一般道の所要時間割合を算出

4-4）道路の状況と課題（速度低下）

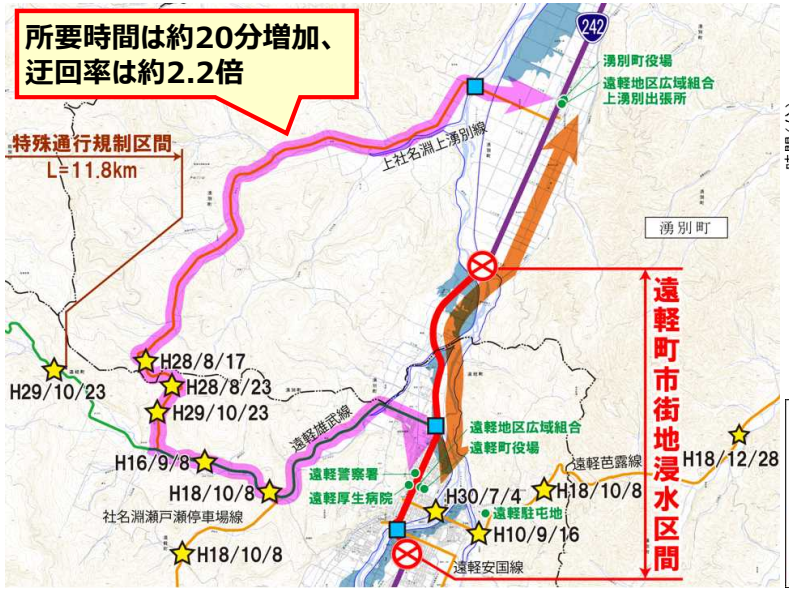
○遠紋地域の中心都市である遠軽市街地は、沿道商業施設・信号交差点が連担していることに加え、急カーブが介在するため、旅行速度の低下が著しい。



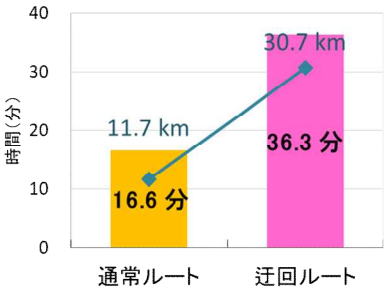
4-5）道路の状況と課題（災害）

○豪雨時には、国道の洪水浸水による通行止めにより遠軽町への経路が寸断。
○洪水発生時の迂回路は通行止めが頻発する等、脆弱な路線であるため、災害時に確実な代替路の確保が必要。
○災害時における拠点施設への確実なアクセス路の確保による救援体制の実現が必要。

■洪水浸水時の迂回ルート（想定）



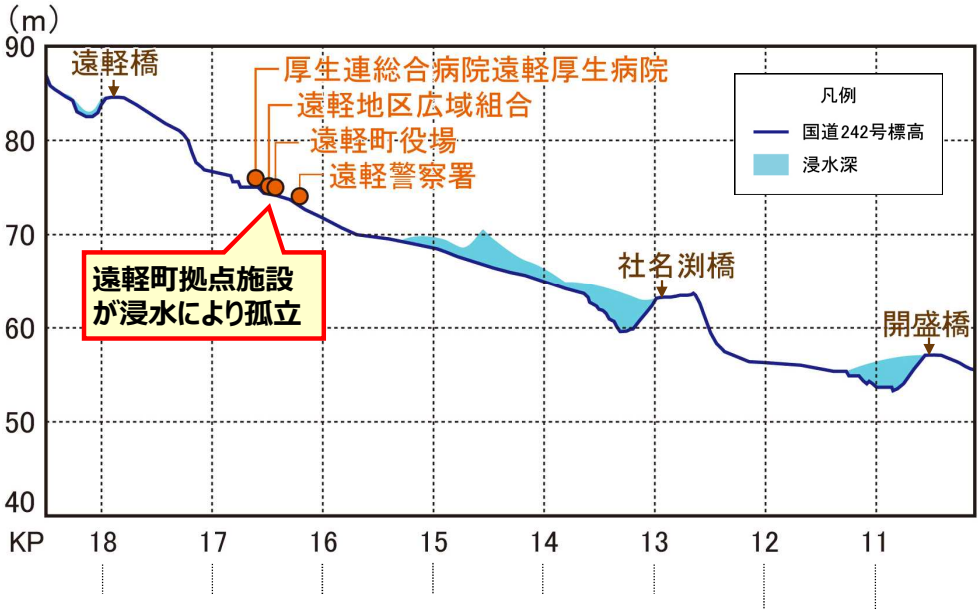
<各ルートの所要時間と距離>



資料：平成27年度全国
道路・街路交通情勢調査

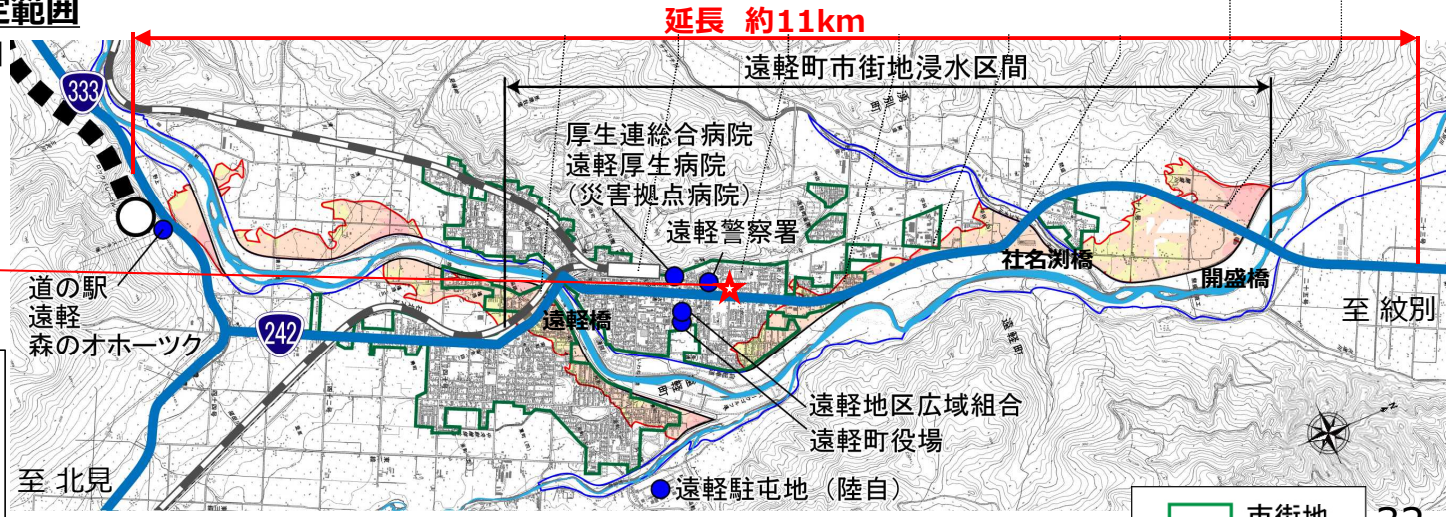
凡　例
- 通行止め発生箇所
- 重要水防箇所
- 洪水浸水想定範囲
- 通常ルート
- 迂回ルート

■洪水浸水想定範囲（縦断図）



■洪水浸水想定範囲

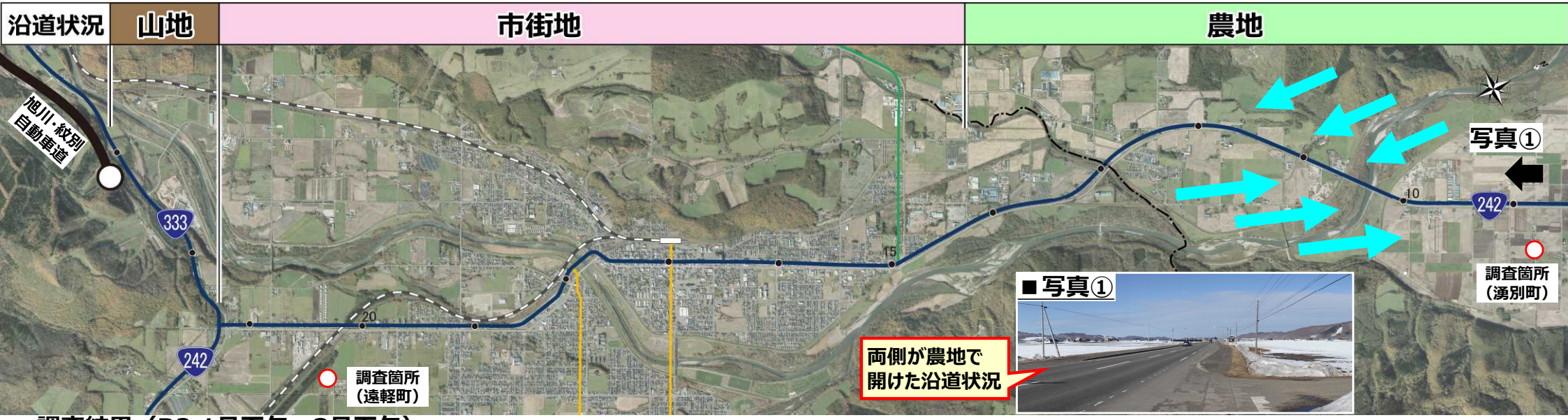




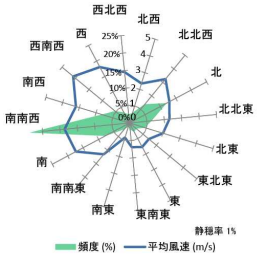
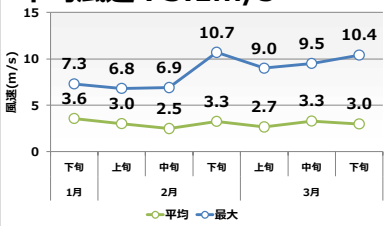
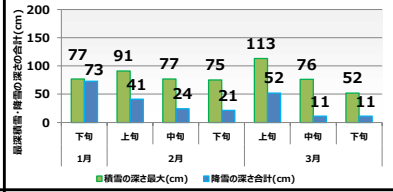
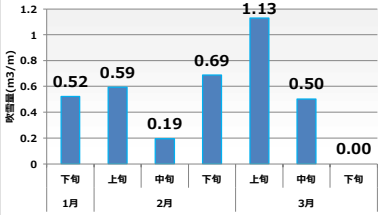
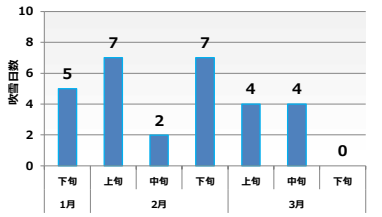
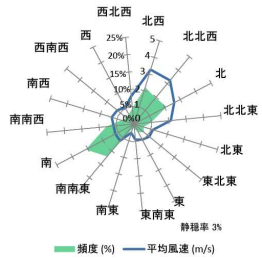
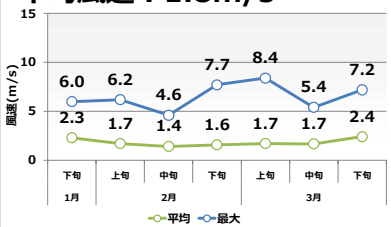
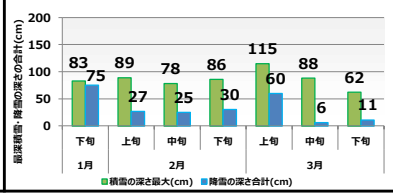
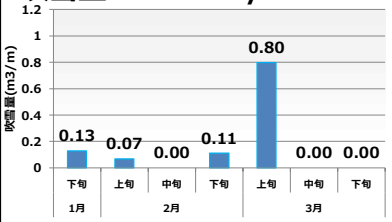
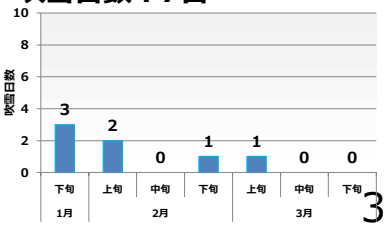
資料：＜洪水浸水想定範囲＞湧別川洪水浸水想定区域図（計画規模）を元に作成
＜縦断図＞国土地理院HPを元に作成

4-6）道路の状況と課題（冬期災害①）

○地吹雪発生状況を把握するため、市街地近傍と郊外部で冬期気象調査を実施。
○郊外部は、沿道状況が農地であり、風速・吹雪量が大きいため、吹雪が多く発生している状況。



■調査結果（R2.1月下旬～3月下旬）

調査箇所	風向	風速	積雪・降雪深	吹雪量	吹雪日数
郊外部（湧別町）		平均風速：3.1m/s 	最深積雪：113cm 降雪深：233cm 	吹雪量：3.62m³/m 	吹雪日数：29日 
市街地近傍（遠軽町）		平均風速：1.8m/s 	最深積雪：115cm 降雪深：234cm 	吹雪量：1.11m³/m 	吹雪日数：7日 

郊外部は風速が大きい

市街地の約3倍

約半分の期間で吹雪が発生

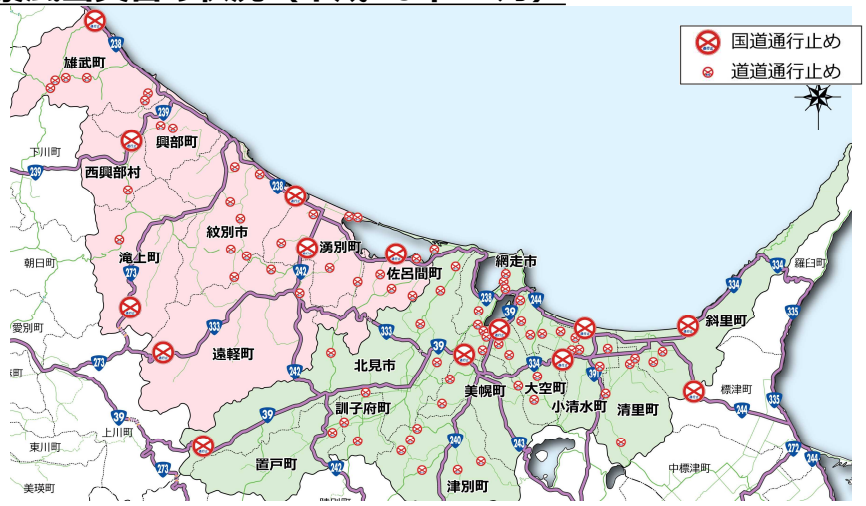
4-6）道路の状況と課題（冬期災害②）

○国道242号遠軽～上湧別間では、平成10年以降、吹雪による通行止めが3回発生。
○平成26年12月の暴風雪災害時には、国道242号を含む14区間が通行止め及び周辺道道も多くの区間で通行止めとなり、オホーツク圏域全体で孤立した状況。
○冬期の通行止時間は増加し、特に吹雪による通行止時間が大幅に増加している状況。

■オホーツク圏における冬期災害発生状況

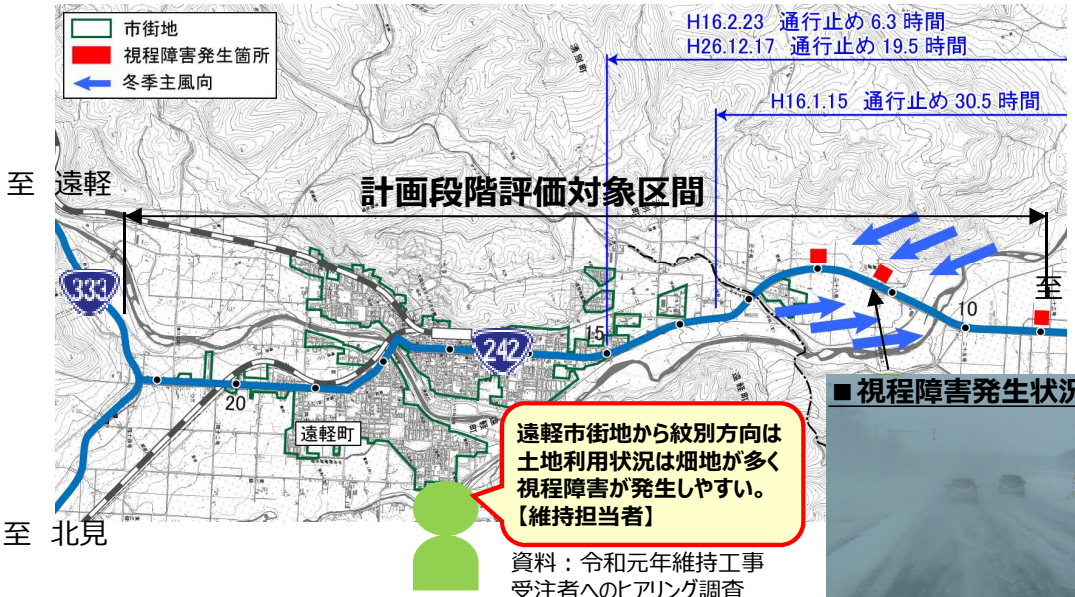
発生年次	概要
H16.1.13 ～ H16.1.16	・北見地方で記録的な豪雪を観測 （北見の総降雪量は125cm　1年間の冬期平均降雪量に相当） ・交通機関が麻痺し、車道幅員の減少等により交通混雑が発生 [国道242号遠軽～上湧別間の通行止め時間：約31時間]
H16.2.23	・管内全域で降雪量40cmを超す暴風雪を観測 [国道242号遠軽～上湧別間の通行止め時間：約6時間]
H21.2.21	・爆弾低気圧が発生、暴風雪を観測
H25.3.2 ～ H25.3.3	・台風並みの暴風雪が発生（道内で計９名の死者） ・観光バスの路外逸脱や、国道で立ち往生が相次ぐ ・北見市、網走市、大空町は自衛隊に派遣を要請
H26.12.16～ H26.12.20	・記録的な暴風雪で道内の小売業や飲食業にも混乱が発生 ・道東を中心に国道25路線39区間、道道148路線177区間で通行止め発生 [国道242号遠軽～上湧別間の通行止め時間：約20時間]
H27.1.31～ H27.2.4	・発達した低気圧が停滞し道東を中心に大雪や吹雪による交通障害が発生 ・羅臼町では積雪が179cmに達し、自衛隊に派遣を要請

■暴風雪災害の状況（平成26年12月）



資料：災害情報（平成26年12月17日18時）　網走開発建設部、オホーツク総合振興局

■冬期災害による通行止め発生状況

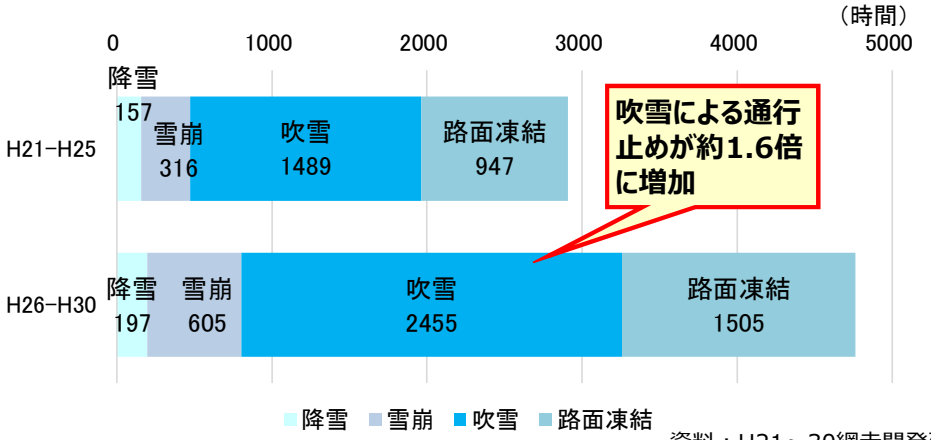


遠軽市街地から紋別方向は土地利用状況は畑地が多く視程障害が発生しやすい。【維持担当者】

資料：令和元年維持工事受注者へのヒアリング調査

■視程障害発生状況

■冬期通行止め発生時間の比較（オホーツク圏）



資料：H21～30網走開発建設部調べ

5.課題の整理

5-1）地域の課題と道路の課題（案）

地域の課題（案）	道路の課題（案）	テーマ
○遠軽市街地には主要な幹線道路が国道242号しかないため物流・観光・沿道利用等の交通が集中。 ○通過交通が市街地を通過するため、大型車混入率が高く、市街地部では大型車による事故が多発。	○当該区間は沿道商業施設等の立地、信号交差点の連続、線形不良区間の存在等により旅行速度の著しい低下や大型車による事故が発生。 ○道路課題を解消し、円滑で安全に通行できる道路が必要。	道路交通
○遠紋地域は、日本の食や生活を支える農林水産物の生産地であるが、物流拠点までの距離が長く、長距離輸送が必要。 ○全国有数の漁獲量を占めるホタテなどの主要産品は、出荷時期の季節変動が大きく、繁忙期に安定供給できる輸送環境の確保が必要。	○主要産品の輸送ルートである当該区間は、線形不良区間や市街地部での大型車事故が多発。 ○長距離輸送ドライバーの負担を軽減し、安全かつ輸送効率の高い道路が必要。	産業支援 （物流）
○遠紋地域は、花の名所めぐりが楽しめる「花回遊」や流氷観光など、魅力的な自然を生かした観光の推進に取り組む中、宿泊拠点となる地域から遠く、周遊性に課題。	○観光周遊ルートである当該区間は、観光期の交通集中による交通混雑が発生し、観光周遊時の定時性や速達性を阻害。 ○周遊観光の促進に向けて、観光地間を連絡する周遊性の高い道路が必要。	観光支援 （人流）
○高次医療は3次救急医療機関をオホーツク圏で唯一有する北見市に依存しているが、カバー面積は全国平均の約8倍と広大。 ○遠紋地域で心疾患を担う病院は、遠軽町の2次救急医療機関（1施設）しかなく、搬送に長時間を要することから、心疾患による死亡率は高水準。	○北見市や遠軽町への救急搬送ルート上に、信号交差点が連続する市街地や線形不良区間が存在するため、走行環境が悪化。 ○搬送時間を短縮し、救命率を上げるために、速達性が高く安定走行が可能な道路が必要。	暮らし （医療）
○豪雨等により湧別川流域の洪水被害が発生しているが、洪水時の道路寸断により、遠軽市街地の災害拠点施設が孤立する恐れ。 ○近年、二つ玉低気圧が増加し、暴風雪が発生する危険性が高く、郊外部では暴風雪時に視程障害による通行止めが発生。	○洪水発生時は、国道242号の通行止めにより、通過交通の大規模な迂回や遠軽町へのアクセス路寸断が発生。 ○近年多発する異常気象に備え、災害時における代替路や拠点施設への確実なアクセス路の確保による救援体制の実現が必要。	災害 (防災・減災)

⇒今後のアンケート・ヒアリング、自治体との調整等により、明確化を行う。

5-2）地域の課題（案）

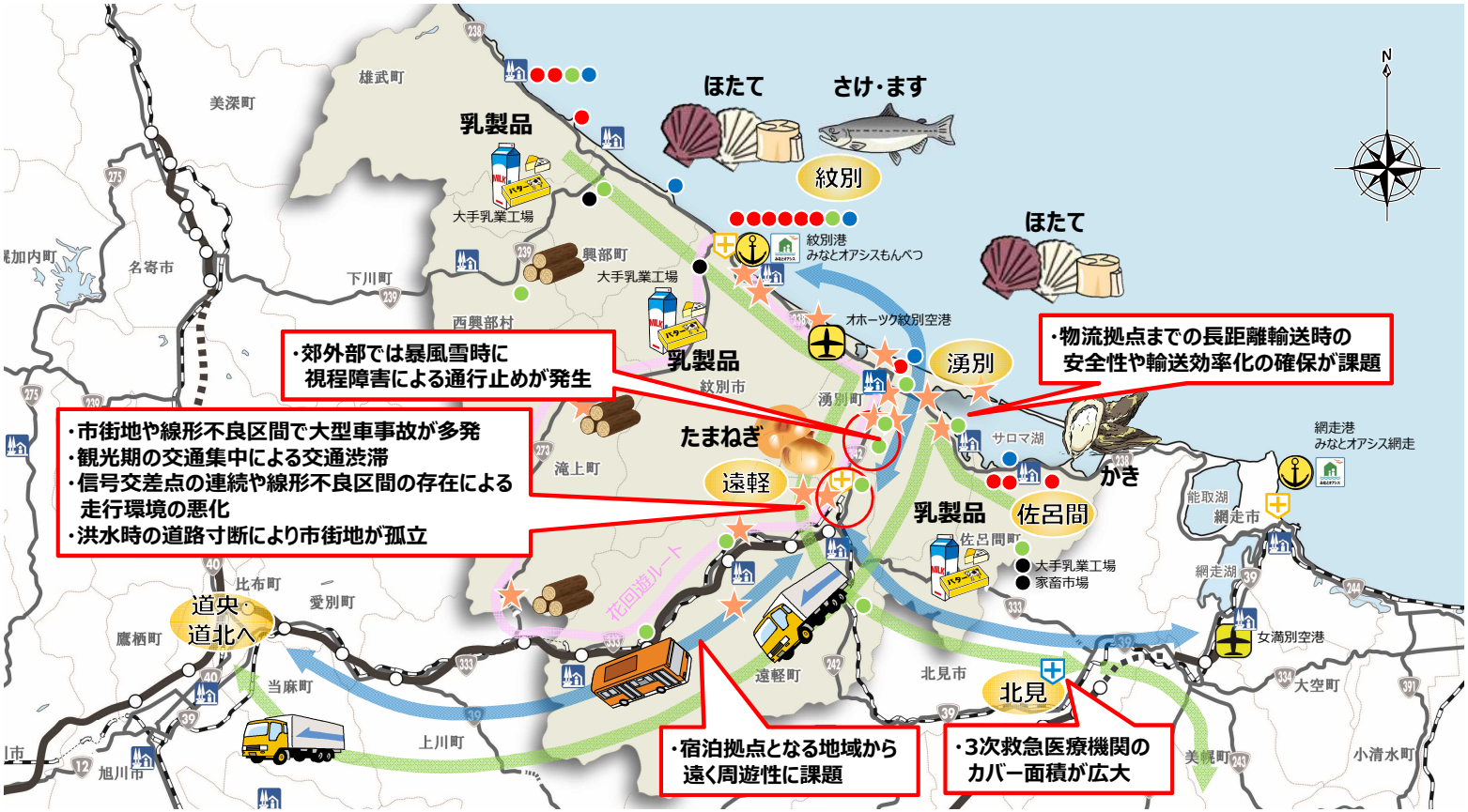
地域・道路の状況から導かれる地域の課題（案）				
道路交通	産業支援（物流）	観光支援（人流）	暮らし（医療）	災害(防災・減災)
○遠軽市街地には主要な幹線道路が国道242号しかないため、物流・観光・沿道利用等の交通が集中 ○通過交通が市街地を通過するため大型車混入率が高く、市街地部では大型車による事故が多発	○遠紋地域は日本の食や生活を支える農林水産物の生産地であるが物流拠点までの距離が長く、長距離輸送が必要 ○全国有数の漁獲量を占めるホタテなどの主要産品は、出荷時期の季節変動が大きく、繁忙期に安定供給できる輸送環境の確保が必要	○遠紋地域は、花の名所めぐりが楽しめる「花回遊」や流氷観光など、魅力的な自然を生かした観光の推進に取り組む中、宿泊拠点となる地域から遠く、周遊性に課題	○高次医療は3次救急医療機関をオホーツク圏で唯一有する北見市に依存しているが、カバー面積は全国平均の約8倍と広大 ○遠紋地域で心疾患を担う病院は、遠軽町の2次救急医療機関（1施設）しかなく、搬送に長時間を要することから、心疾患による死亡率は高水準	○豪雨等により湧別川流域の洪水被害が発生しているが、洪水時の道路寸断により、遠軽市街地の災害拠点施設が孤立する恐れ ○近年、二つ玉低気圧が増加し、暴風雪が発生する危険性が高く、郊外部では暴風雪時に視程障害による通行止めが発生


えんがる公園


コスモス園


チューリップ公園


流氷砕氷船「ガリンコ号」



凡例

- 高規格幹線道路
- 事業中区間
- 一般国道
- 3次救急医療機関
- 2次救急医療機関
- 主要観光施設
- 花回遊ルート
- 観光の流動
- 農水産品の流動
- 農業協同組合
- 漁業協同組合
- その他施設
- ハサップ認定施設

5-3）地域の将来像

地域の将来像

産業・経済

○農業・林業・観光の振興
[第2次遠軽町総合計画（2015-2024）]
○農林水産業の基盤強化、観光の振興
[第2期湧別町総合計画（2017-2021）]
○生産基盤の整備
[第5次紋別市総合計画（2009-2018）]
○ゆとりと活力のある農林水産業
[第4期佐呂間町総合計画（2011-2020）]

医療

○救急体制の充実
[第2次遠軽町総合計画（2015-2024）]
○広域的な医療体制の構築
[第2期湧別町総合計画（2017-2021）]
○地域医療体制の充実
[第5次紋別市総合計画（2009-2018）]
○広域医療体制の充実
[第4期佐呂間町総合計画（2011-2020）]

安全・防災

○防災体制の充実 [第2次遠軽町総合計画（2015-2024）]
○防災体制の充実 [第2期湧別町総合計画（2017-2021）]
○安全な暮らしの確保 [第5次紋別市総合計画（2009-2018）]
○安全に暮らせる地域社会 [第4期佐呂間町総合計画（2011-2020）]

資料：第2次遠軽町総合計画（2015-2024）
第2期湧別町総合計画（2017-2021）
第5次紋別市総合計画（2009-2018）
第4期佐呂間町総合計画（2011-2020）

5-4）地域の将来像（新たな北海道総合開発計画の構成）

第１章　計画策定の意義

第１節　北海道開発の経緯

- 国全体の安定と発展に寄与するため、特別な開発政策の下、北海道開発を推進。
- 食料品等の輸出倍増、外国人観光客数100万人突破等の成長産業の萌芽。他方、経済・人口は縮小傾向。ネットワーク未整備区間、地域コミュニティ維持に係る懸念の存在。

第２節　我が国を取り巻く時代の潮流

(1) 本格的な人口減少時代の到来

(2) グローバル化の更なる進展と国際環境の変化

(3) 大規模災害等の切迫

第３節　新たな北海道総合開発計画の意義

- 北海道開発の基本的意義：北海道の資源・特性を活かして、国の課題の解決に貢献。
- 人口減少・高齢化の急速な進展等により、食や自然環境など北海道の強みを提供し、我が国全体に貢献している「生産空間」の維持が困難となるおそれ。
- 来たるべき10年間は、
  - 「生産空間のサバイバル」「地域としての生き残り」を賭けた重要な期間。
  - また、北海道新幹線開業、高速道路網の道東延伸、2020年オリパラ等を地域の飛躍の契機となし得る期間。
- これらの機会の活用によって、本格的な人口減少時代にあっても活力を失うことなく人々が豊かな暮らしを送ることのできる地域社会の先駆的形成を図る。

第２章　計画の目標

キャッチフレーズ：　「世界の北海道」

ビジョン：　2050年を見据え、「世界水準の価値創造空間」の形成

«３つの目標»

(1)人が輝く地域社会

(2)世界に目を向けた産業

(3)強靱で持続可能な国土

第３章　計画推進の基本方針

第１節　計画の期間　　2016（平成28）～2025（令和7）年度の10年間

第２節　施策の基本的な考え方

（１）北海道型地域構造の保持・形成

- 「生産空間」「市街地」「中心都市」の３層構造で人々の日常生活が営まれる「基礎圏域」を形成。
- 札幌都市圏：集積を活かして北海道全体を牽引。

（２）北海道の価値創造力の強化

- 人口減少時代にあっては、「人」こそが資源。
- 人材育成・活用の重点的実施とともに、多様な人々を引きつけ、地域の価値創造力を向上。

第３節　計画の推進方策

（１）産学官民金連携による重層的なプラットフォームの形成

- 人材育成、地域づくり等のテーマに応じて、産学官民金が連携するプラットフォームを各地域又は北海道全体で展開し、取組を持続的にマネジメント。

（２）イノベーションの先導的・積極的導入～「北海道イニシアティブ」の推進

- 技術の力で人口減をカバーし、地域の課題を旧弊にとらわれずイノベイティブに解決。

（３）戦略的な社会資本整備

- 社会資本のストック効果を最大限に発揮。
- 戦略的なインフラメンテナンスの徹底、技術開発も活用した「賢く使う」取組の充実強化。

（４）計画のマネジメント

- 「企画立案→実施→評価→改善」のマネジメントサイクル。おおむね５年後に総合的な点検。

第４章　計画の主要施策

第１節　人が輝く地域社会の形成

（１）北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進

（２）北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の確保・対流の促進

第２節　世界に目を向けた産業の振興

（１）農林水産業・食関連産業の振興

（２）世界水準の観光地の形成

（３）地域の強みを活かした産業の育成

高規格幹線道路を始めとする基幹的なネットワークについては、農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備、ミッシングリンク解消等を推進する。

第３節　強靱で持続可能な国土の形成

（１）恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成

①環境と経済・社会の持続可能性の確保

②環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現

（２）強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成

①激甚化・多様化する災害への対応

②我が国全体の国土強靱化への貢献

③安全・安心な社会基盤の利活用

5-5）地域の将来像（北海道およびオホーツク連携地域の計画）

○北海道は、今後10年間（平成28年度～令和7年度）の基本的な方向を総合的に示す計画として、「北海道総合計画－輝きつづける北海道－」を策定。
○北海道総合計画の推進および北海道地域振興条例に基づく地域計画として、平成28年7月、新たにオホーツク連携地域政策展開方針を策定。オホーツク連携地域政策展開方針は、平成28年度から概ね5年間を計画期間。
○オホーツク連携地域政策展開方針では、主な施策の展開方向として、農林水産業や食関連産業の振興、特色ある豊かな資源を活かした観光の展開、安心して暮らせる地域社会の形成のほか、それら暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成が謳われている。

■北海道総合計画が示す将来像（H28～R7）



将来像	将来像の設定方向（現状・課題⇒方向性）	
① 地域全体で支える「子育て環境・最適地」	出生率の低下、未婚率や初婚年齢の上昇など	子どもを生み育てる環境を整える
② 北国で心豊かに暮らせる安全・安心社会	超高齢社会、自然災害リスクの高まりなど	将来にわたる暮らしの安全・安心を確保する
③ 豊かな自然と共生する「環境先進モデル・北海道」	豊かな自然環境、多様なエネルギー資源など	生物多様性の保全と持続可能な利用を図る多様なエネルギーの導入を拡大する
④ 世界に広がる“憧れのくに”北海道ブランド	アジアの経済成長、国内消費の低迷など	海外の経済成長を取り込む
⑤ 北海道の潜在力を活かす地域経済の循環	域際収支の赤字、地域産業の成長力強化など	資源・ひと・経済の好循環を確立する
⑥ 北の大地を力強く切り拓く豊富な人材	地域産業の担い手不足、人材の育成など	人材を育成し、技術・技能を開発・継承する
⑦ 北海道ならではの個性あふれる地域	過疎化の進行、行政サービスの確保など	持続可能な地域社会を形成する

資料：北海道総合計画－輝きつづける北海道－（平成28年3月）

■オホーツク連携地域政策展開方針における地域の目指す姿と主な施策の方向性（H28～R2）



＜地域の目指す姿＞

豊かな地域資源を活かし、
自然と共生する快適な暮らしが広がる
「オホーツク連携地域」

○オホーツクの統一イメージの形成・発信による地域ブランドの確立
・「オホーツクエリアアイデンティティー（オホーツクＡＩ）」の推進
・「流氷トラスト運動」や「クールオホーツク」などの取組を通じた統一イメージの形成

○農林水産業の強化
・基幹産業である農林水産業の生産体制の整備と担い手の育成・確保
・ＨＡＣＣＰの認証取得などによる良質な農水産物の販路の拡大
・オホーツク産森林認証木材等の利用促進

○豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興
・多様な主体の連携による付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進
・食の地域ブランドの形成・発信や国内外への販路の拡大

○特色ある豊かな資源を活かした観光の展開
・知床世界自然遺産、流氷や季節を彩る花など、オホーツクの有する魅力の効果的な発信
・豊かな自然環境や農林水産業、スポーツ・文化などを取り入れた体験型・滞在型観光の推進
・外国人観光客に対する受入体制の整備
・北海道新幹線の開業効果や北海道横断自動車道の延伸効果を踏まえた道東広域観光の推進

○人と自然が共生できる環境重視型社会の形成
・流域環境の保全や鳥獣被害の防止に向けた取組の推進
・北海道知床世界自然遺産条例に基づく知床の保全や適正な利用の推進
・廃棄物の適正な処理や再利用の推進
・林地未利用材や家畜排せつ物など、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入促進

○オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興
・古代遺跡群を体験する機会の創出などによるオホーツク文化の普及
・広域的なスポーツイベントの推進や幅広いスポーツ合宿の誘致

○安心して暮らせる地域社会の形成
・医療従事者の確保など地域医療提供体制の構築や出産・子育て支援など保健・福祉の充実
・高齢者の増加に対応した地域包括ケアシステムの構築
・防災関係機関や住民などの協働による防災・減災体制の充実・強化
・移住・定住の取組の推進

○暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成
・観光や物流、地域間交流を促進するための道路や港湾等の整備推進
・ＪＲ、空港等の利用促進に向けた取組の推進

資料：オホーツク連携地域政策展開方針（平成28年7月）

5-6）地域の将来像（オホーツク地域づくり連携強化計画）

○オホーツク地域では、「オホーツク地域づくり連携会議」において、官民一体となって実現を目指す地域の姿とその達成のために官民で取り組む事業や施策、実施主体等を明らかにした「地域づくりの方向」を平成20年に策定。
○新たな北海道総合計画・第８期北海道総合開発計画を踏まえ、「地域づくりの方向」のうち、高規格幹線道路の整備と一体となり目標とする地域の将来像等を「オホーツク地域づくり連携強化計画」として平成28年8月取りまとめ。
○オホーツク地域づくり連携強化計画では、主な施策の展開方向として、生産性向上・競争力強化、世界水準の観光地の形成が謳われている。

■既計画「地方づくりの方向」における目指す姿と取組（H20～R12）

○食料供給力と国際競争力の強化

○**生産量増加・品質向上**
・農業基盤、草地・飼料畑、漁業施設、衛生管理型漁港の整備
○**加工・輸送の効率化**
・集荷・加工施設の高度化
・高規格幹線道路等の整備

○国内外の観光客にとって魅力的で質の高い観光地づくり

○**個性的で魅力ある地域づくり**
・SBW活動団体と連携した景観・観光空間づくりの促進
・北海道みなとオアシスの推進
・オホーツク地域共通の案内標識の設置
○**交通ネットワークの強化**
・高規格幹線道路等の整備

○オホーツクの統一イメージの形成・発信による地域ブランドの確立

○**地域イメージ向上対策の推進**
・ロゴマーク等による統一イメージの発信
・観光政策と連携した各種プロモーションの展開
・再生可能エネルギーの推進
○**「食」関連産業の振興**
・特色ある地域資源を使用した新たな商品開発や産業化の推進

○人と自然が共生できる地域社会の形成

○**生態系との共存を目指した社会資本整備の推進**
・多自然川づくりの推進
・緑化、緑地対策の推進
○**総合的な流域の保全**
・湖沼、河川の水質浄化対策の推進
・伐採跡地の森林整備
・土砂、流木対策

○オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興

○**文化の振興**
・古代古跡群を体験する機会の創出等によるオホーツク文化の普及

○**スポーツの振興**
・スポーツ施設の整備
・広域的なスポーツイベントの推進、幅広いスポーツ合宿の誘致
・合宿の誘致に向けた情報発信の強化

■オホーツク地域づくり連携強化計画における地域の目指す姿と目標（H26～R12）

高規格幹線道路と一体となって目指していく地域の将来目標と取組の強化

＜地域の目指す姿・目標＞

地域の強みを更に活かし、「地域産業の安定的発展」「交流人口の更なる拡大」を図る

○生産性向上・競争力強化

・世界の食料需要の大幅な増加、気候変動等による供給制約リスクに対する的確な対応等、引き続き北海道の食料供給力の確保・向上及び農林水産業の持続的発展を図る。

⇩

・食の高品質化・高付加価値化の一層の促進、豊かな自然環境を活かした企業誘致の強化等により、地域産業の安定的発展を図り、令和7年までに道産食品の海外輸出額（全道合計）を1,500億円/年とする（平成26年：663億円）。

○世界水準の観光地の形成

・地域資源を最大限に活かした魅力ある観光地域づくりを進めるとともに、外国人旅行客の観光消費拡大に向けた環境整備を行う等、インバウント観光による経済効果を拡大し、その効果を北海道内に広く波及させる。

⇩

・Wi-Fiシステムの整備、広域観光案内所の機能強化等により、大型旅客船の誘致強化、スポーツ合宿の誘致強化等により交流人口の更なる拡大を図り、令和2年までにオホーツク地域の観光入込客数を908万人/年度とする（平成26年度：830万人）。

資料：オホーツク地域づくり連携強化計画（平成28年8月）

5-7）地域の将来像（遠軽町都市計画マスタープラン）

○遠軽町都市計画マスタープランの第5章街（まち）づくり構想において、道路・交通網整備に係る問題点・課題に対する基本的な考え方が示されている。
○広域連携を支える道路網の強化による遠紋地域と旭川圏・道央圏のアクセス改善、広域連携・交通円滑化等の観点による幹線道路等の整備に係る方針が示されている。

1．基本方針

（1）広域連携を支える道路網を強化する
・高規格幹線道路・地域高規格道路および連絡道路の配置を検討し、旭川・北見方面とのアクセス改善を図る
・広域連携・交通円滑化・街並形成の観点から幹線道路等を整備する
（2）生活を支える道路網の計画的体系的な整備を進める
・地区道路の整備により住宅地の交通円滑化と防災安全性の向上を図る
・橋梁長寿命化計画に基づいた管理を進める
（3）あらゆる人に優しい公共交通の整備充実をはかる
・中心市街地の交通バリアフリー化
・路線バスの充実強化
・公共交通の利用促進と利用者の利便性向上のため交通結節点機能の強化の検討
・サイン計画
・歩行者や自転車の安全・快適な通行を確保するため、歩行者や自転車交通のネットワーク形成を進める

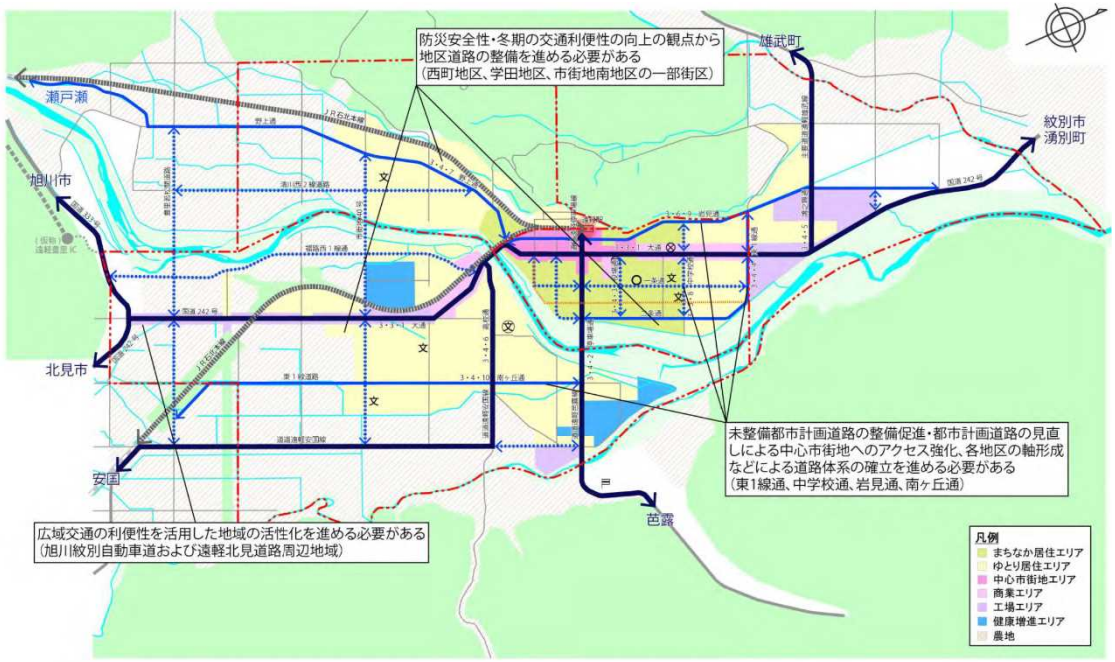
2．施策の方向性

・遠紋地域と旭川圏・道央圏のアクセスを改善しIC周辺土地利用の方向性について検討
・広域的なアクセス道路である旭川・紋別自動車道、遠軽北見道路の整備計画と合わせて、紋別地域・北網地域・十勝地域・釧路地域へのアクセスのあり方を検討する

3．道路・交通網整備の基本的な考え方

（1）広域交通の利便性を活用した地域の活性化
（2）整備促進・都計道路の見直しによる中心市街地へのアクセス強化
（3）防災安全性・冬期交通利便性向上の観点から整備を進める

4．遠軽町道路交通網整備の方針



資料：平成27年度遠軽町都市計画マスタープラン（2016～2026）

5-8）地域の将来像（紋別市都市計画マスタープラン）

○紋別市都市計画マスタープランの第7章分野別の取組方針において、道路・交通の取組方針が整理されている。
○広域的分散型地域である道内各都市の道路交通ネットワークの形成を図るため、都市間と空港・港湾等の広域的な交通体系の構築の推進等の方針が示されている。

1．基本方針

（１）交通施設の整備と見直しの検討
（２）広域交通との連携
（３）道路の適切な維持管理の推進
（４）利便性の高い公共交通の確保・維持
（５）景観に配慮した道路整備等

2．施策の方向性

・都市計画道路網の有効活用が図られるよう広域的な高速交通ネットワークの形成に向けて、総合的な視点で交通施設整備を検討
・道路体系別に、都市間交通軸、生活中心軸、産業振興軸、結束形成軸、景観創出軸の５つに分けて整備方針を検討
・都市間交通軸では、周辺地域並びに都市の拠点間を連絡し、高い走行機能と交通処理機能の維持、向上に努める
・広域的分散型地域である道内各都市の道路交通ネットワークの形成を図るため、都市間と空港・港湾等の広域的な交通体系の構築を進める
・道路交通ネットワークの形成により、医療、福祉、購買、教育、子育てなどの社会的サービスが向上するよう努める
・都市活動の活力を維持できるように、主要幹線および都市間幹線道路の有効活用を図り、維持および充実を強化する

3．道路・交通の取組方針の基本的な考え方

都市内交通に対応した交通体系並びに広域交通体系の形成を図るため、道路体系の見直しを進める

4．紋別市道路・交通の取組方針図



資料：平成26年度紋別市都市計画マスタープラン（2015～2035）

5-9）地域の将来像（遠軽町、湧別町のまちづくり）

○遠軽町では、観光や物産の振興や消防・救急体制の充実等の方針が示されており、湧別町では、水産品の流通体制の充実、外国人観光客の来訪促進などの方針が示されている。
○両町とも旭川・紋別自動車道の整備促進、高度医療機関への搬送体制確立等に取組む方針が示されている。

遠軽町のまちづくり基本目標

（１）人と自然に思いやりのあるまちづくり
（２）安全・安心で住みごこちの良い暮らしの場づくり
（３）活気と創造性にあふれ、未来につながる産業づくり
（４）住み慣れたところで健やかに暮らせる生活づくり
（５）文化を守り、未来につなげるふるさとづくり
（６）町民と町が気軽に対話できるまちづくり

湧別町のまちづくり基本目標

（１）安全で安心して暮らせる快適なまちづくり
（２）豊かな自然と共生する活力あふれるまちづくり
（３）健やかにいきいきと暮らせるぬくもりのあるまちづくり
（４）心の豊かさと生きる力を育むまちづくり
（５）人がふれあい支え合う安定したまちづくり

施策の概要

■自然に思いやりのある道路環境の整備と充実
・高速ネットワークの整備
■交通ネットワークの存続・維持
・都市間高速バス路線の確保と停留所の維持
■消防・救急体制の充実
・救急・救助・搬送体制の強化
■観光と物産の振興
・地場産品の販路拡大と販売促進　・交通結節点を核としたにぎわいを生む空間の創出
・高速交通網の延伸に合わせた新たな観光情報拠点の整備
■地域医療の確保
・高度医療機関への搬送体制の確保
■スポーツ・レクリエーション活動の充実
・各種大会・スポーツ合宿等誘致支援の充実
■地域間・国際間交流の推進
・ジオパークを通じた国際交流の促進

資料：第2次遠軽町総合計画（2015～2024）

施策の概要

■道路・河川・海岸
・町内まで高規格幹線道路が繋がり道央圏と短時間で安全に通行ができる
・高規格幹線道路の整備促進を関係機関に要望する
■公共交通
・公共交通機関との接続がされている
■消防・防災
・円滑な救急出動体制・すばやく医療機関まで搬送できる体制が確立されている
■産業振興
・安全で信頼される水産物の流通体制が構築されている
・体験型・滞在型観光への対応を検討する
・外国人観光客の来訪促進
■保健・医療
・高度救命救急医療の確保のため、広域医療圏の医療環境向上について継続支援する

資料：第2期湧別町総合計画（2017～2021）

5-10）地域の将来像（紋別市、佐呂間町のまちづくり）

○紋別市では、冬期観光や周遊観光等の促進、三次救急医療機関との連携強化等の方針が示されている。また、旭川・紋別自動車道等の広域交通道路網の整備等の方針が示されている。
○佐呂間町では、広域連携による観光促進、近隣市町村連携による地域医療の確保に向けた方針が示されている。

紋別市のまちづくり基本目標

（１）確かな産業を育てるまちづくり
（２）安心して健やかに暮らせるまちづくり
（３）快適な環境で暮らせるまちづくり
（４）いきいきと学び続けるまちづくり
（５）オホーツクの個性を活かした交流のまちづくり
（６）市民が行動、参画するまちづくり

施策の概要

■農業■観光
・農業と観光が連携したグリーンツーリズムの推進
・恵まれた自然のなか、地域資源を有効に活用した体験型観光の推進
・冬期観光の推進・遠紋圏を周遊する広域観光の推進
■医療
・三次救急医療機関との連携強化を促進　・救急搬送体制の充実に努める
■スポーツ・レクリエーション
・スポーツ合宿・イベント等の誘致を推進し交流人口の増加に努める
■オホーツクプログラム
・研究機関の成果公開の場である北方圏国際シンポジウムの開催
■交通体系
・救急救命活動や産業経済活動を支援する広域交通道路網の整備に努める
・都市間高速バス輸送の充実に努める
・オホーツク紋別空港の利用促進と施設設備の充実に努める

資料：第5次紋別市総合計画（2009～2018）

佐呂間町のまちづくり基本目標

（１）心豊かで快適なくらしを支えるまち
（２）豊かな自然と人が共存する産業
（３）ふれあいとやすらぎのある社会
（４）こころを育む魅力ある教育

施策の概要

■農林水産業
・農地の有効利用と生産基盤の充実、経営規模の拡大や受委託事業の推進、担い手育成など持続可能な農業経営の確立
・木質資源の有効利用や新たな加工技術の導入、他産業や広域での連携などにより木材の利用推進
・漁港や漁場などの生産基盤の充実、計画的な増養殖と適正な資源管理を推進
■観光
・新たな観光体系の確立と他産業や広域での連携による観光の推進
■医療
・地元医療の充実と近隣市町村との連携による地域医療の確保
■交通網
・幹線道路（地域高規格道路早期整備の促進）、生活路線の整備や公共交通機関の利便性向上に努め、安全で安心な交通網の充実

資料：第4期佐呂間町総合計画（2011～2020）

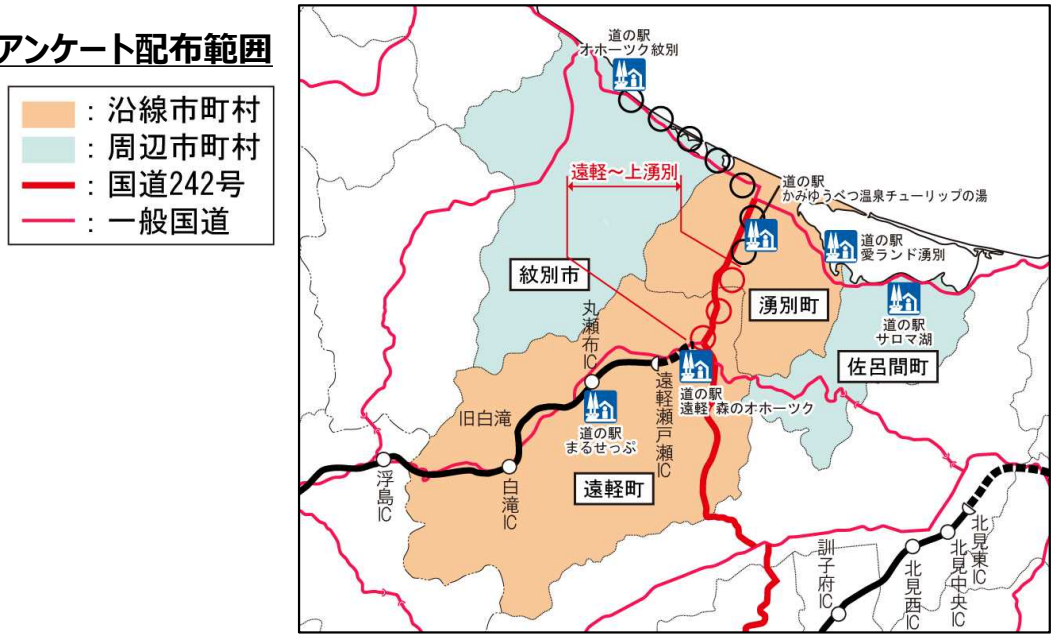
6.意見聴取方法

6-1）意見聴取方法

■意見聴取の基本方針

○「地域の改善すべき課題」、「旭川・紋別自動車道の調査中区間及び並行する国道242号の課題」に対し意見を伺う。

■アンケート配布範囲



■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法				
ヒアリング	【沿線自治体、関係団体及び観光客】			
		沿線自治体等	オホーツク総合振興局、遠軽町、湧別町、紋別市、佐呂間町	インタービュー形式でのヒアリング
		関係団体	商工会議所・商工会（4箇所）、商工会議所・商工会女性部（3箇所） 農業協同組合（4箇所）、漁業協同組合（3箇所）、森林組合（3箇所） 農・漁業協同組合女性部（6箇所） 北海道トラック協会、北海道バス協会、バス事業者 北海道観光振興機構、オホーツク観光連盟 消防本部・消防組合（2箇所）、病院（2箇所）	
アンケート	【地域住民及び道路利用者】			
		地域住民	遠軽町（全戸：約9,400戸）、湧別町（全戸：約3,800戸） 紋別市（全戸：約11,200戸）、佐呂間町（全戸：約2,100戸）	郵送配布（約26,500戸）
		道路利用者	役場（遠軽町役場、湧別町役場、紋別市役所、佐呂間町役場） 道の駅（まるせっぷ、かみゆうべつ温泉チューリップの湯、愛ランド湧別、オホーツク紋別、サロマ湖、遠軽森のオホーツク）	常設の留置きアンケート調査
			広域的な利用者	WEBアンケート調査
		観光客	観光施設等（観光施設、道の駅）	面談アンケート調査

6-1）意見聴取方法

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの調査項目	ヒアリング結果の活用	備考
自治体や関係団体への意見聴取	・地域や道路の課題に関し、自治体や関係団体への意見聴取を行い、政策目標の設定に反映する。 ・自治体や関係団体、観光客との認識の整合性の確認をする。	共通

■アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの調査項目	アンケート結果の活用	備考
地域の課題	将来を見据えた改善すべき地域の課題について、回答者の考えを把握する。	第1回
道路の課題	旭川・紋別自動車道の調査中区間（遠軽～上湧別）及び並行する国道242号の現状について、回答者の考える課題を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯（複数案）に対する意見	・ルート帯選定に当り、回答者が重要視する視点を把握する。 ・インターチェンジ設置位置（配置計画）において、回答者が重要視する視点を把握する。	今後
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	共通

6-2）第1回アンケート調査（案）

■第１回アンケートにおける調査方法および質問内容

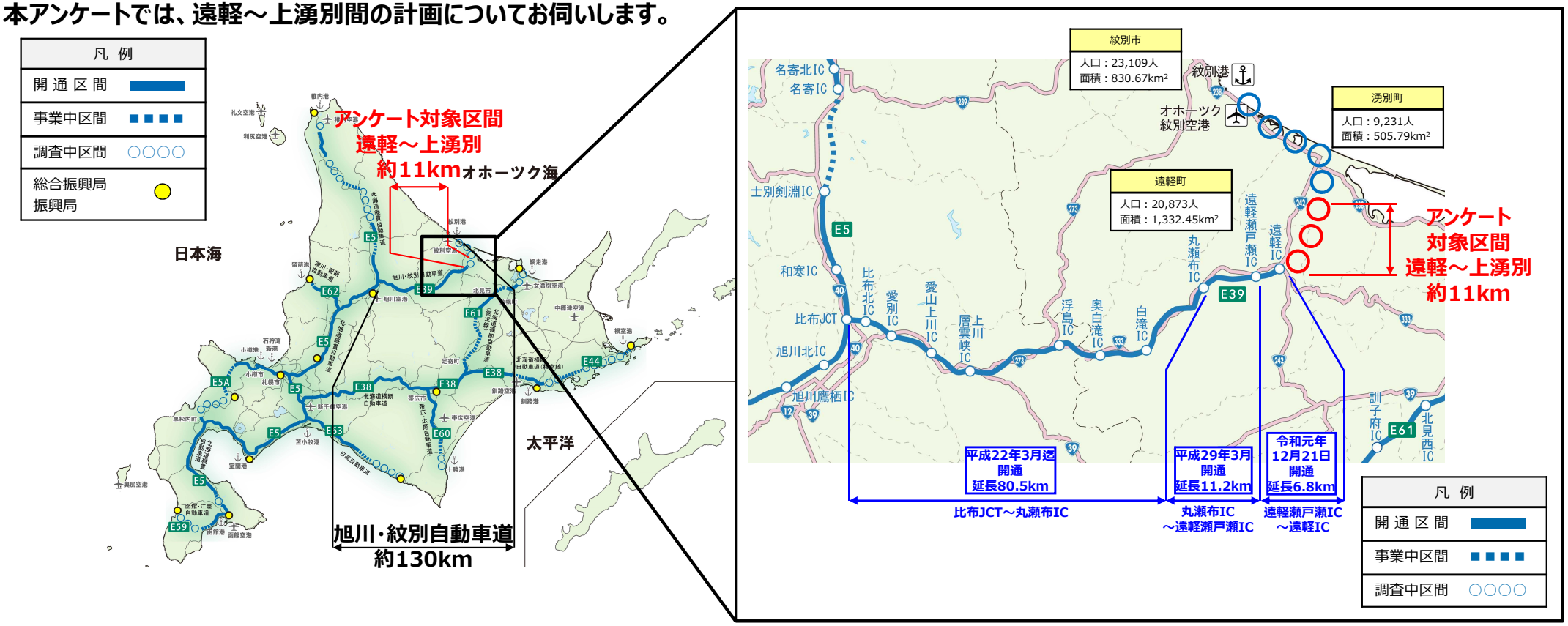
①調査概要

⇒本調査の趣旨・調査対象箇所について説明

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）における道路計画に関する第1回アンケート調査

○旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町等を経由し、紋別市へ至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路です。
○本アンケートは、旭川・紋別自動車道のうち、遠軽～上湧別間の計画検討にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取組として実施するものです。
○アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

■本アンケートでは、遠軽～上湧別間の計画についてお伺いします。



資料：人口は平成27年国勢調査（総務省）、面積は平成30年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）

6-2）第1回アンケート調査（案）

■第１回アンケートにおける調査方法および質問内容

②遠紋地域の概況

⇒地域の概況と課題について説明

遠紋地域の目指す姿と概況

地域・道路の状況から導かれる地域の課題（案）

道路交通	産業支援（物流）	観光支援（人流）	暮らし（医療）	災害(防災・減災)
○遠軽市街地には主要な幹線道路が国道242号しかないため、物流・観光・沿道利用等の交通が集中 ○通過交通が市街地を通過するため大型車混入率が高く、市街地部では大型車による事故が多発	○遠紋地域は日本の食や生活を支える農林水産物の生産地であるが物流拠点までの距離が長く、長距離輸送が必要 ○全国有数の漁獲量を占めるホタテなどの主要産品は、出荷時期の季節変動が大きく、繁忙期に安定供給できる輸送環境の確保が必要	○遠紋地域は、花の名所めぐりが楽しめる「花回遊」や流氷観光など、魅力的な自然を生かした観光の推進に取り組む中、宿泊拠点となる地域から遠く、周遊性に課題	○高次医療は3次救急医療機関をオホーツク圏で唯一有する北見市に依存しているが、カバー面積は全国平均の約8倍と広大 ○遠紋地域で心疾患を担う病院は、遠軽町の2次救急医療機関（1施設）しかなく、搬送に長時間を要することから、心疾患による死亡率は高水準	○豪雨等により湧別川流域の洪水被害が発生しているが、洪水時の道路寸断により、遠軽市街地の災害拠点施設が孤立する恐れ ○近年、二つ玉低気圧が増加し、暴風雪が発生する危険性が高く、郊外部では暴風雪時に視程障害による通行止めが発生


えんがる公園


コスモス園


チューリップ公園


流氷砕氷船「ガリンコ号」



凡例

- 高規格幹線道路
- 事業中区間
- 一般国道
- 3次救急医療機関
- 2次救急医療機関
- 主要観光施設
- 花回遊ルート
- 観光の流動
- 農水産品の流動
- 農業協同組合
- 漁業協同組合
- その他施設
- ハサップ認定施設

6-2）第1回アンケート調査（案）

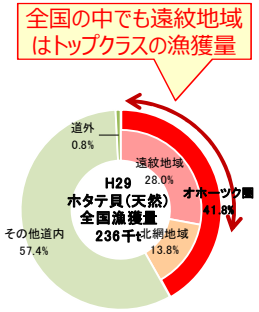
■第１回アンケートにおける調査方法および質問内容
③将来を見据えた改善すべき課題
⇒将来を見据えた改善すべき地域の課題の提示

将来を見据えた改善すべき課題

■地域の課題は、以下の様に考えられます。

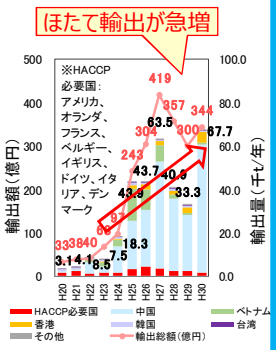
産業の輸送効率化向上

■ホタテ漁獲量シェア



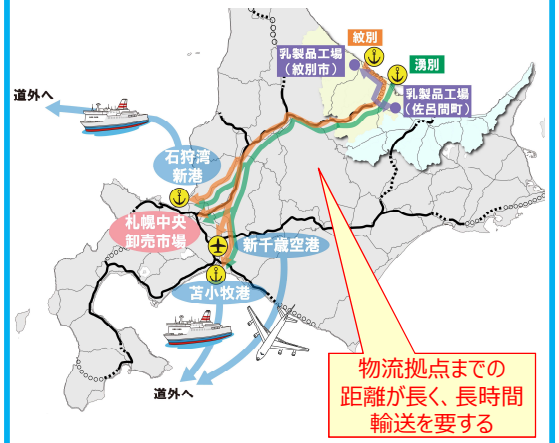
資料:平成29年
海面漁業生産統計

■ホタテ輸出額の推移



資料:貿易統計

■農水産物の輸送ルート



■ 物流拠点間の距離が長く、地域を支える農林水産業の輸送効率化が課題

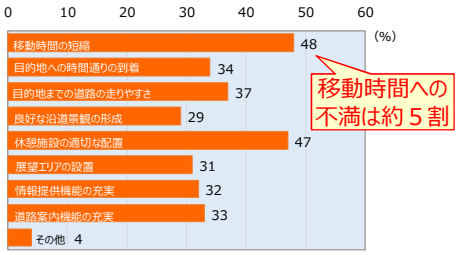
広域観光時の周遊性向上

■周遊ルート



資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

■観光客アンケート調査



N=100(複数回答含)

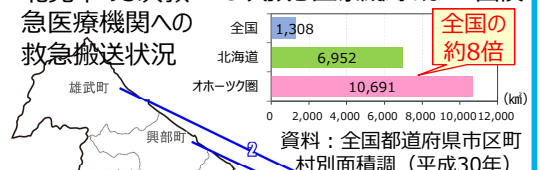
資料：レンタカー利用者へのWEBアンケート調査結果
（H30.2網走開発建設部が道外居住者を対象に実施）

■ 観光施設間の距離が長く、広域観光時の周遊性向上が課題

緊急時の医療施設への速達性向上

■北見市の3次救急医療機関への救急搬送状況

■ 3次救急医療機関のカバー面積

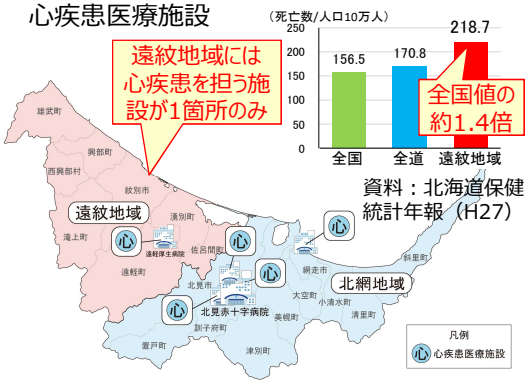


資料：全国都道府県市区町村別面積調（平成30年）
日本救急医学会HP

資料：対象地域の消防の救急搬送活動記録票を元に作成（平成24～28年）

■オホーツク圏心疾患医療施設

■心疾患死亡率



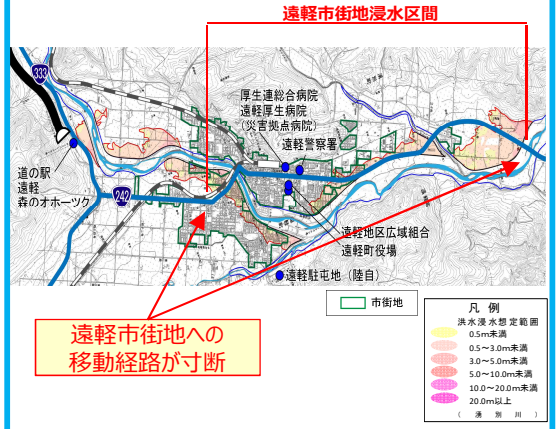
資料：北海道保健統計年報（H27）

資料：北海道医療計画（平成30～令和5年度）、心疾患医療施設は急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関を示す

■ 安心して暮らせる地域を形成するため、医療施設への速達性向上が課題

災害時の道路機能の確保

■遠軽町洪水浸水想定範囲



資料：湧別川洪水浸水想定区域図（計画規模）を元に作成

■暴風雪発生時の通行止め状況
（平成26年12月）



資料：災害情報（平成26年12月17日18時）
網走開発建設部資料、オホーツク総合振興局資料より

■ 洪水浸水時や暴風雪時における道路の機能確保や代替路の確保が課題

6-2）第1回アンケート調査（案）

■第１回アンケートにおける調査方法および質問内容
③将来を見据えた改善すべき課題
⇒対象路線の道路課題の提示

遠軽～上湧別間の道路課題

■国道242号　遠軽～上湧別間の道路課題は、以下の様に考えられます。

生活・物流交通の状況



■ 農林水産業が盛んな地域のため、物流交通が多く、生活交通・通過交通が錯綜し、重大な交通事故が発生しています。

速達性・走行性の状況



■ 市街地では信号交差点が連続し、観光期は交通量が増加することから、物流や救急搬送の速達性や走行性が低下しています。

災害の状況



■ 洪水災害時は、国道の通行止めで避難救援ルートが寸断される恐れがあります。
冬期は、暴風雪による視程障害で国道の通行止めが発生するなど走行環境が悪化しています。



6-2）第1回アンケート調査（案）

■質問内容・回答欄

問1　遠紋地域の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか？

次のＡ～Ｅについて、「そう思う」～「そう思わない」の５段階で評価してください。

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
Ａ　農林水産物の輸送に時間がかかる。	1	2	3	4	5
Ｂ　旭川市等の宿泊拠点から観光地や観光地間の移動に時間がかかる。	1	2	3	4	5
Ｃ　北見市・遠軽町の救急病院への搬送に時間がかかる。	1	2	3	4	5
Ｄ　長距離物流トラックが遠軽市街地を通過することが多く、事故の危険性が高い。	1	2	3	4	5
Ｅ　洪水浸水時や暴風雪発生時に、遠軽市街地が孤立したり、国道が通行できなくなるかもしれない。	1	2	3	4	5

上記Ａ～Ｅ以外で、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問2　国道242号遠軽～上湧別間に必要な道路はどのような道路だと思いますか？

次のＡ～Ｅについて、「そう思う」～「そう思わない」の５段階で評価してください。

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
Ａ　農林水産物の輸送時間を短縮できる道路。	1	2	3	4	5
Ｂ　旭川市等の宿泊拠点から観光地や観光地間を速くスムーズに移動可能な道路。	1	2	3	4	5
Ｃ　北見市・遠軽町の救急病院へ速くスムーズに搬送可能な道路。	1	2	3	4	5
Ｄ　事故が少なく安心して走れる道路。	1	2	3	4	5
Ｅ　洪水浸水時や暴風雪発生時にも機能する道路。	1	2	3	4	5

上記Ａ～Ｅ以外で、あなたが必要だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問3　その他、国道242号遠軽～上湧別間について、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

6-2）第1回アンケート調査（案）

・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函してください。
　なお投函は、令和２年３月１３日（金）までにお願いします。
・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセスして下さい。
　旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）　道路計画に関する意見募集　Web回答用ページ
　URL　https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/icrceh000000557q.html
　※網走開発建設部ホームページからもアクセス可能です。

アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人払郵便
網走局承認
70

0938790

差出有効期間
令和2年6月
30日まで
（切手不要）

北海道網走市　新町2丁目6番1号
網走開発建設部　道路計画課

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）
道路計画に関する意見募集係　行

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○印）

住所　〒000-0000北海道　紋別　市・郡　遠軽　町　村

性別　①男性　②女性　　年齢：40　歳

職業　①会社員　②公務員　③農業　④漁業　⑤林業　⑥観光業　⑦学生　⑧主婦　⑨物流・輸送　⑩商業　⑪工業　⑫無職　⑬その他（　　）

■自動車を運転する頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日　②週数回　③月数回　④ほとんど運転しない　⑤運転しない

■国道242号遠軽～上湧別間の利用頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日　②週数回　③月数回　④ほとんど利用しない　⑤利用したことがない

■遠軽～上湧別間の主な利用目的を教えてください（該当する全てに○）

①通勤・通学　②通院　③食事・買物　④仕事（営業・運送等）　⑤観光・レジャー　⑥その他（　　）

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）第1回アンケート回答欄

問1.遠紋地域の将来を見据えた地域の課題について

以下のA～Eの項目について、該当するもの1つに○をつけてください

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
A物流の輸送時間	(1)	2	3	4	5
B観光の移動時間	1	(2)	3	4	5
C救急搬送の時間	1	2	3	(4)	5
D事故の危険性	1	(2)	3	4	5
E災害時の通行止め	1	2	(3)	4	5

上記のA～E以外で課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問2.遠軽～上湧別に必要な道路機能について

以下のA～Eの項目について、該当するもの1つに○をつけてください

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
A輸送時間の短縮	(1)	2	3	4	5
B移動時間の短縮	1	(2)	3	4	5
C救急搬送時間の短縮	1	2	(3)	4	5
D道路の安全性	1	(2)	3	4	5
E災害時の機能	1	2	3	(4)	5

上記のA～E以外で必要だと思うことがあれば、ご自由にお書きください

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

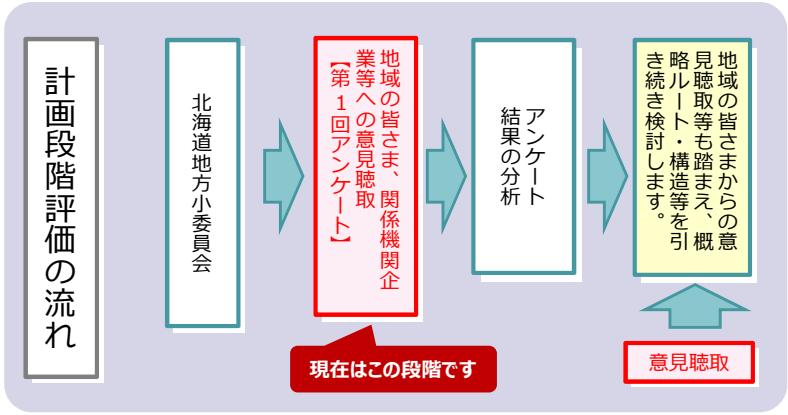
問3.その他のご意見

遠軽～上湧別についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書き下さい

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。
これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>
北海道開発局　網走開発建設部　道路計画課
旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）
道路計画に関する意見募集係
〒093-8544　網走市新町2丁目6番1号
電話0152-44-6510

国土交通省



安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。

本調査は、オホーツク圏遠紋地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。
そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。
回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます）

参考）ヒアリング調査の補足資料（オホーツク地域の将来像）

○平成28年7月、オホーツク総合振興局が新たにオホーツク連携地域政策展開方針を策定。オホーツク連携地域政策展開方針は、概ね10年先の地域のめざす姿を示し、重点プロジェクトを展開。



＜地域の目指す姿＞

豊かな地域資源を活かし、
自然と共生する快適な暮らしが広がる
「オホーツク連携地域」

＜主な施策の展開方向＞

○オホーツクの統一イメージの形成・発信
○特色ある豊かな自然を活かした観光の展開
○安心して暮らせる地域社会の形成
○農林水産業の強化
○人と自然が共生できる環境重視型社会の形成
○暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成
○豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興
○オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興

＜主な施策の展開方向に基づき、重点的に取り組むプロジェクト＞

重点プロジェクト	主な施策	取組みの方向性
生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト	高収益で安定的な生産体制の整備	生産基盤の整備推進、生産性向上及び低コスト化、スマート農業の推進、クリーン農業、屋根付き岸壁等の整備推進　等
	担い手の育成・確保	地域大学との連携、リーダー育成、女性農業者の参画促進、法人化・協業化　等
	良質な農水産物の販路拡大	安全・安心なオホーツク産農水産物のPR、ブランド化、HACCP認定取得等による衛生管理体制の確立　等
	オホーツク産森林認証材等の利用促進	加工・流通体制の確立、森林認証材の首都圏等での利用促進　等
豊富な農水産物を活かした食関連産業振興プロジェクト	多様な主体の連携促進	産学官金による地域ブランド形成、6次産業化　等
	付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進	付加価値の高い商品開発、地域大学等との連携による加工・鮮度保持技術の開発、起業・創業の促進　等
	国内外への販路拡大	観光と連動したブランド形成、オホーツクフェア開催による販路拡大、輸出に向けた体制整備　等
地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	オホーツクの魅力の効果的な発信	国内外へのプロモーション展開　等
	体験型・滞在型観光の促進	「アジアの宝　悠久の自然美への道　ひがし北海道」等との連動した観光ルートづくり　等
	外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進	多言語での情報提供、海外への情報発信　等
	スポーツ合宿等の誘致に向けた取組の強化	市町村・民間企業と連携した情報発信、共同プロモーション　等
	移住・定住の促進に向けた取組の推進	北海道移住促進協議会等との連携　等
	空港の利用促進に向けた取組の推進	市町村や関係団体と連携した取組み、国際線等の新規路線の誘致　等

生産性向上・競争力強化
世界水準の観光地の形成

資料：オホーツク連携地域政策展開方針（平成28年7月）　オホーツク総合振興局

参考）ヒアリング調査の補足資料（オホーツク地域の将来像：生産性向上・競争力強化）

「オホーツクWOOD」のブランド認証を受けた、品質の良い森林認証材を出荷

○2020年東京五輪選手村の建設の事業協力者として遠軽町・紋別市等が選出され、産地のトドマツを提供



「オホーツクブランド認証」・「オホーツクブランドプレミアム認証」の推進による地域活性化

○オホーツク圏で生産・加工された食品に対して、ブランド認証を実施しており、販売促進や地場産業の活性化、地域振興に寄与

バイオマス発電所の稼働

○平成28年12月、紋別市にて大規模なバイオマス発電所が稼働

○周辺地域から未利用の森林資源を集荷し、主燃料として活用



バイオマス発電所

衛生機能向上への取り組み

○平成29年、紋別港は農水産物輸出促進計画に認定

○水揚げ時の衛生管理の向上を目的に屋根付き岸壁を整備（令和元年10月13日暫定供用）



屋根付き岸壁

生産性と収益力の向上

○農業生産力の向上を図るため、ロボット搾乳施設などの高度省力化新技術や、大型農作業機械の導入を積極的に推進



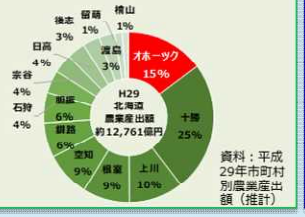
ロボット搾乳施設



大型牧草収穫機械 自走式ハーベスタ

オホーツク圏の農業

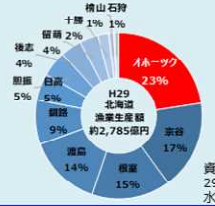
○全国シェア1位を誇る北海道内において、オホーツク圏の農業産出額は、全道シェア約2割を占めており、日本の食を支える生産空間



資料：平成29年市町村別農業産出額（推計）

オホーツク圏の漁業

○全国シェア1位を誇る北海道内においてオホーツク圏の漁業生産額は、全道シェア約2割を占めており、日本の食を支える生産空間



資料：平成29年北海道水産現勢

生産性向上への取り組み

○海外へのホタテ輸出量は過去10年で約15倍に増加

○湧別漁業協同組合では、自動ホタテ貝むき機を開発し、平成30年6月より本格稼働



ほたて貝むき機



機械作業後の貝柱

参考）ヒアリング調査の補足資料（オホーツク地域の将来像：世界水準の観光地の形成）

紋別-札幌間の新規航空路線を計画
- ○紋別～札幌（新千歳又は丘珠）間の定期便誘致を目標
- ○外国人観光客増加に伴い定期便の新規路線を計画



サッカー・ラグビーの試合会場に利用
- ○「えんがる球技場」はオホーツク有数の広さ
- ○2017年5月にオープン、利用者数は前年度に比べ約1.9万人増加
- ○広い人工芝で悪天候に強く利用者の需要が高い



『オホーツクの玄関口』に新しい道の駅（遠軽町）
- ○道の駅「えんがる森のオホーツク」が令和元年12月22日（日曜日）にオープン
- ○ロックバレースキー場に隣接し、ロッジ機能も兼ねる道の駅は道内初



流氷観光（流氷砕氷船ガリンコ号Ⅱ）
- ○ガリンコ号は北海道遺産にもなっており、オホーツクを代表する一大観光スポット
- ○紋別市は2年間で約10億円を投じ、2021年1月のシーズン就航を目指し、ガリンコ号の3代目を建造中（2代目の定員195人より一回り大きい予定）



オホーツク圏の観光客
- ○オホーツク圏の観光入込客数は、過去10年で約1.1倍に増加



資料：北海道観光入込客数調査報告書（北海道）

雄武町 / 乳製品 / ほたて / さけ・ます / 紋別 / 紋別港 みなとオアシスもんべつ / 大手乳業工場 / 興部町 / 下川町 / 西興部村 / オホーツク紋別空港 / ほたて / 乳製品 / 紋別市 / 湧別 / 湧別町 / たまねぎ / 遠軽 / 滝上町 / サロマ湖 / かき / 網走港 みなとオアシス網走 / 能取湖 / 網走市 / 乳製品 / 佐呂間 / 佐呂間町 / 大手乳業工場 / 家畜市場 / 網走湖 / 女満別空港 / 和寒町 / 比布町 / 愛別町 / 道央・道北へ / 鷹栖町 / 当麻町 / 上川町 / 花回遊ルート / 遠軽町 / 北見市 / 北見 / 大空町 / 小清水町

- 高規格幹線道路
- 事業中区間
- 一般国道
- 3次救急医療機関
- 2次救急医療機関
- 主要観光施設
- 花回遊ルート
- 観光の流動
- 農水産品の流動
- 農業協同組合
- 漁業協同組合
- その他施設
- ハサップ認定施設

遠紋地域の花観光
- ○オホーツク圏の花観光の魅力を発信するため、周遊200キロの花観光ルートを設定


オホーツク流氷公園 ラベンダー畑【紋別市】


芝ざくら滝上公園【滝上町】


太陽の丘えんがる公園 コスモス園【遠軽町】


かみゆうべつチューリップ公園【湧別町】